

NT
R
WARNING

君の膜を破るのは
ボクだと思ってた...

再生編



コミック
61
ページ
オールフルカラー

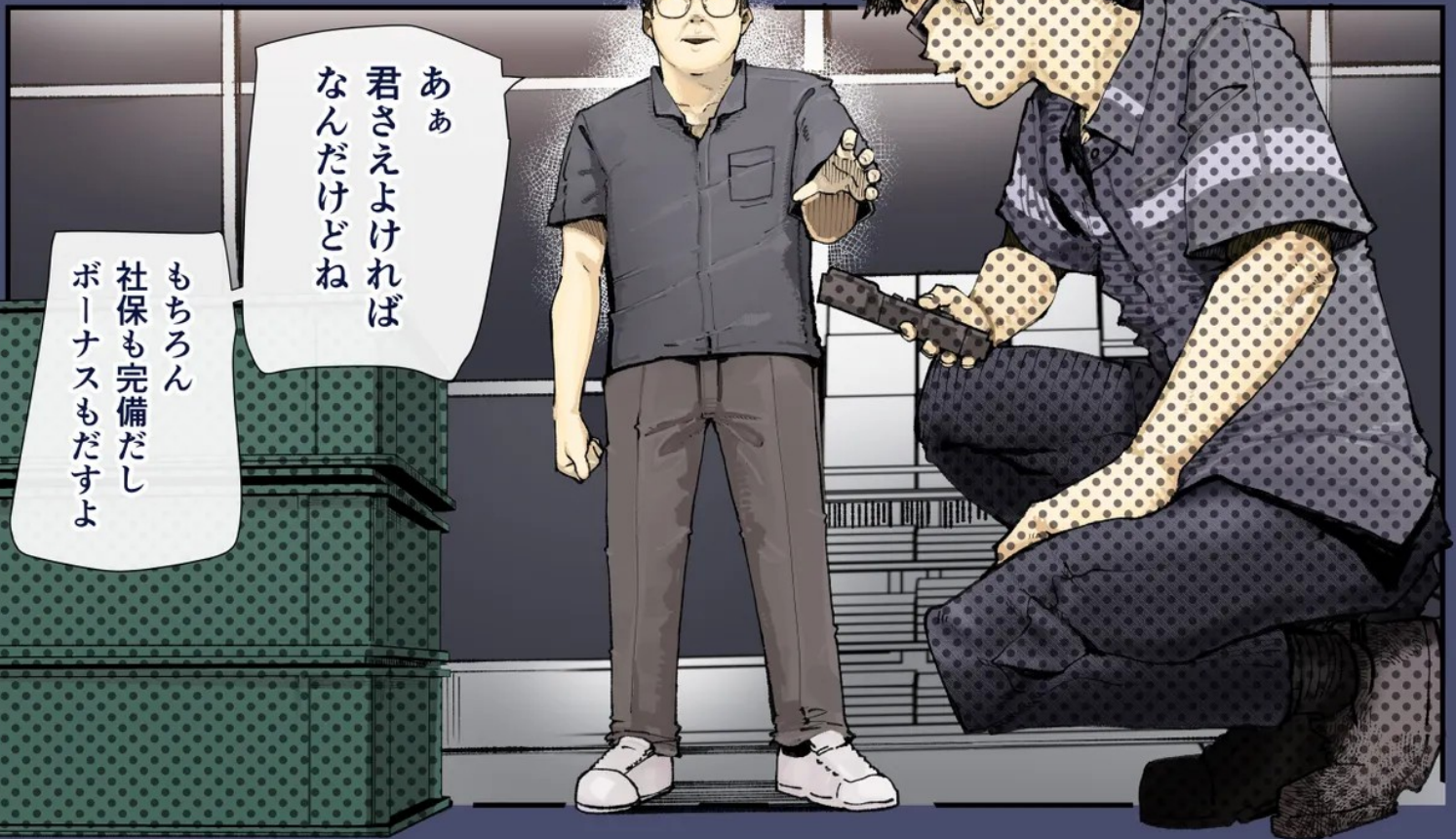


君の膜を破るのは
ボクだと思ってた。

3



えっ！
自分を正社員に
ですか？



ああ
君さえよければ
なんだけどね

もちろん
社保も完備だし
ボーナスもだすよ



あ：
ありがとうございます
ございます



僕はね
人間誰にでも
やり直せる
チャンスが
与えられるべき
だと思っんだ



キヨロ

凜!?

見てください
店長っ!

キヨロ

あの落ち着き
のない挙動
それに持ち込みの
ビニール袋

あの袋に
おにぎり
入れて
ましたよ

確実に
万引き
してます

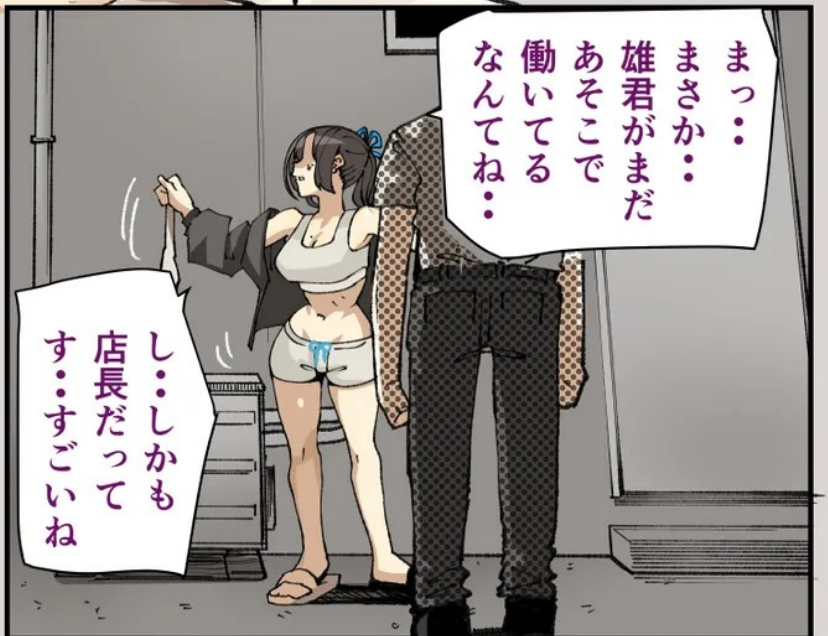
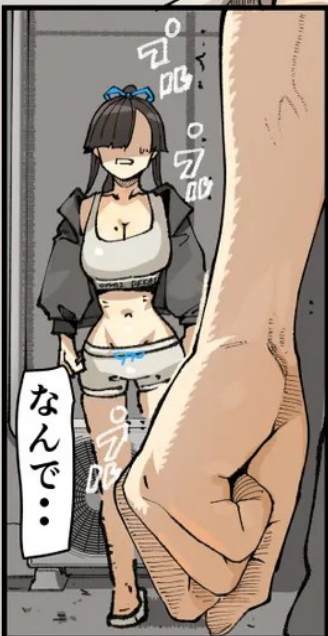
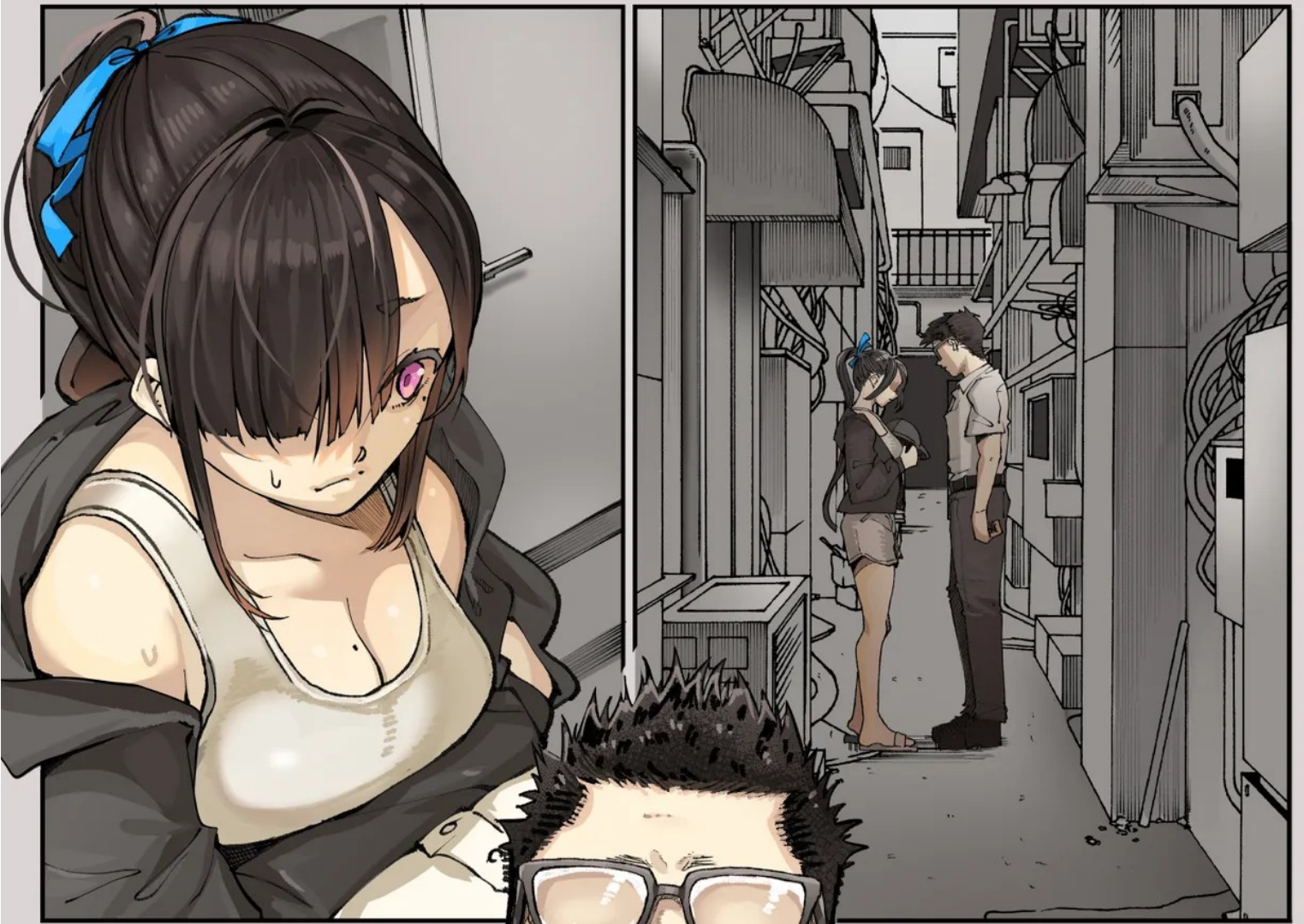
あの人が
店を出たら
俺が捕まえて
きます

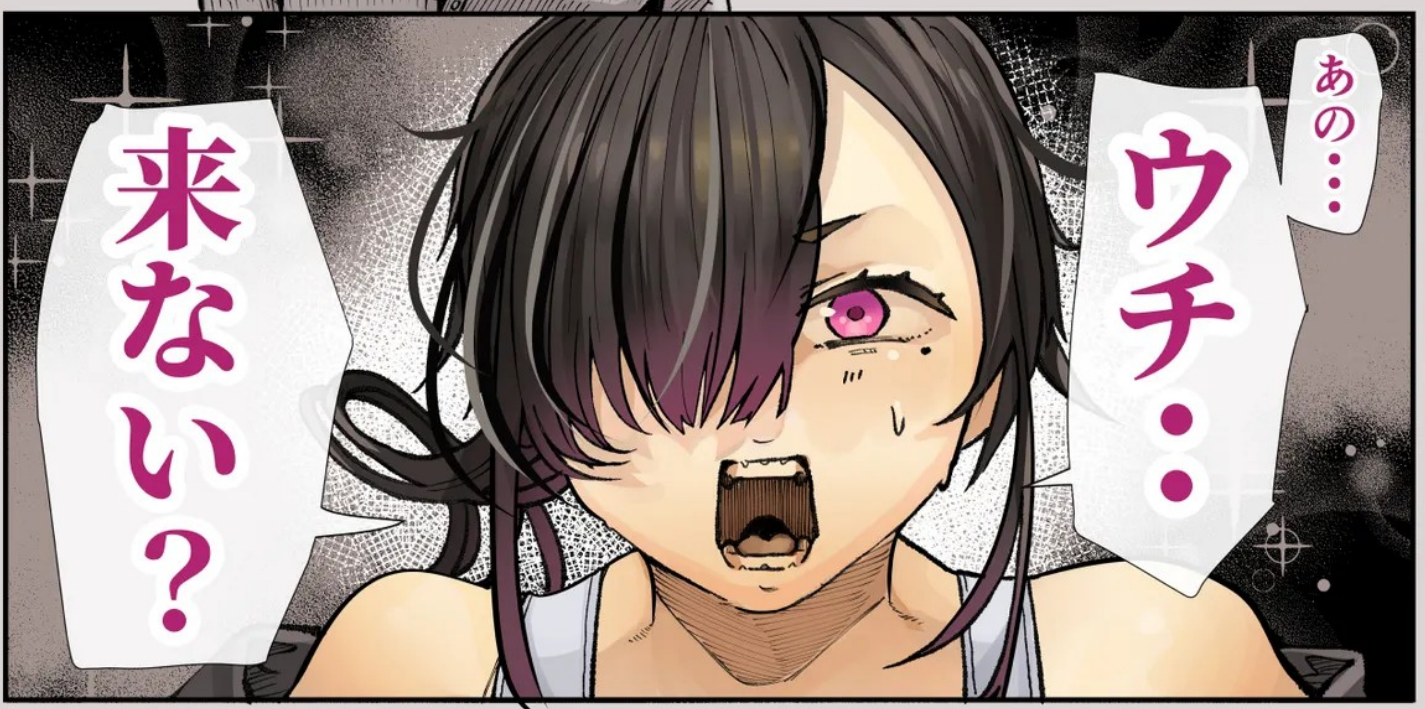
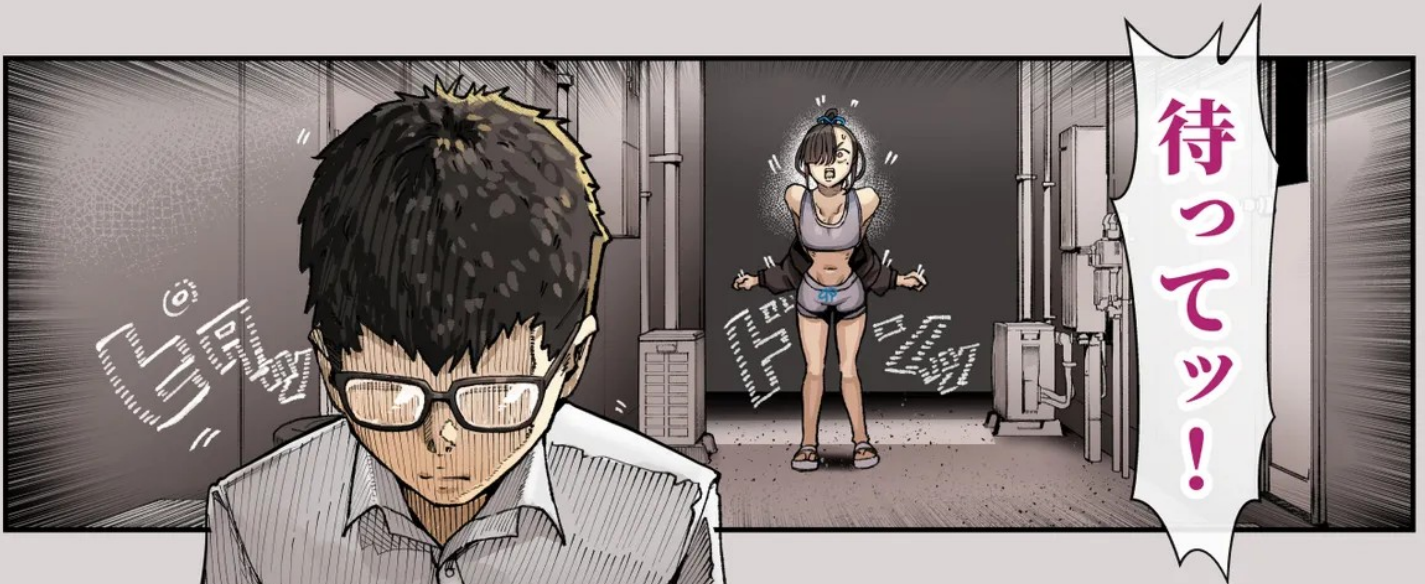
君は
レジを
頼む!

あの人は
俺が捕ま
えるから

あっ
ちょ・待って

キヨロ

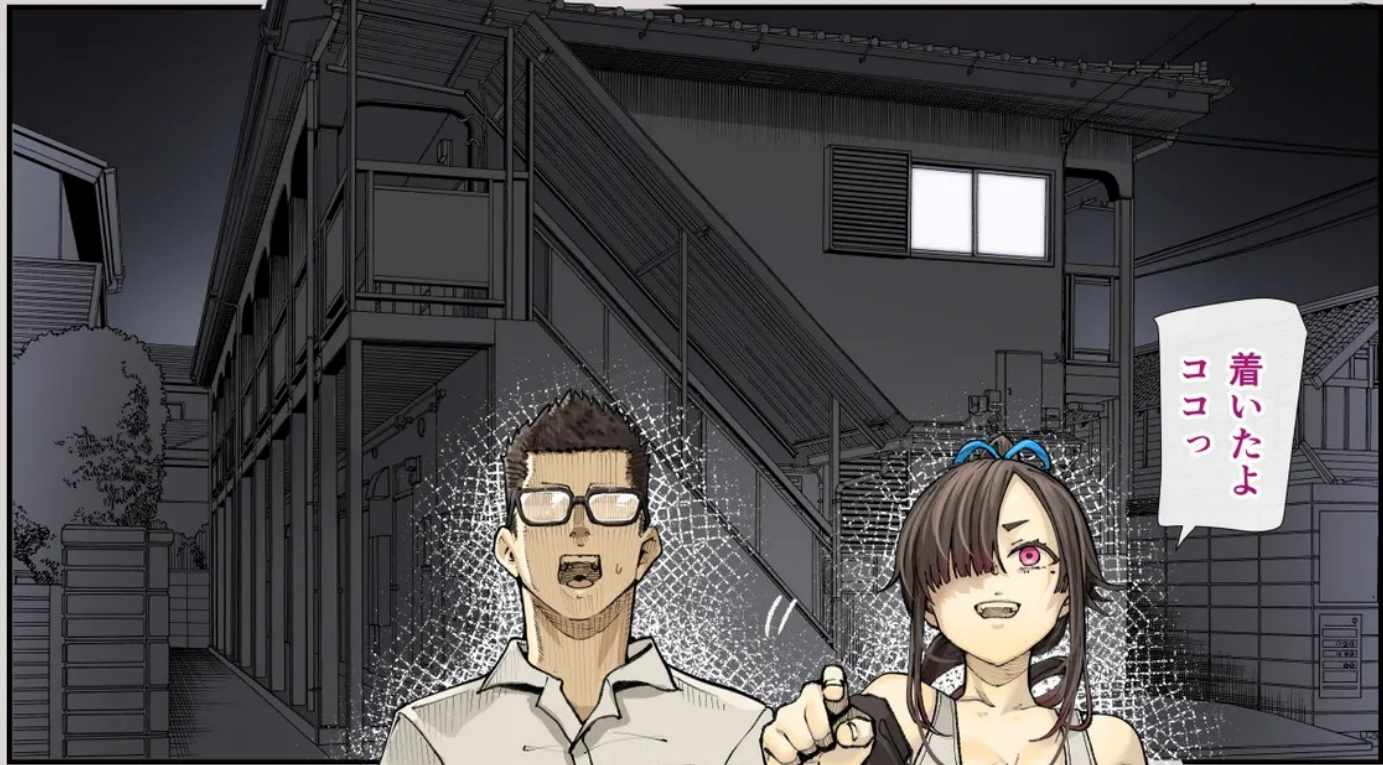






行くっ
ううん
大丈夫

すまん
待ったか？



着いたよ
ココっ



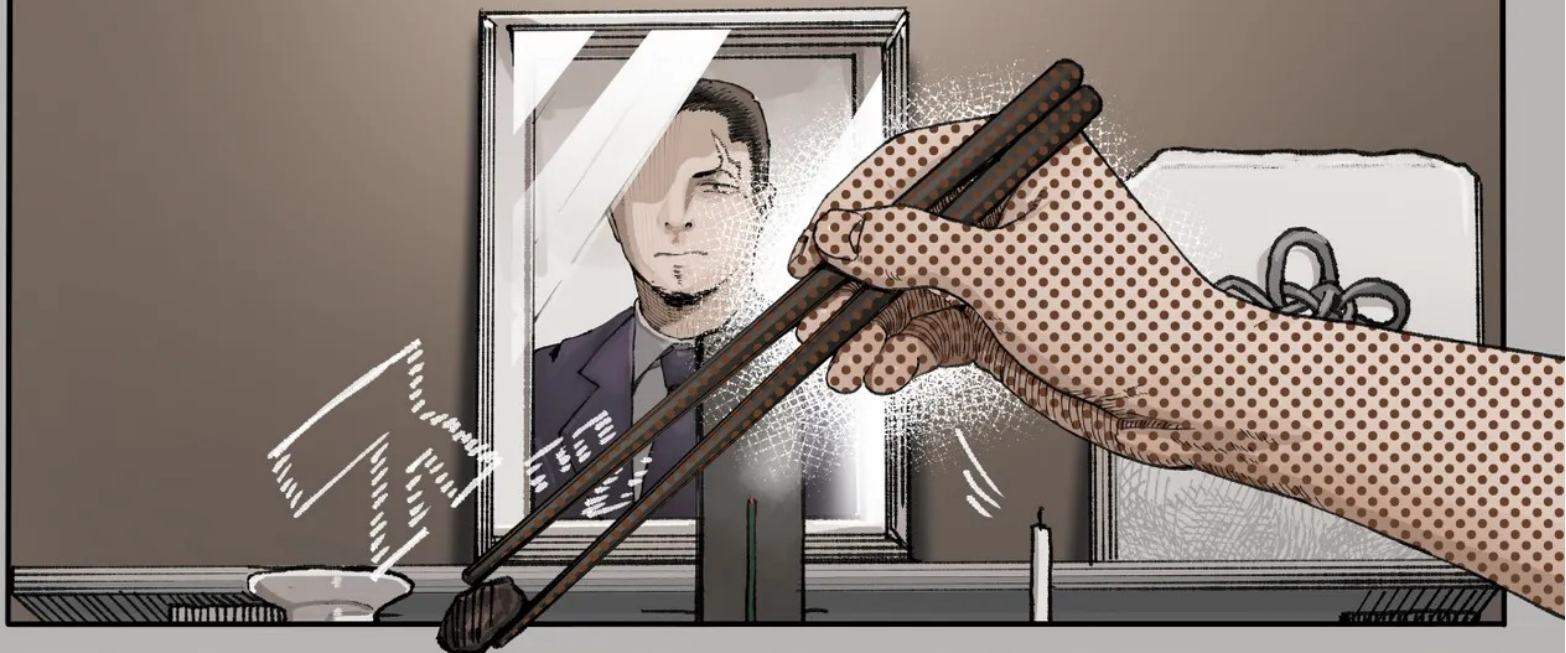
お：
お邪魔します

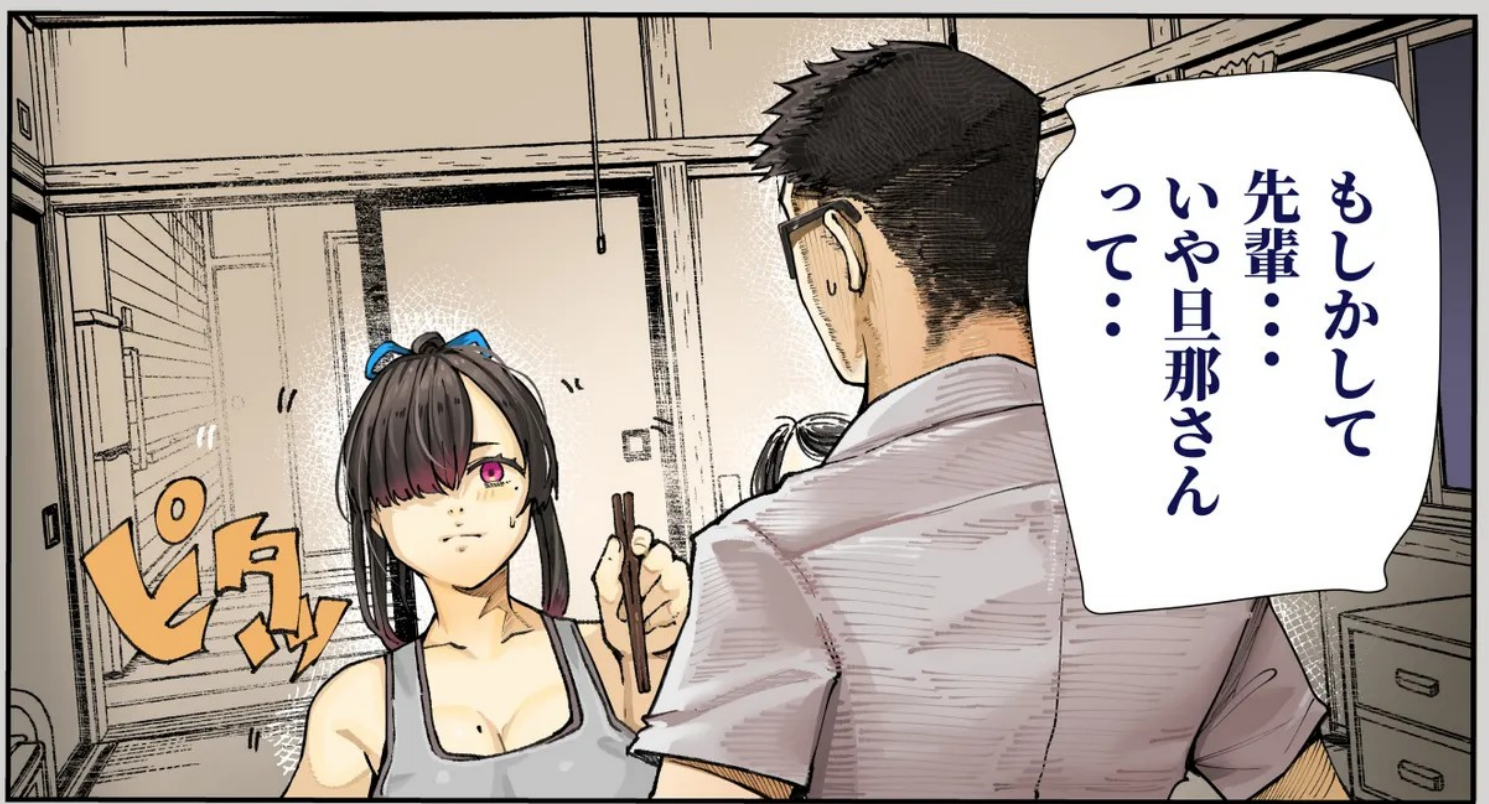
ただいまあ
帰ったよお



さあ
あがって…



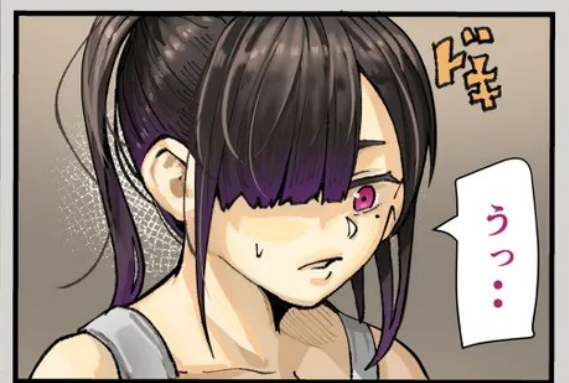
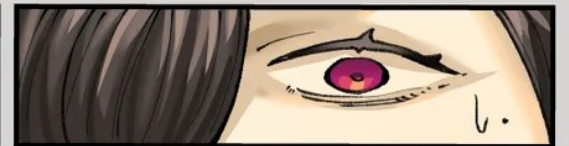




もしかして
先輩……
いや旦那さん
って……



うん……
急性硬膜化
血腫でね……
何でだったのかな……？
前日は元気だったのに



うっ……



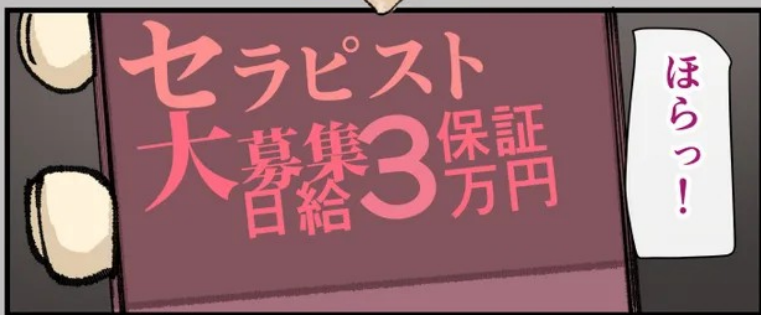
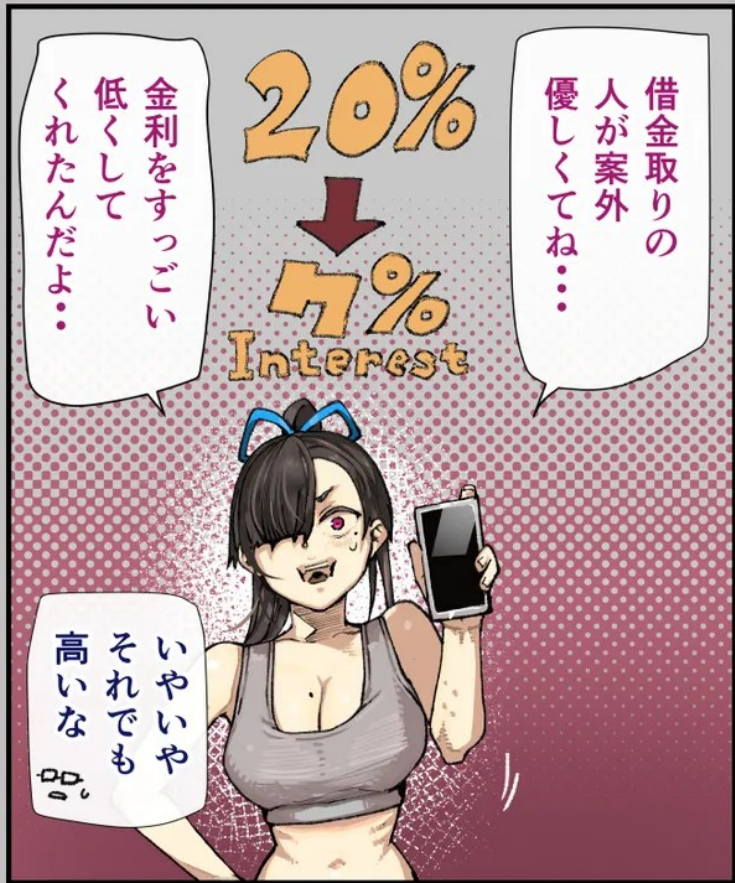
あっ……
でもね……



先輩……
会社経営してたん
だけど
借金が3億円ほど
あったらしく
てね……
亡くなって
からは私が
毎月
その返済
しなく
ちゃで……
情けないけど……まだ
納骨もできてないの



……





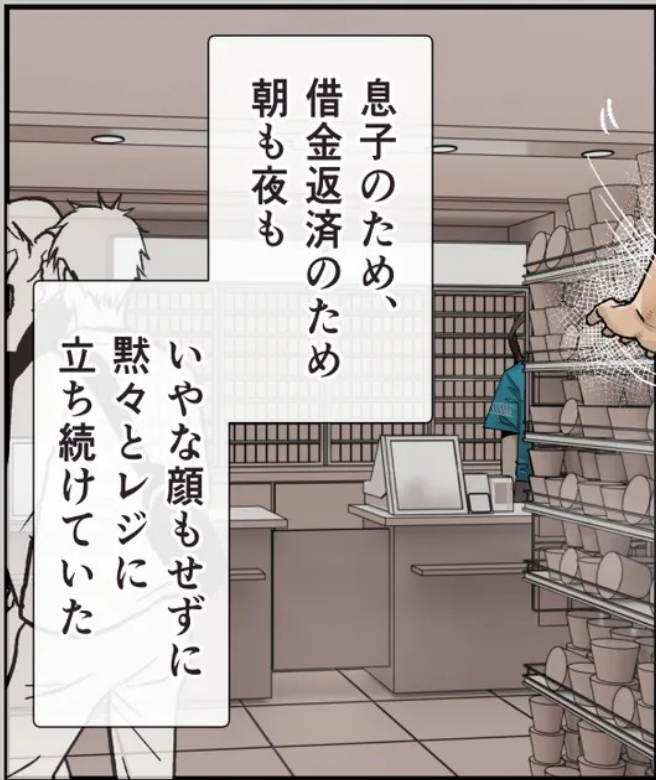


ありがとうございます
ございましたー

うちの店で
働くことになった
凜は……



いらっしやいませッ!!



息子のため、
借金返済のため
朝も夜も

いやな顔もせずに
黙々とレジに
立ち続けていた

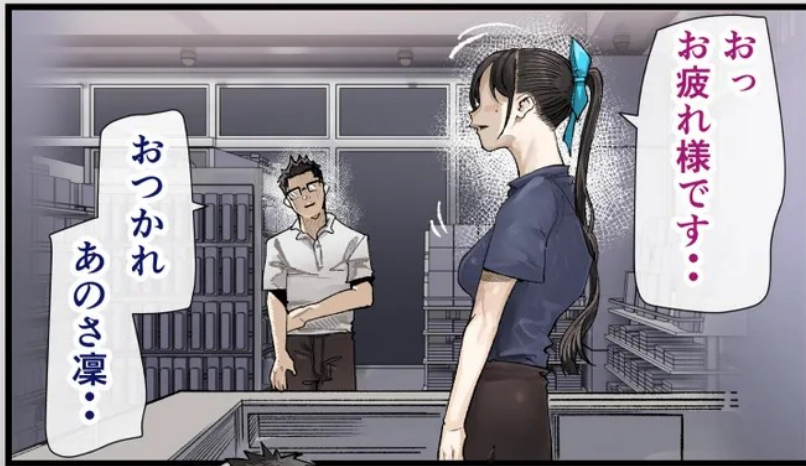


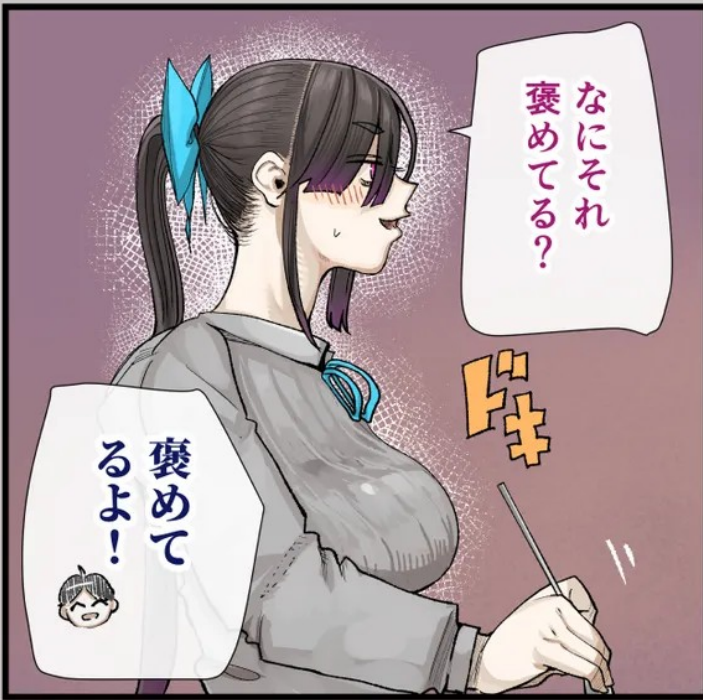
借金で首が
回らなくなった
昔の自分と重なる凜を――

おれはどうしても
放っておけなかった
やれることは全部やる

そう、
心の底から誓った

今日はもう
あがってもらって
いいよっ



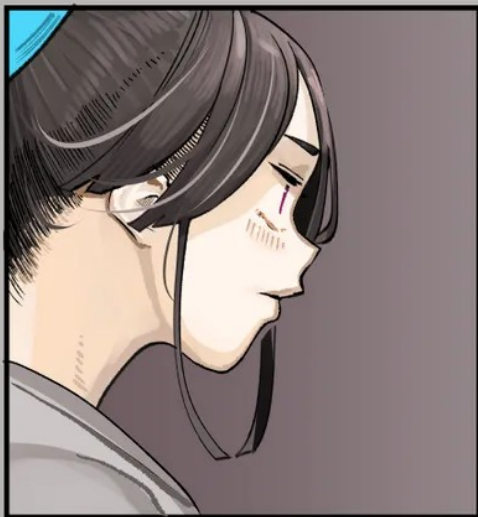




…うん！
ぼくね…
おにいちゃん
のことすき！

だってね
だってね

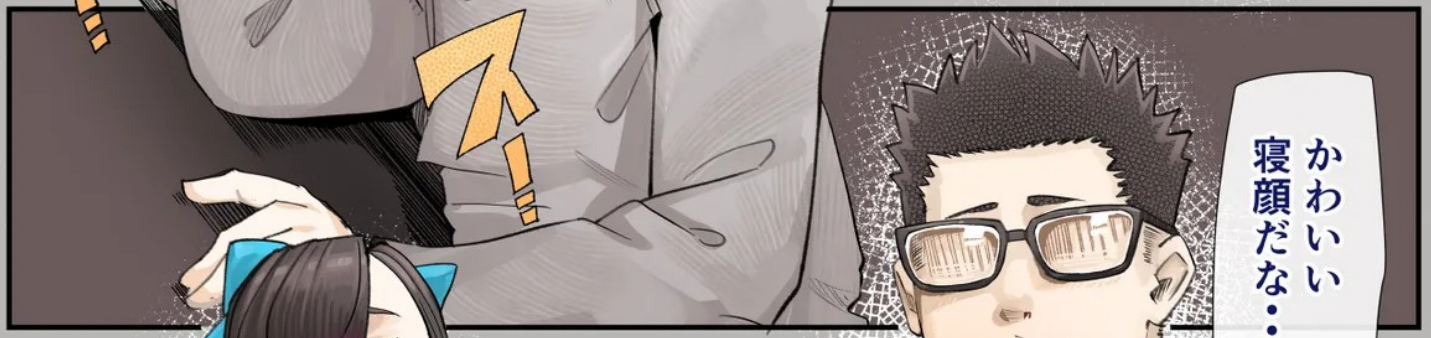
お兄ちゃん
のこと…
好き…？



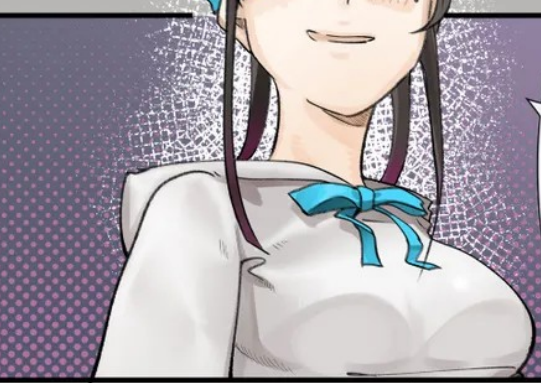
おかあさんの
ことも…
いじめ
ないから

ぼくに
やさしいし
ぶったり
しないし…

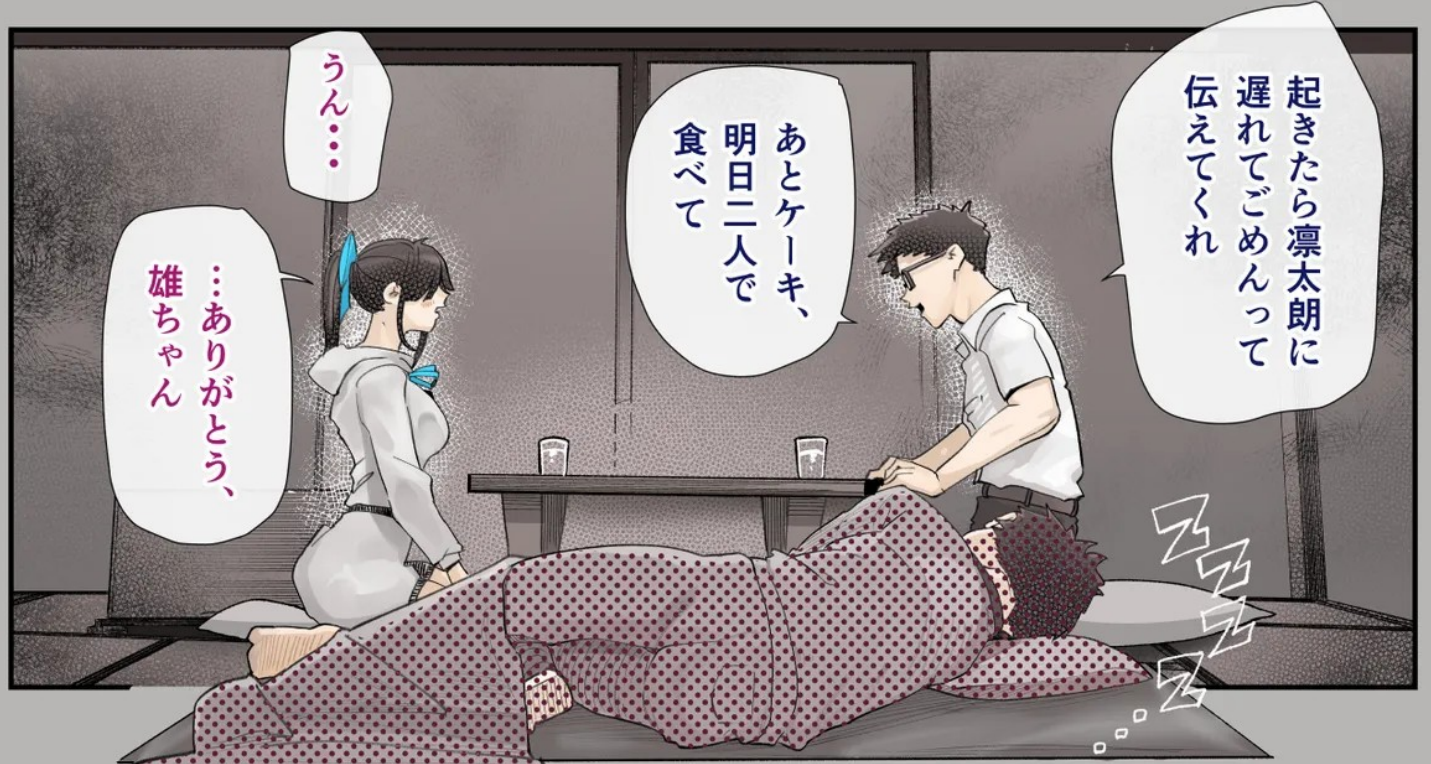




かわいい寝顔だな...



うん...



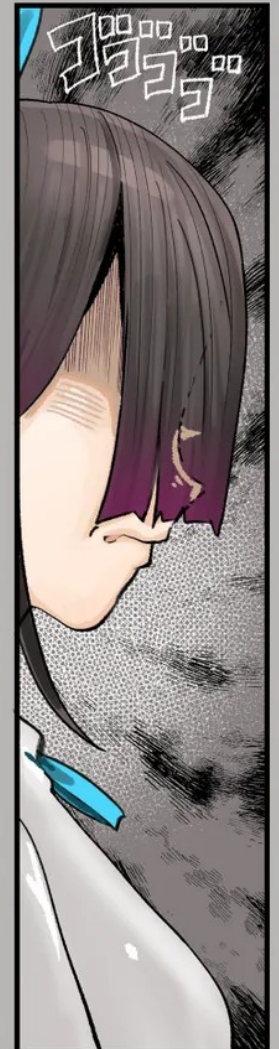
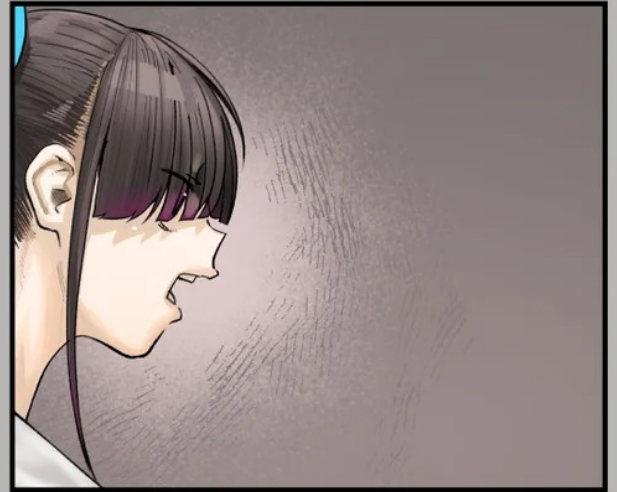
起きたら凜太郎に遅れてごめんって伝えてくれ

あとケーキ、明日二人で食べて

うん...

...ありがとう、雄ちゃん







馬鹿だよな・私
借金返すことに
意地になってさ・

でもさ・
お金を返さないと
貸してくれた人も
困っちゃうと
思うんだよね・



それ考え
ちゃうと
なんか・

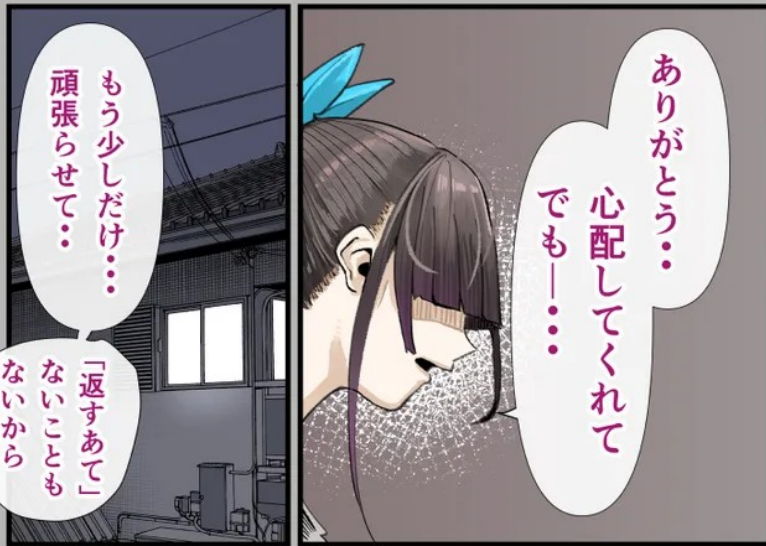


それに貸金のヤツ
堅気に見えないし、
関わらない
ほうがいいと思う



凜はさ・
昔から人が
良すぎるよな・

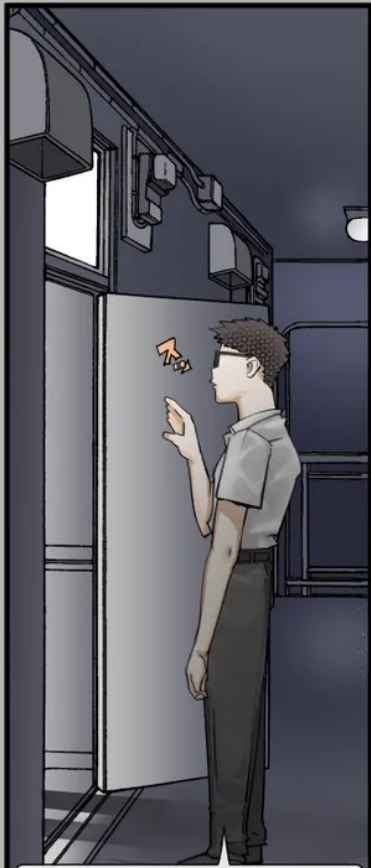
現実問題
金利分すら
返せてない
だろ？



ありがとう・
心配してくれて
でも・

もう少しだけ・
頑張らせて・

「返すあて」
ないことも
ないから



ああ：明日
早朝勤務
なんだ：
すまん：



本当に
帰るの？



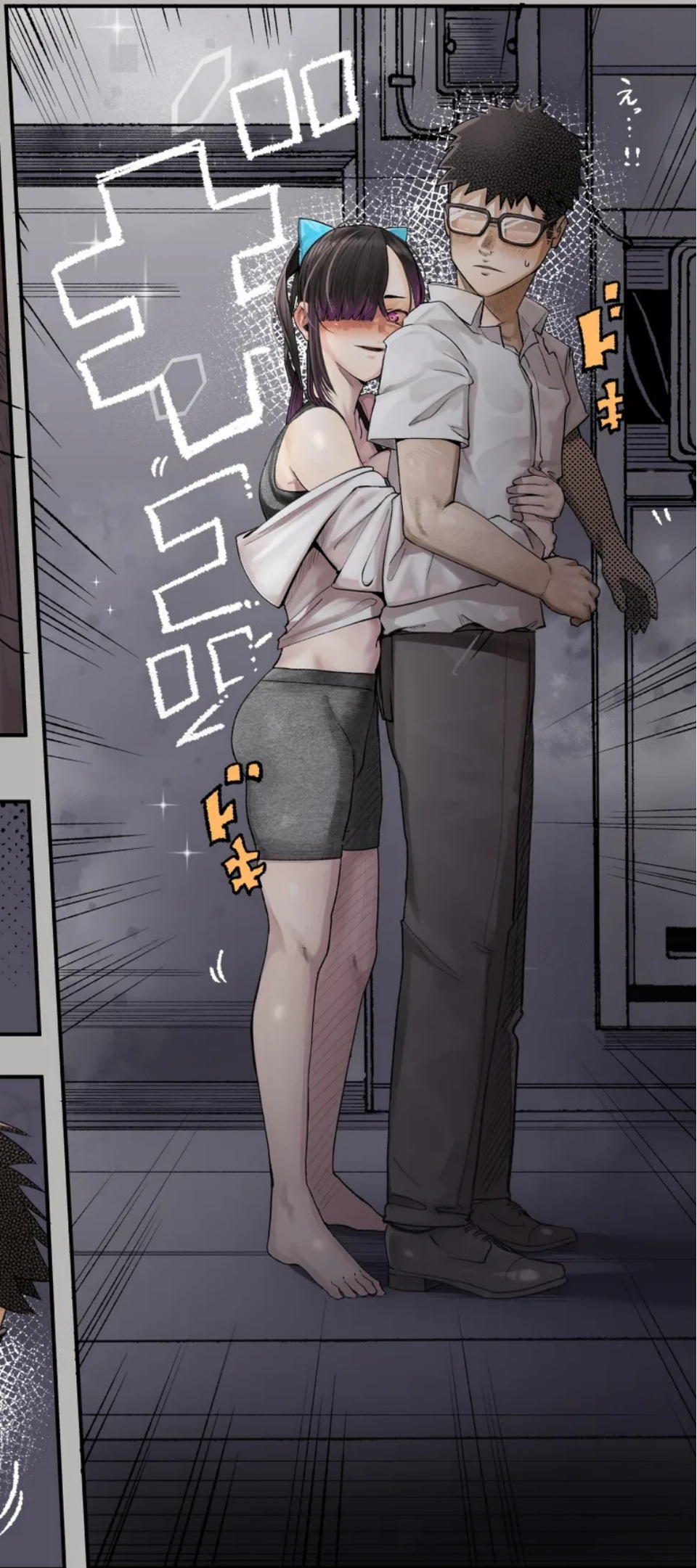
おやすみ

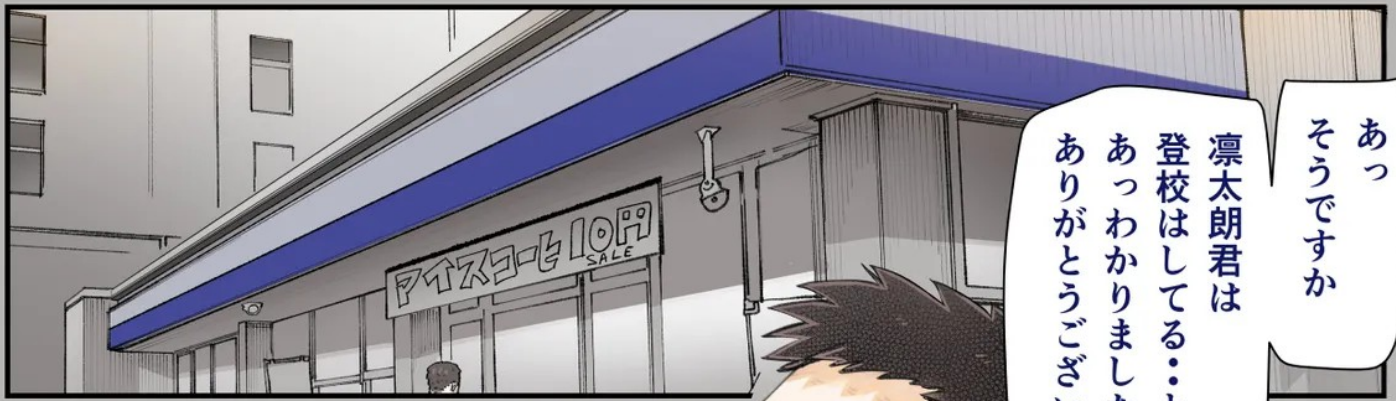


それじゃあ
凜太郎に
よろしくな



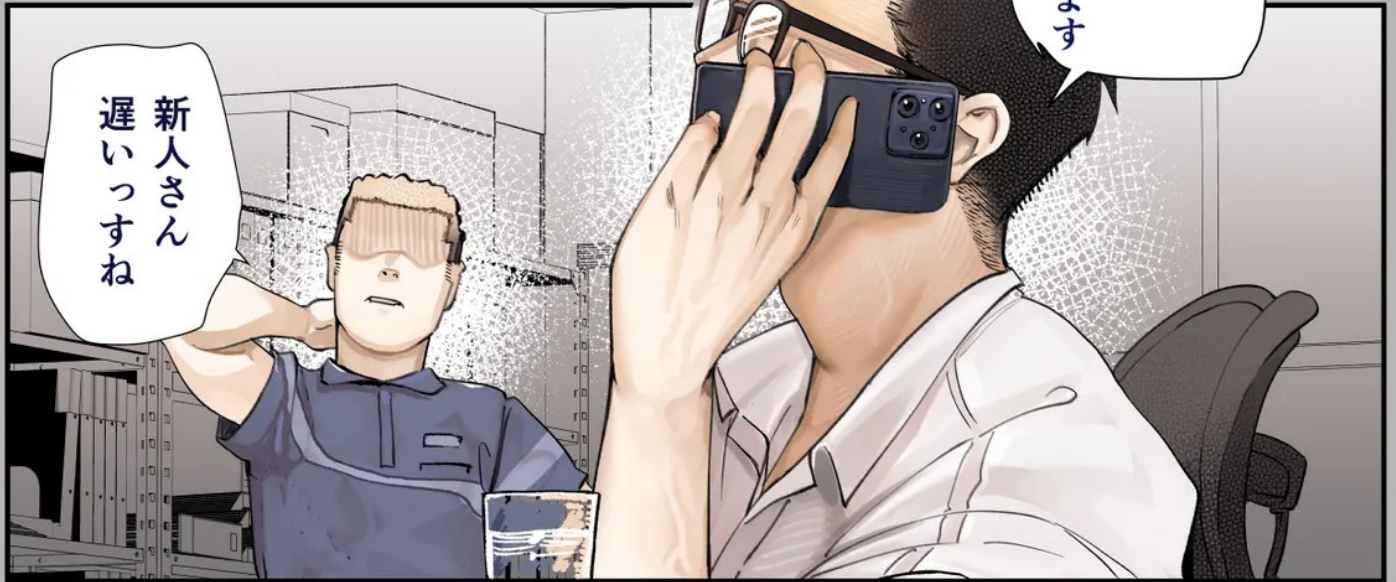
そっか……





あっ
そうですか

凜太郎君は
登校はしてる…と
あっわかりました
ありがとうございます



新人さん
遅いっすね



すまん：
凜の代わりに
シフトに入って
くれるか？

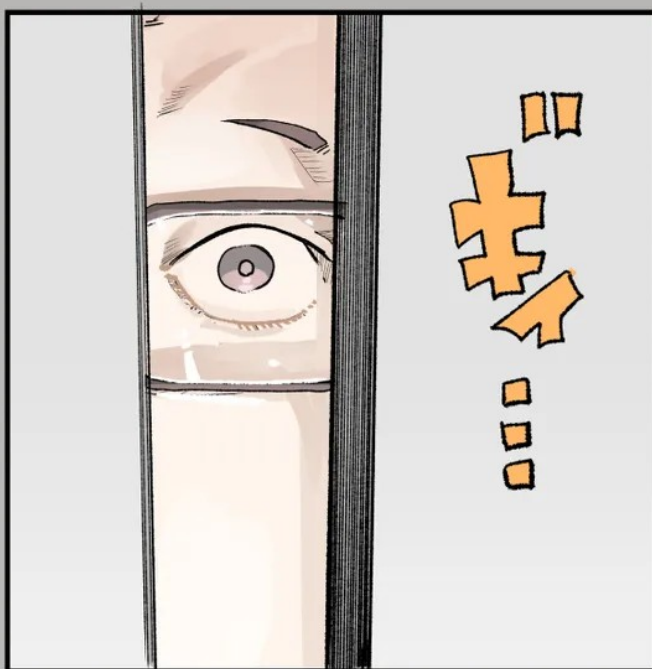
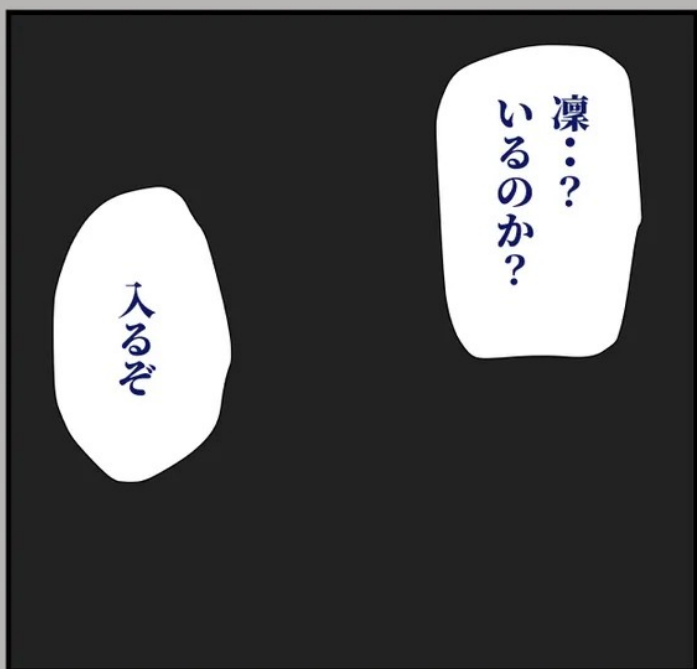
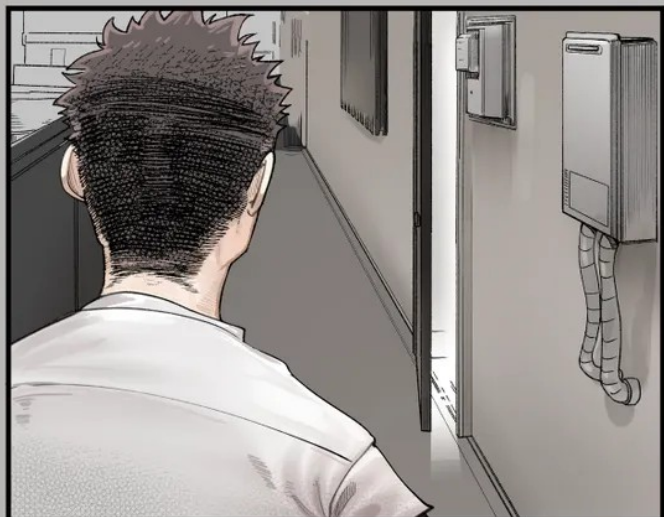
いいっすよ

今日の
午後講義は
楽単ばっか
ですから



ああ…
電話にもでないし
もしかして
なんかあったか？





はいっ
ポーズして

いいよ
次は膝立ち
してみてください

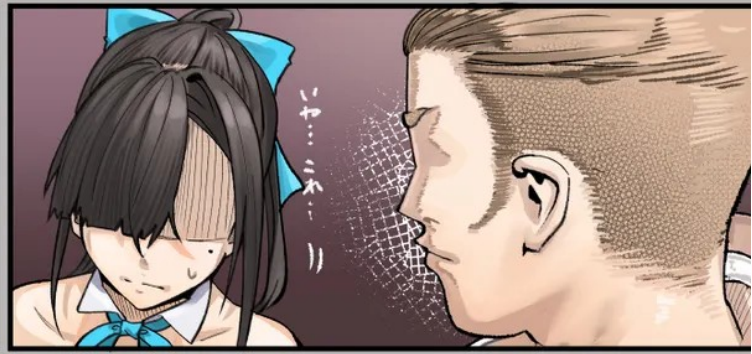
こ...
こうですか？

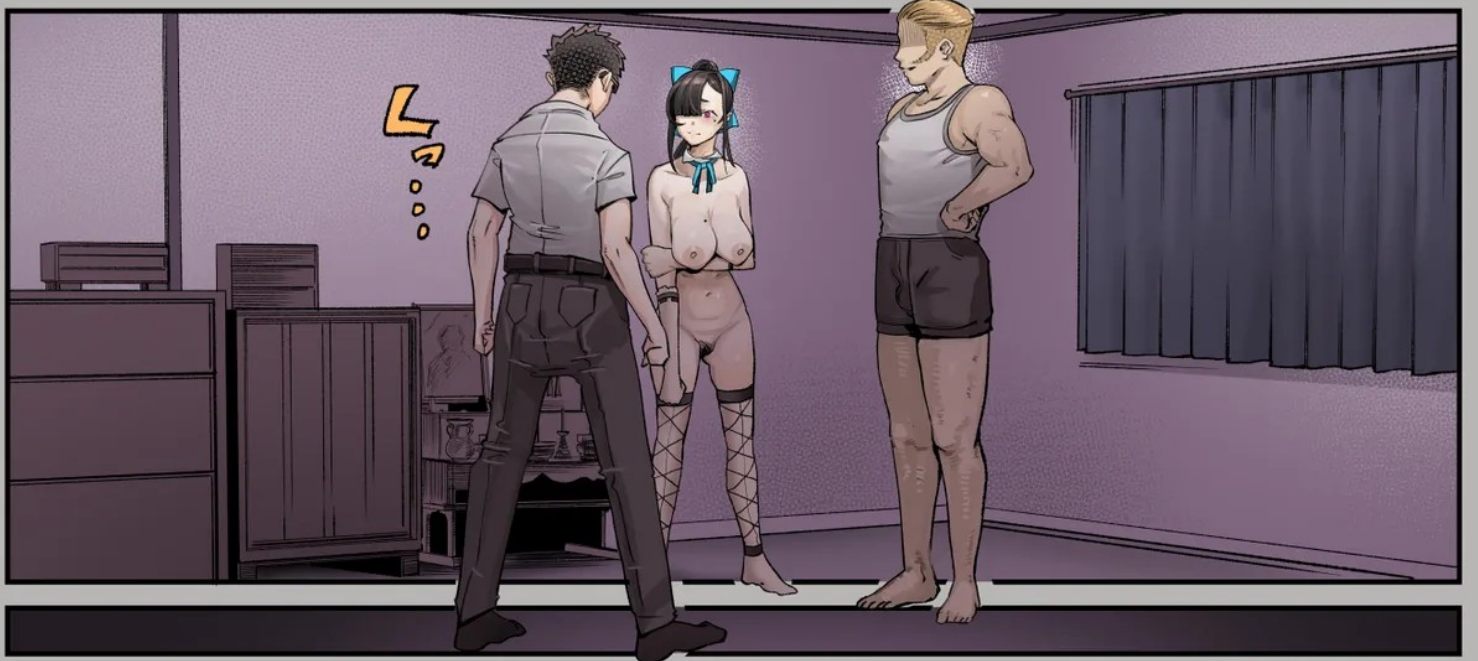
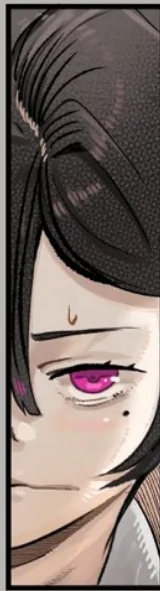
凜ッ

おま...

な：
何してんの？









な…
なんだよ
その言い方
俺はお前
のこと：

まあ
まあ



とにかくさ
アンタが
撮影の邪魔
したのは事実
だからさ

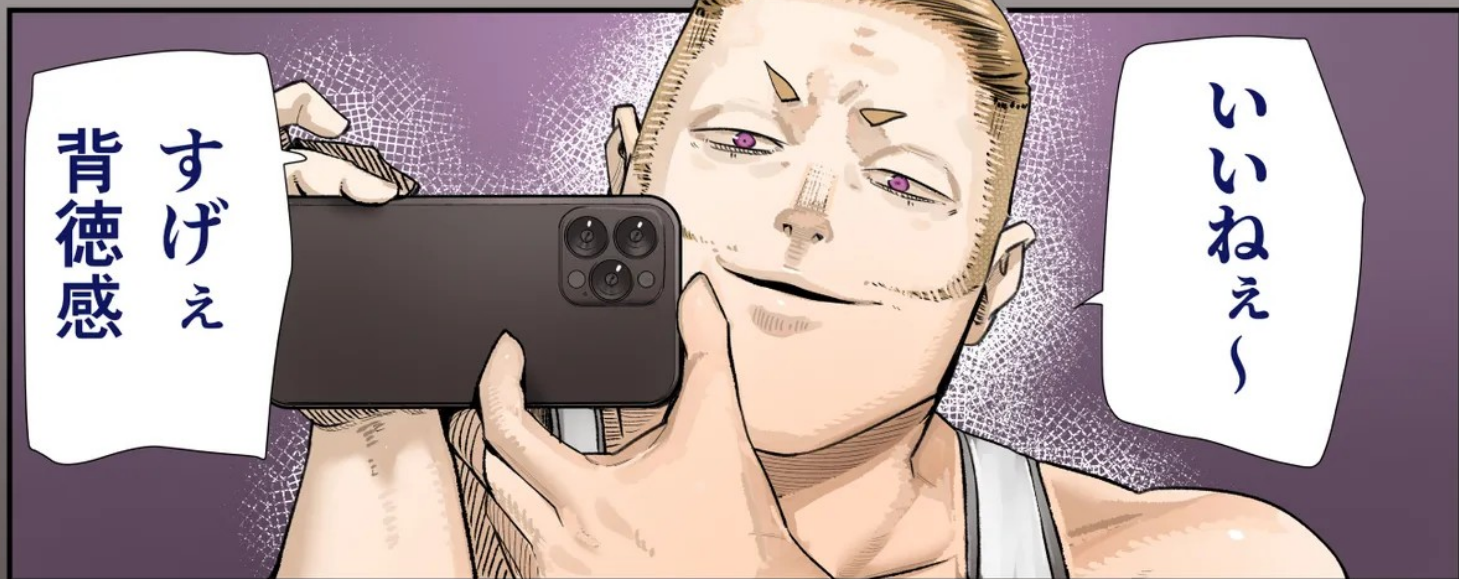
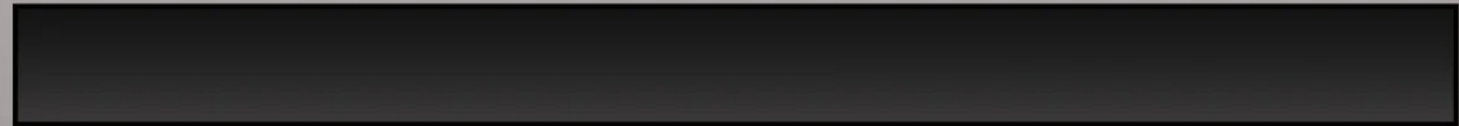
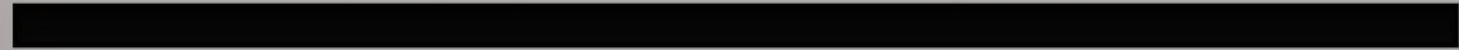
責任とって
協力してよ
それに：



やらなきや
困るのは
凜ちゃんだよ

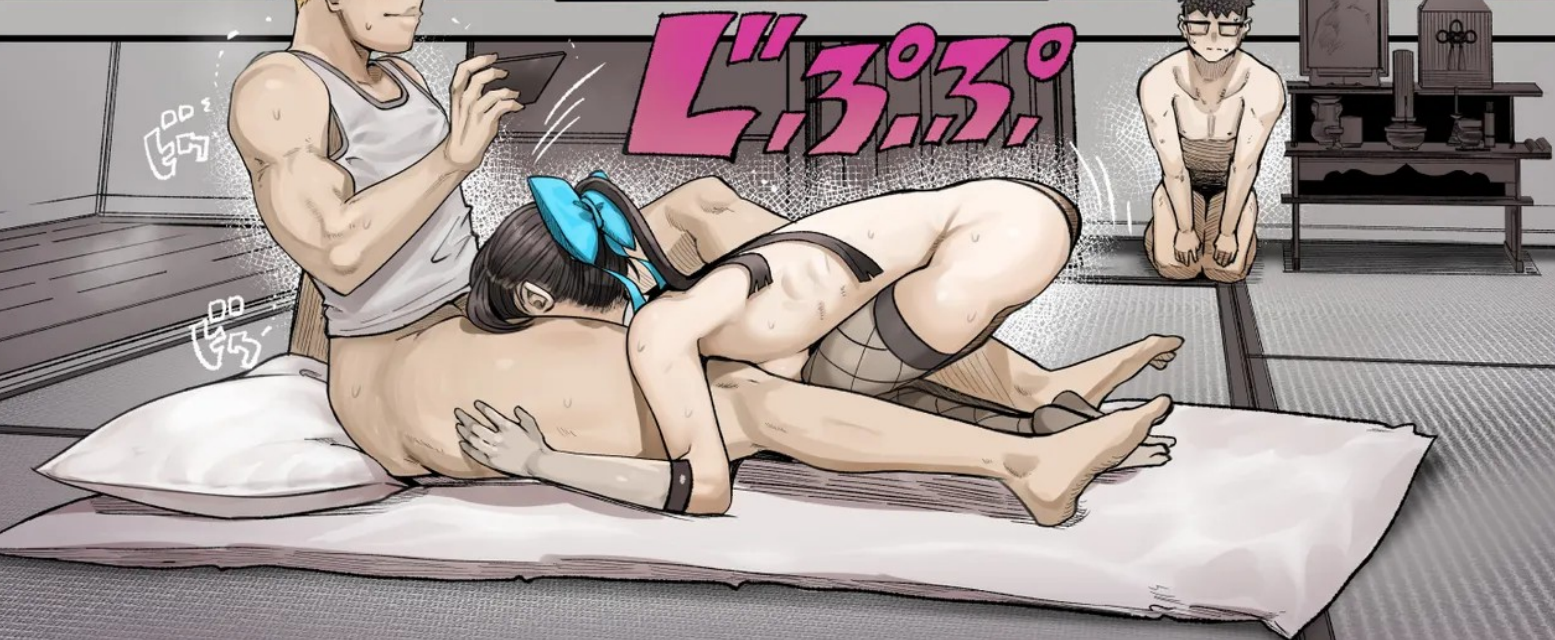
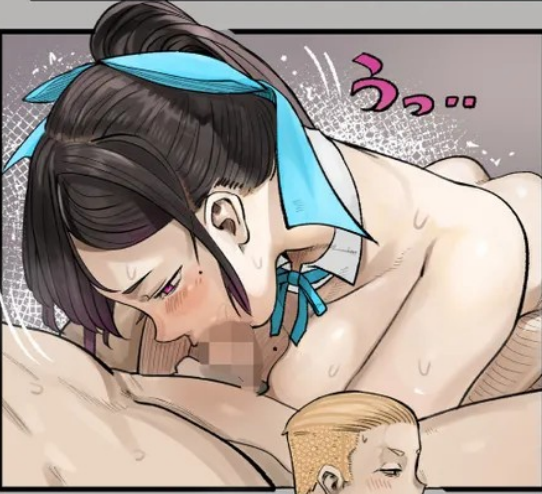


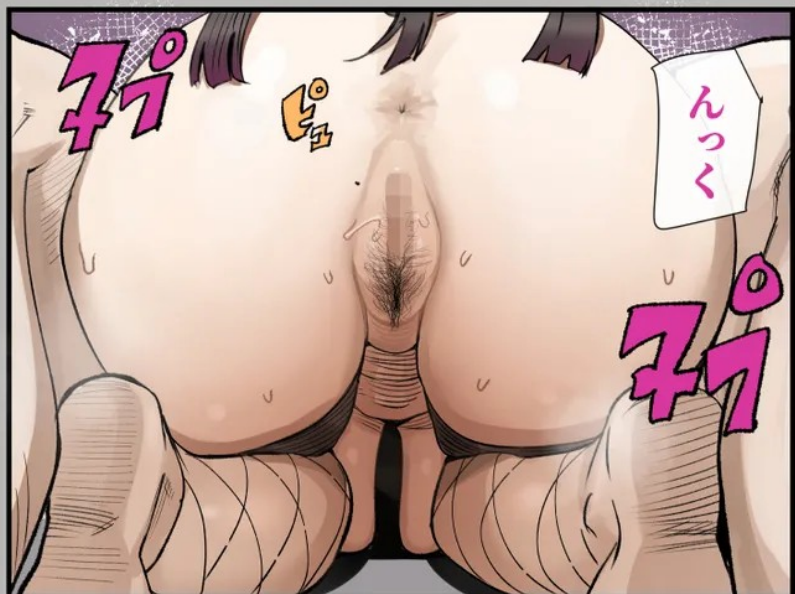
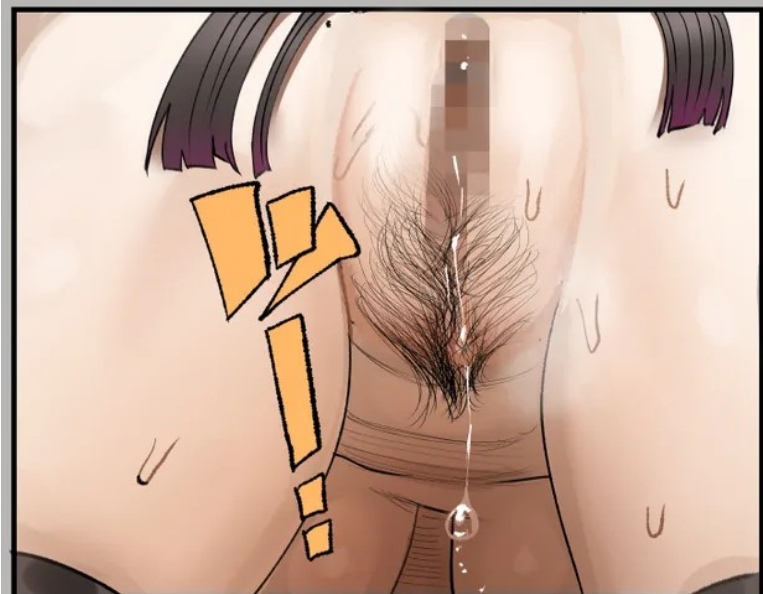
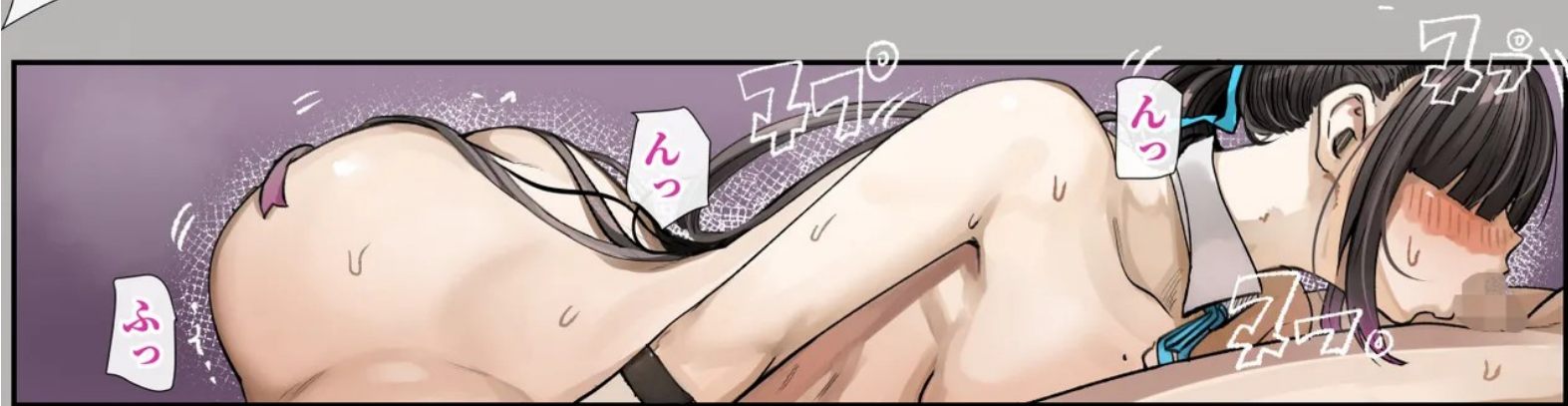
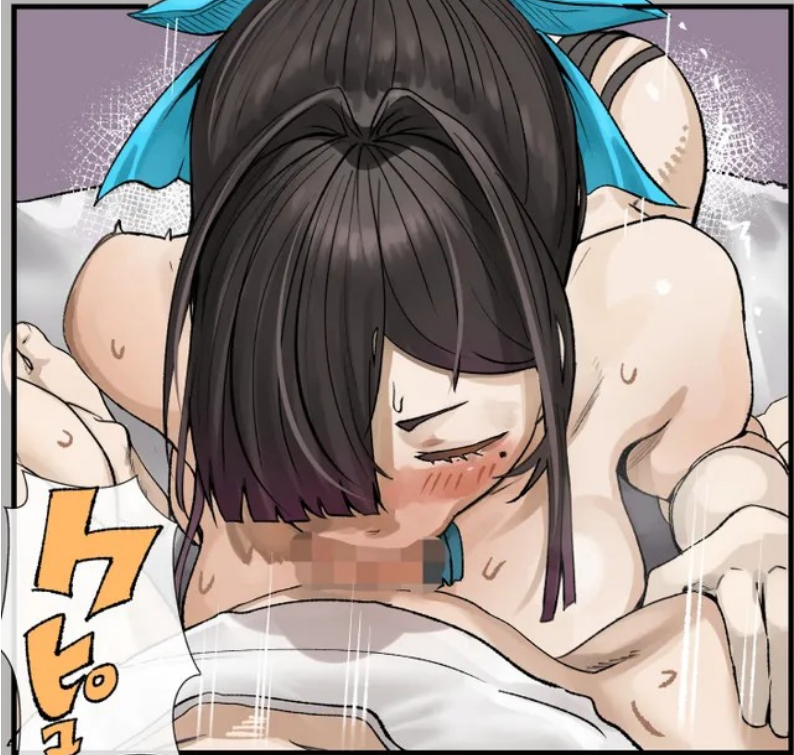
うっ…

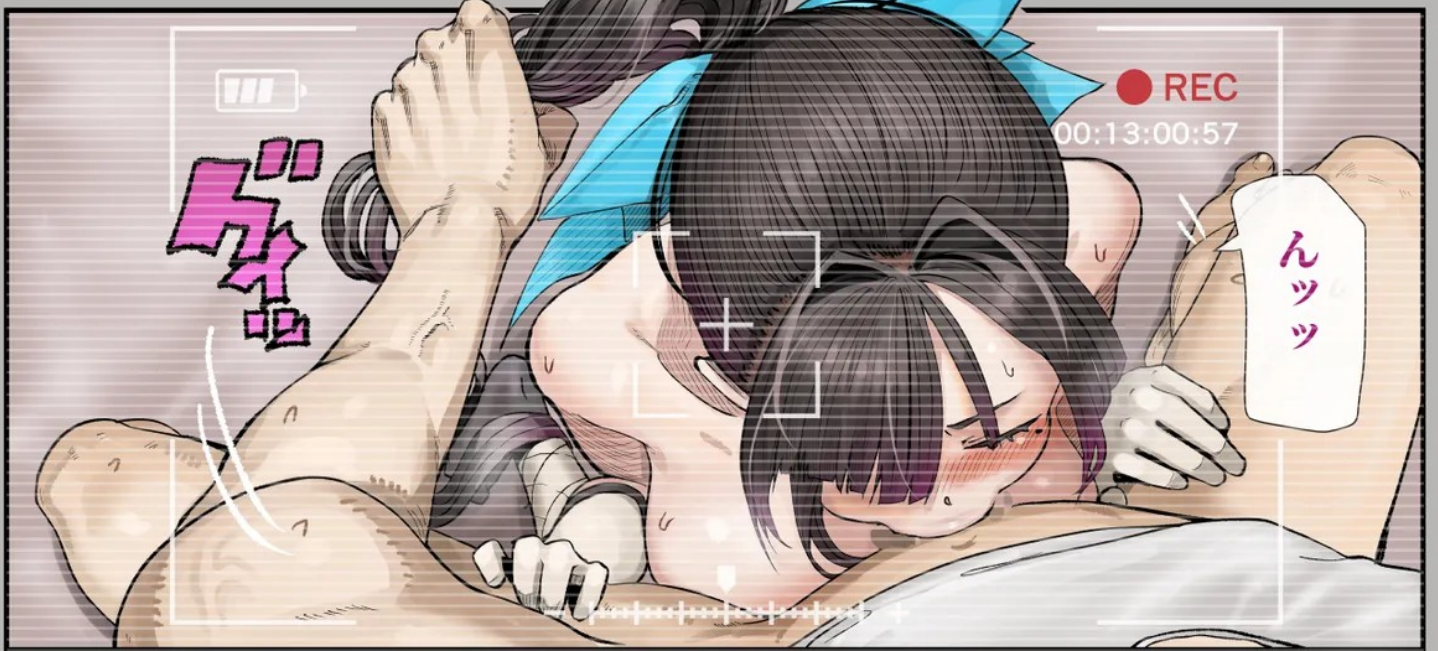
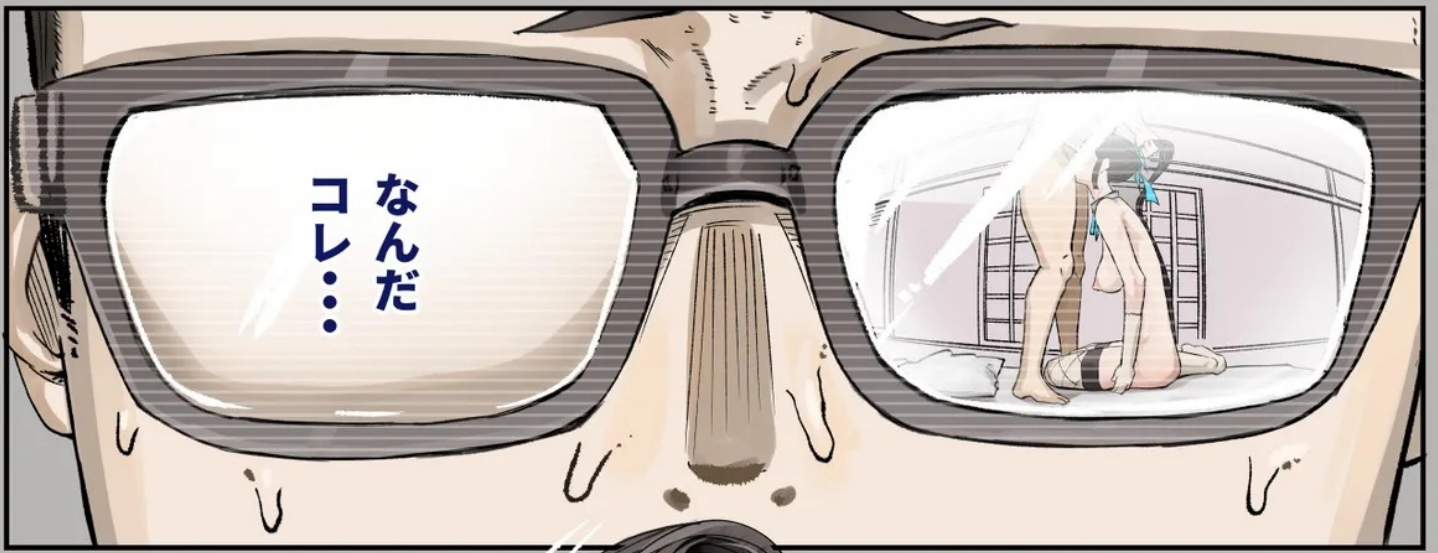


いいねえ〜

すげえ
背徳感







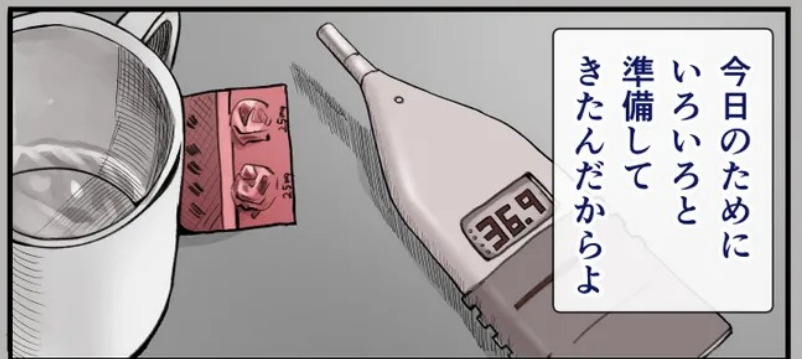
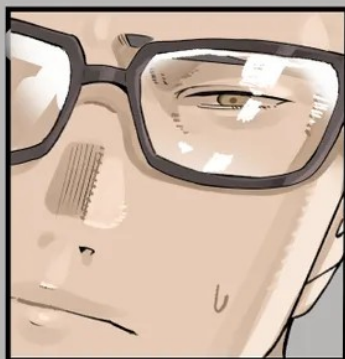


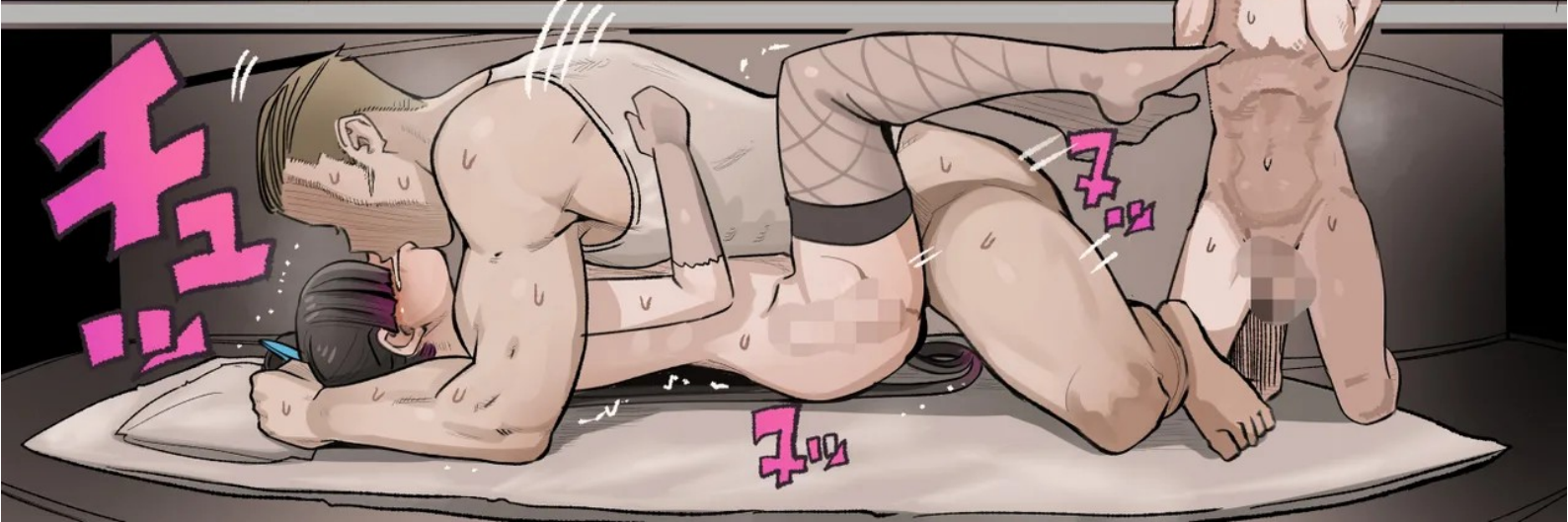
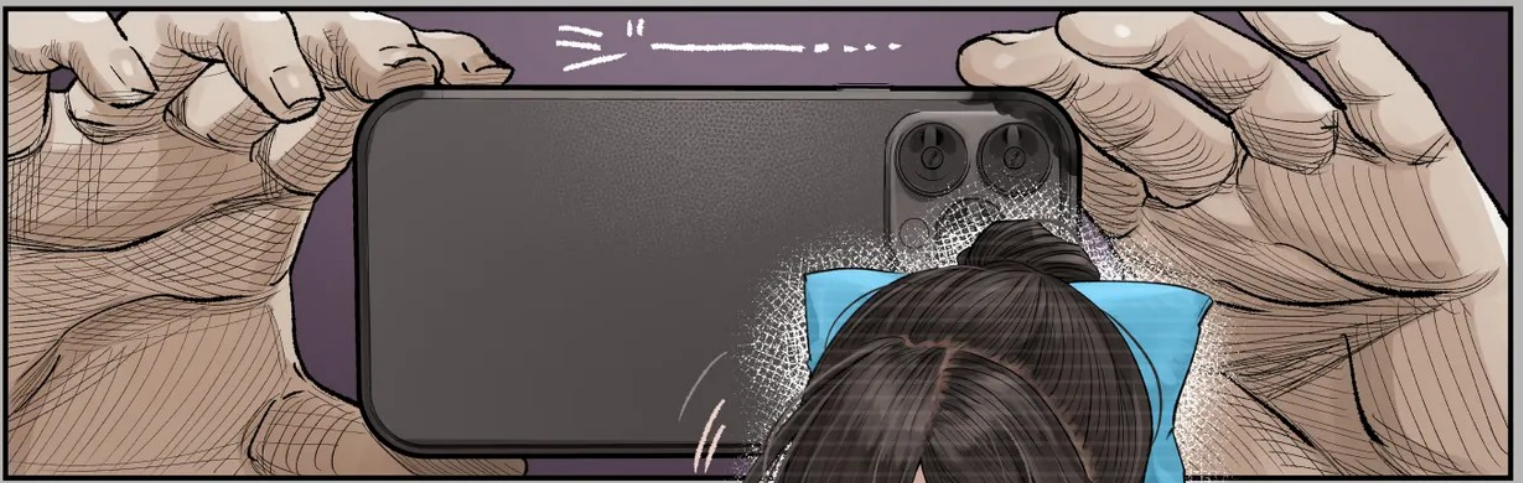
んっ

んっ

んっ

んっ





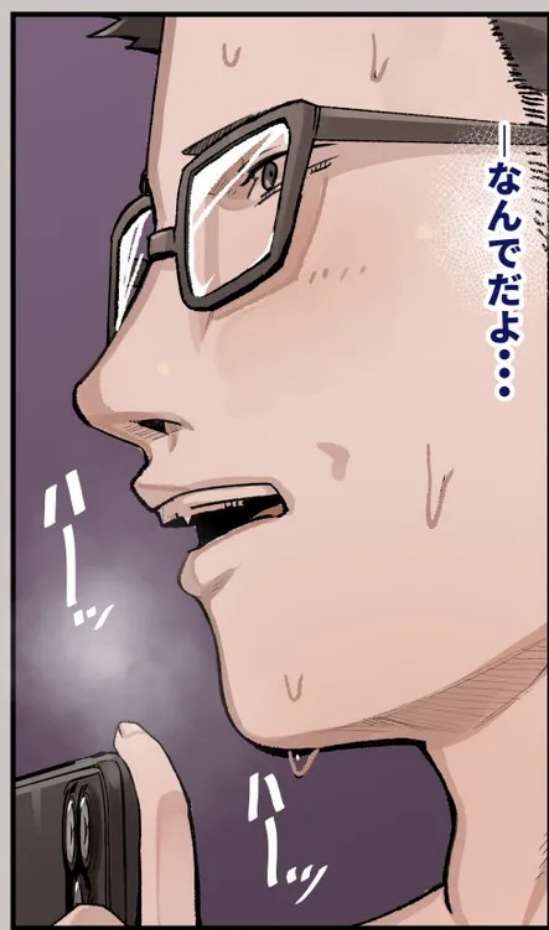


なんでそんなに
気持ちよさそうな
顔をしてんだよ...

ニエル

ブル

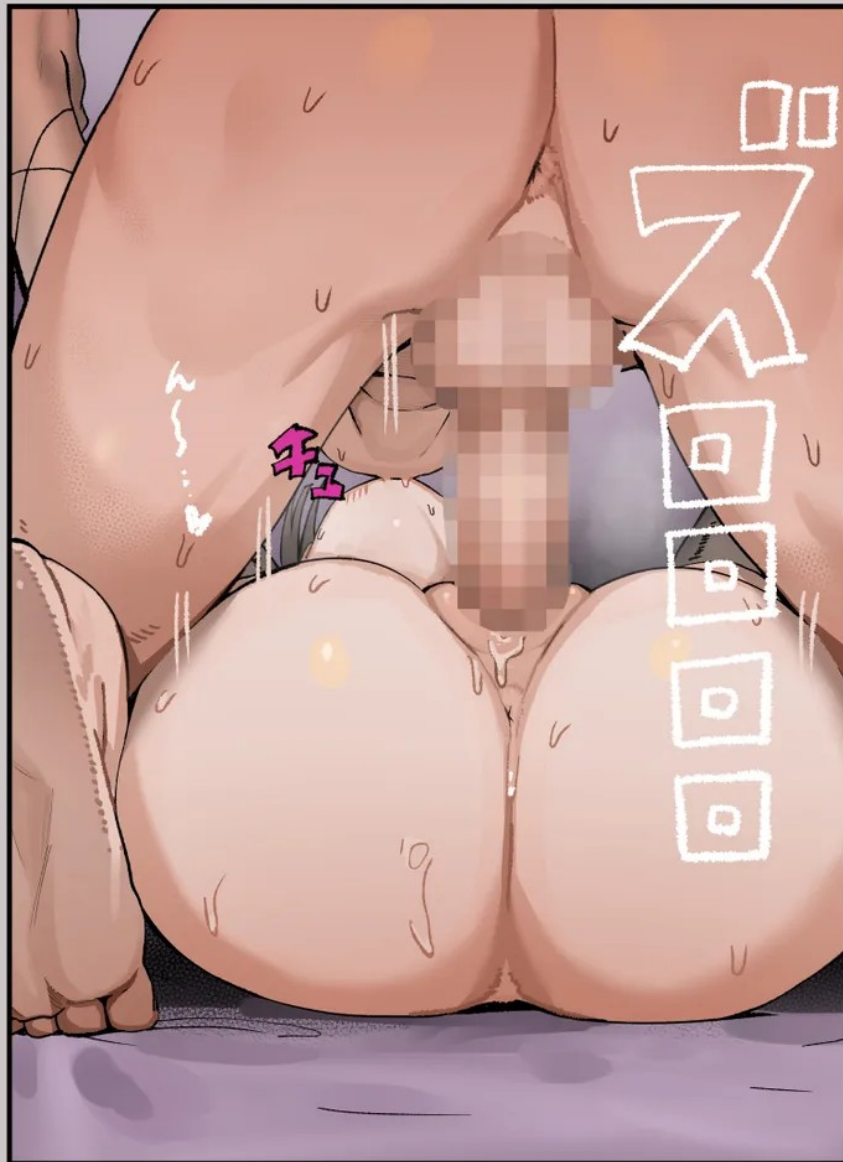
俺や...
旦那の遺影の
前だぞ...



なんでだよ...

ハッ

ハッ



ズ
□
□
□
□
□

キエ

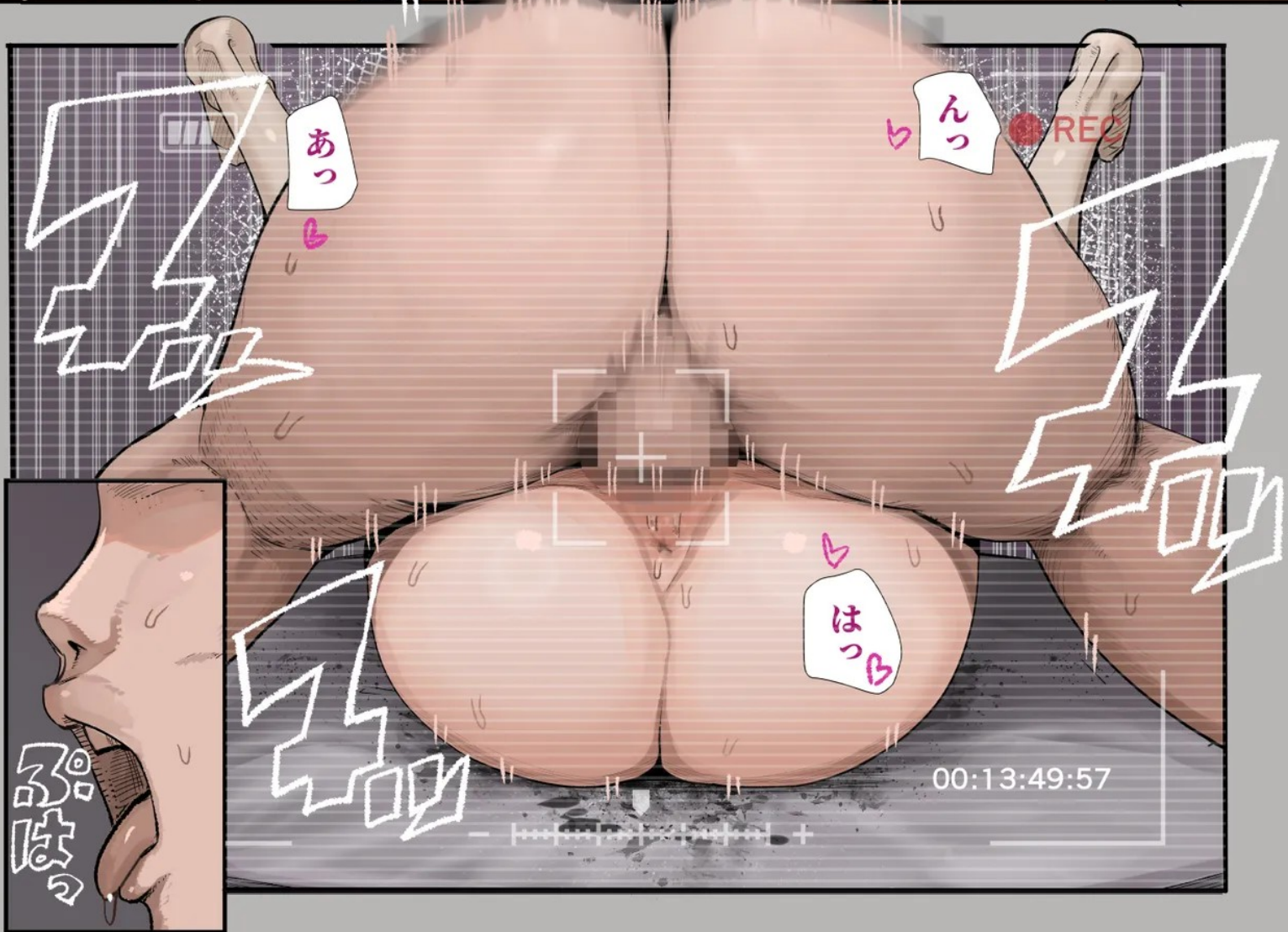
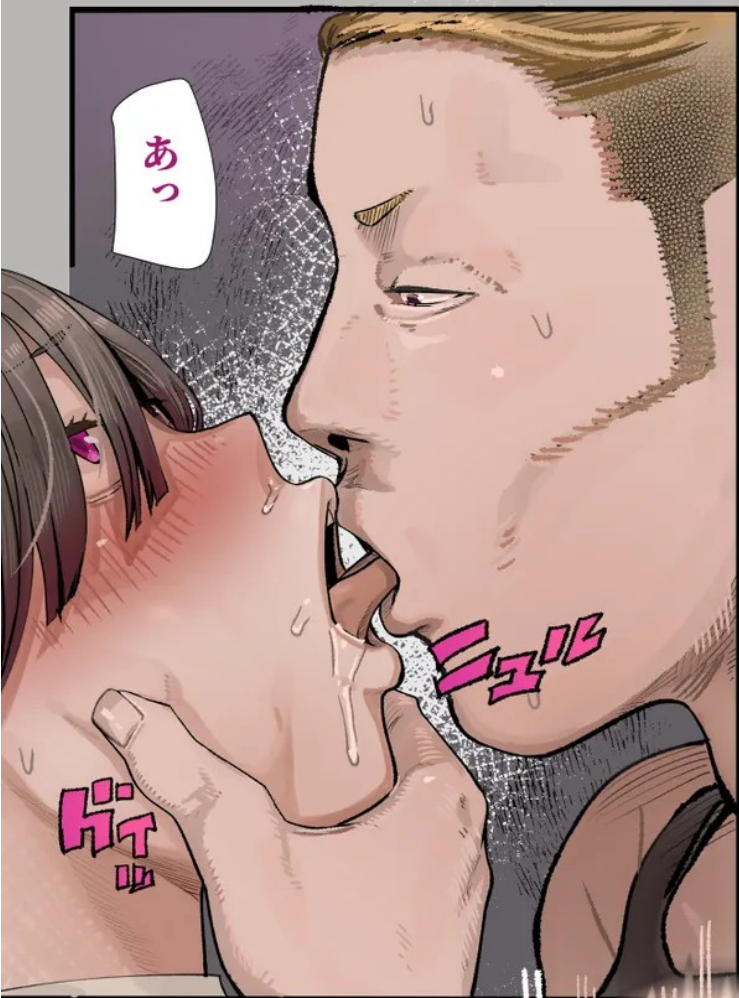


そんなやつ
チンポで
そんな顔
するなよ...

どっ

どっ

俺なら
もっと...
お前を...



どう..
気持ちいい？

は..はい..

そうだ..
カメラと遺影に
向かって
ダブルピース
してよ

えっ

いいねえ
エッチな顔で

ほら..
早くッ

はっ
はい..

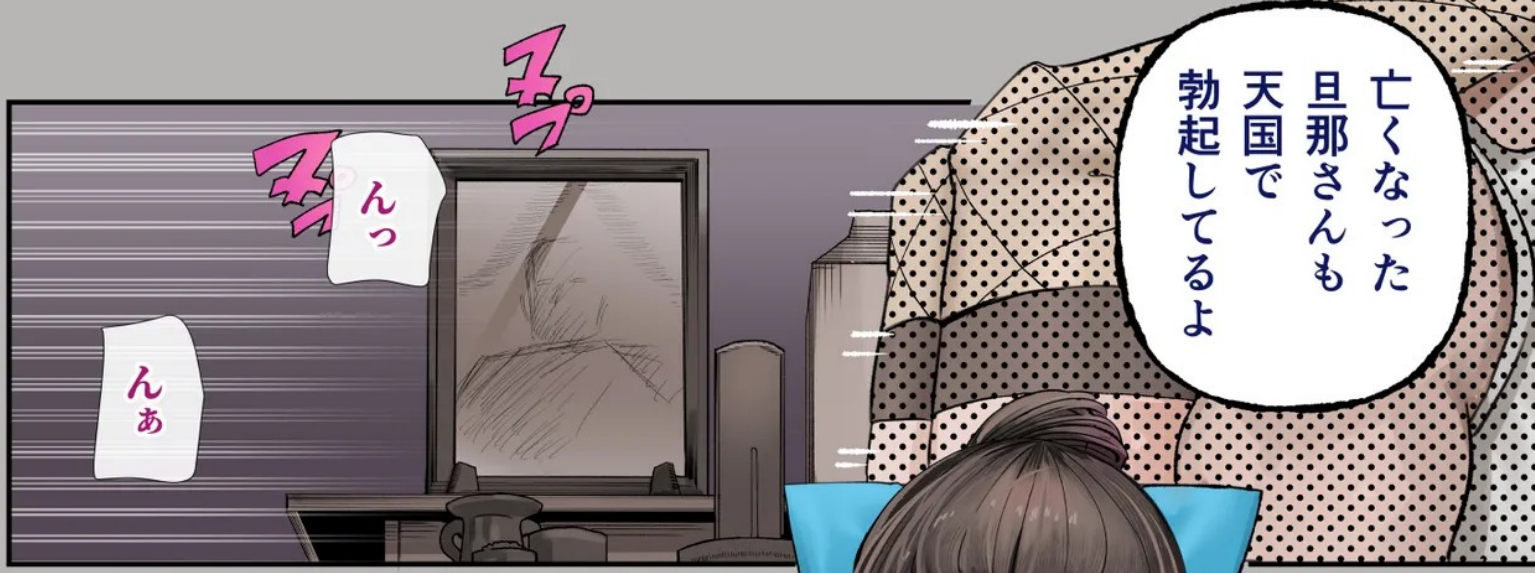
REC

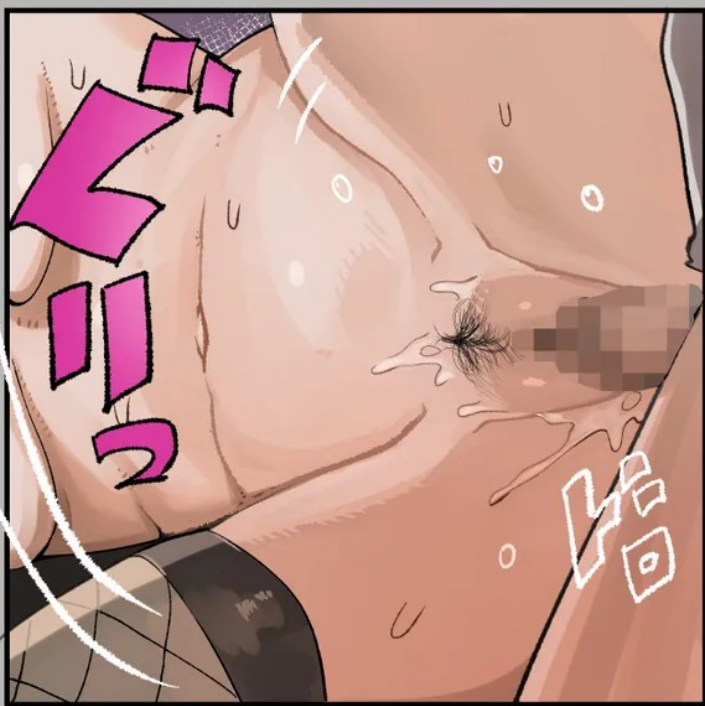
00:13:58:57

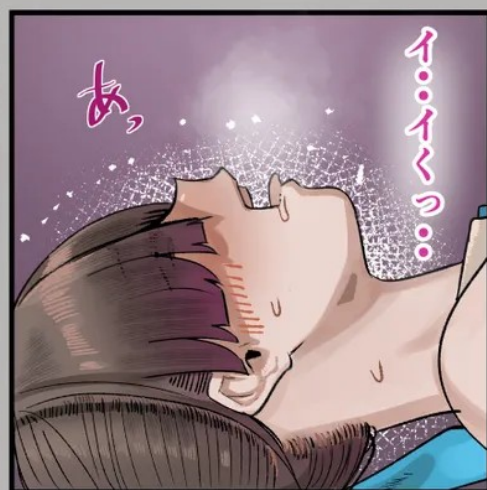
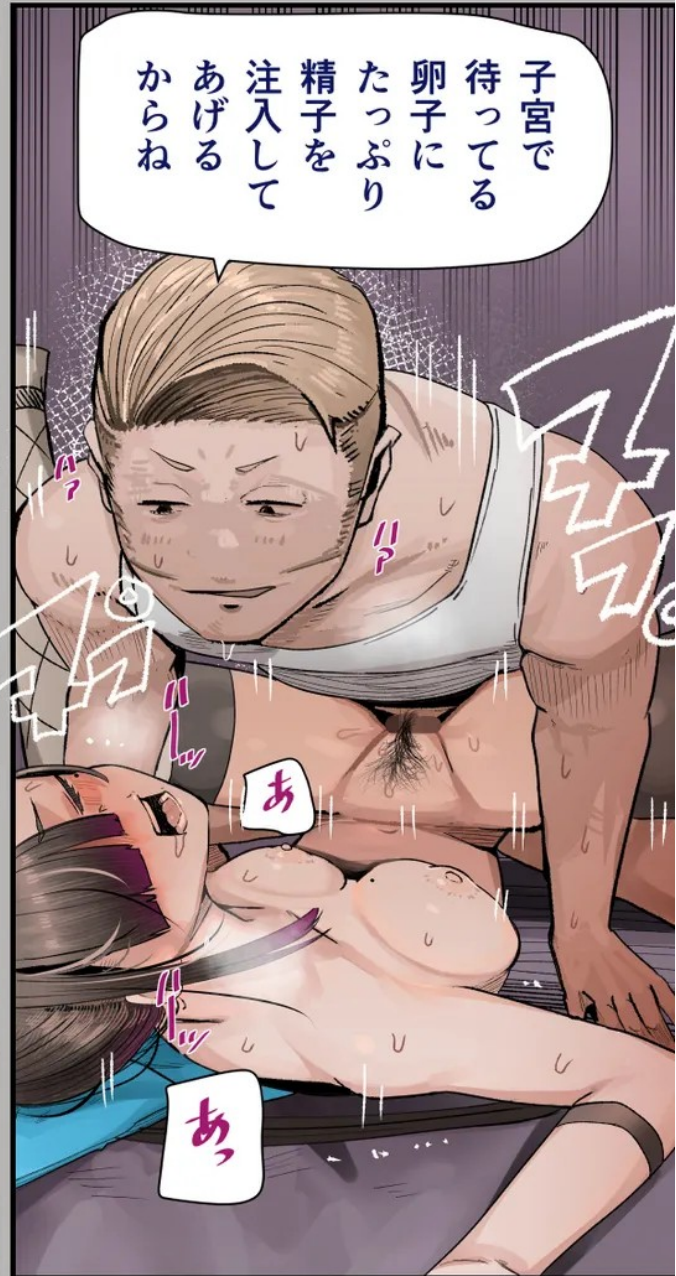
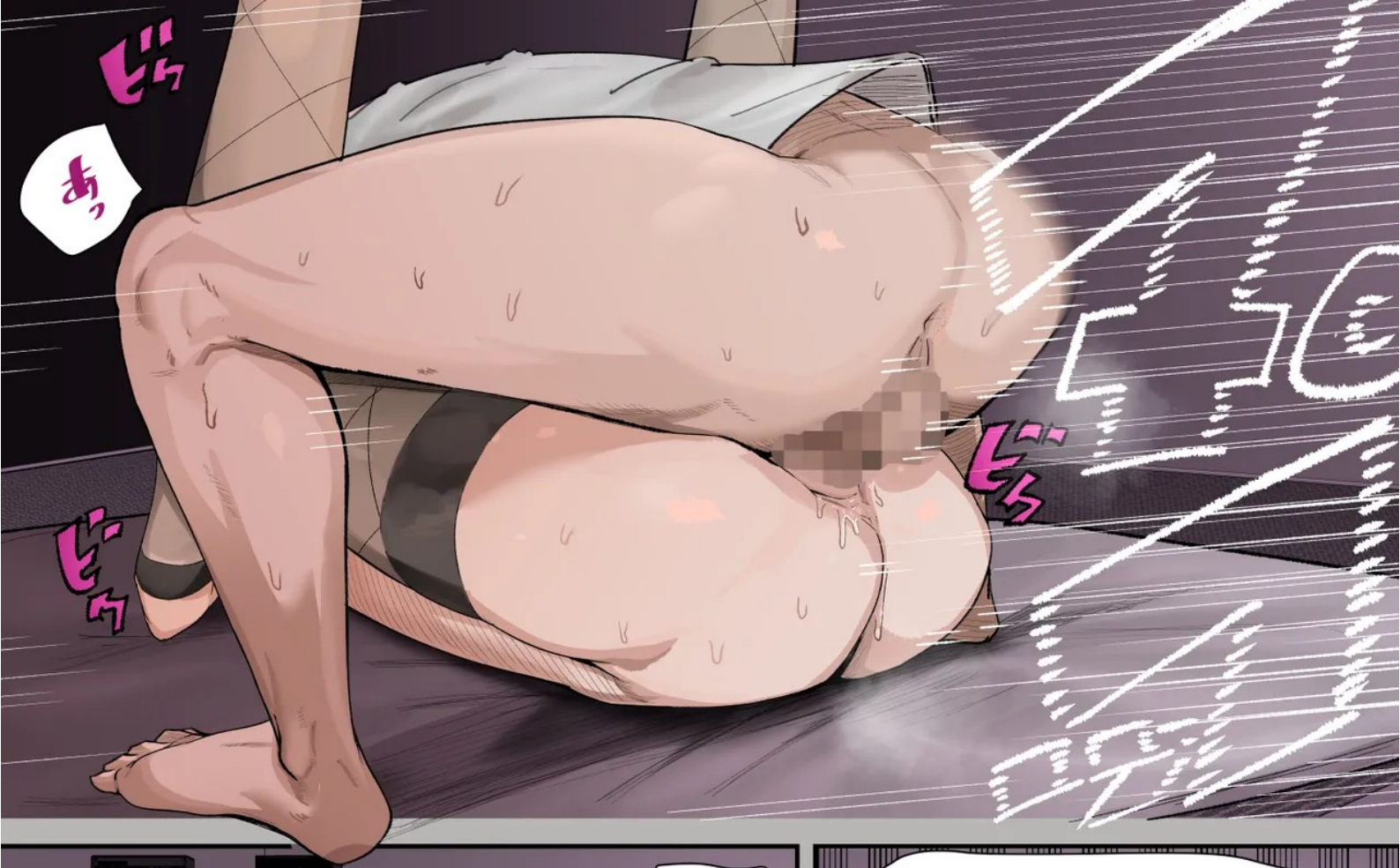
ピッ

びび

おっららねえ









んっ

あっ

んっ

んっ

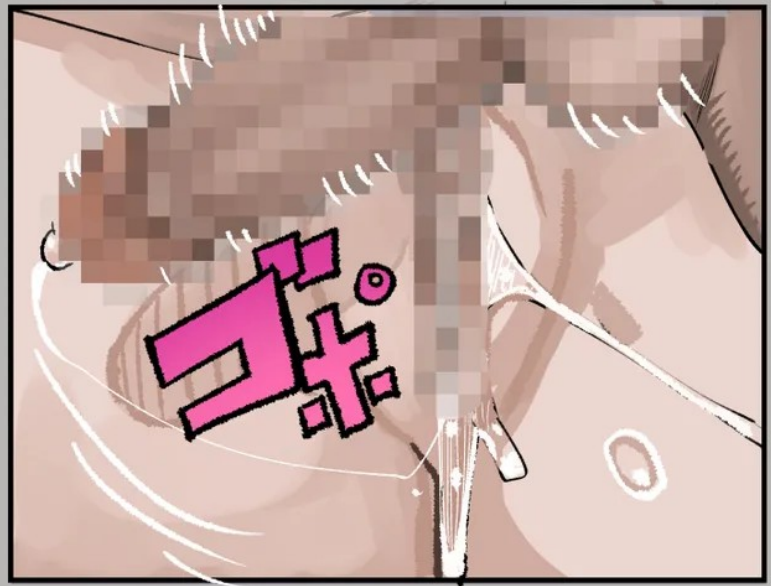
んっ

んっ

んっ



はあー
めっちゃ出たわ
こりゃあ
絶対に
孕んだな



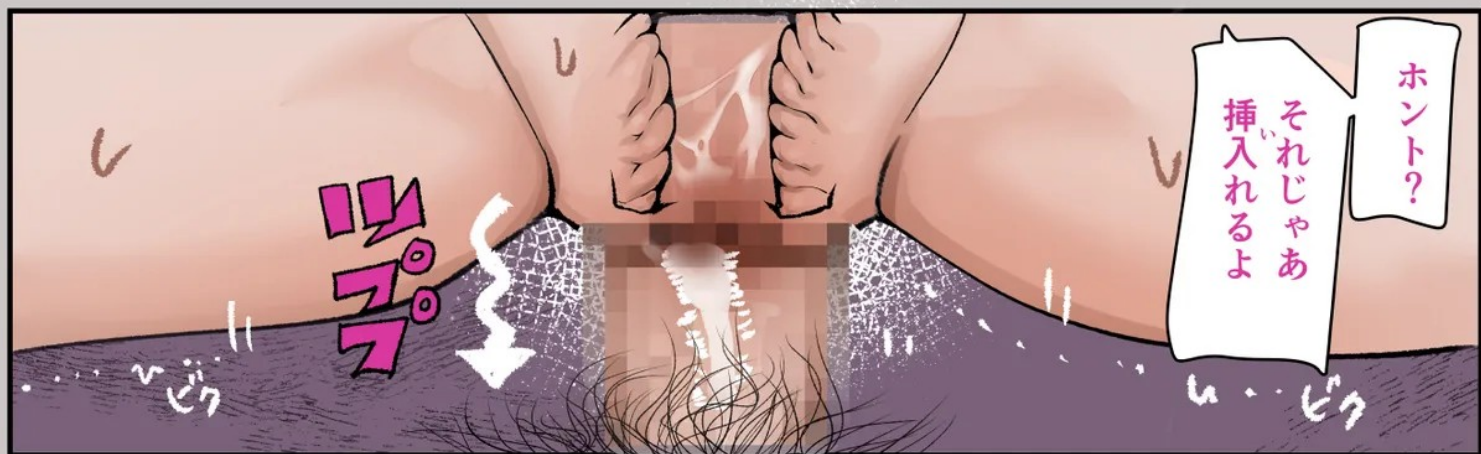
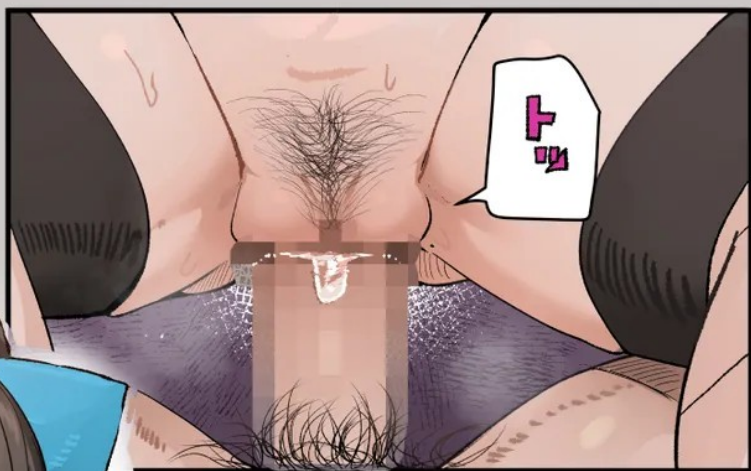
つきは
アンタの番や
カレシさん

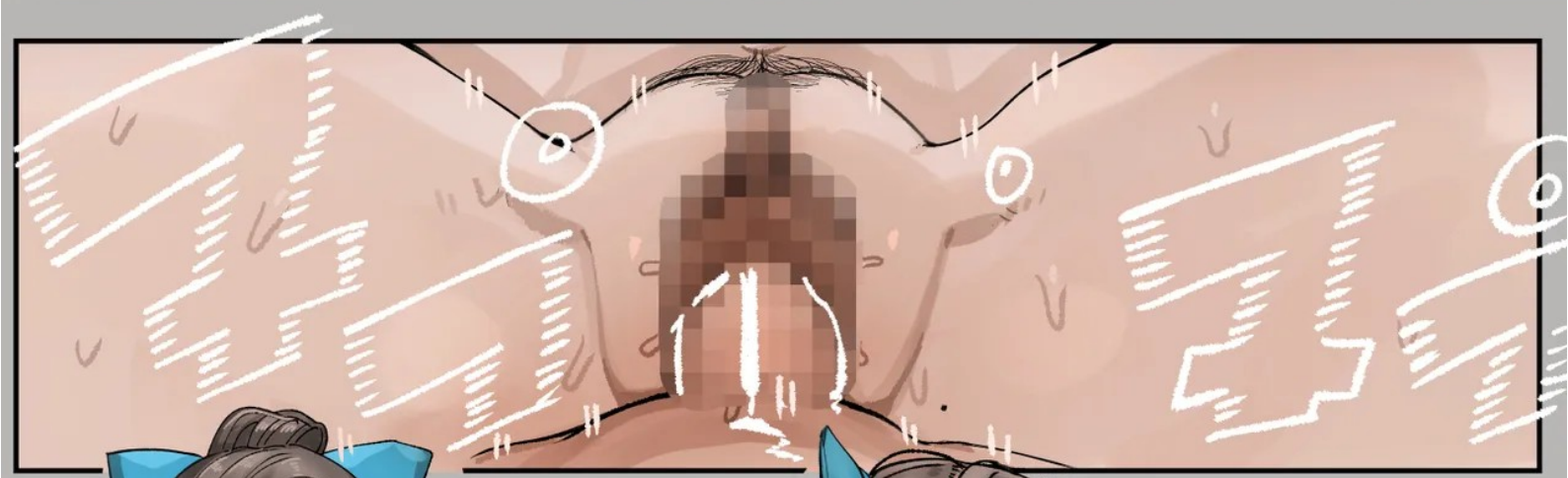
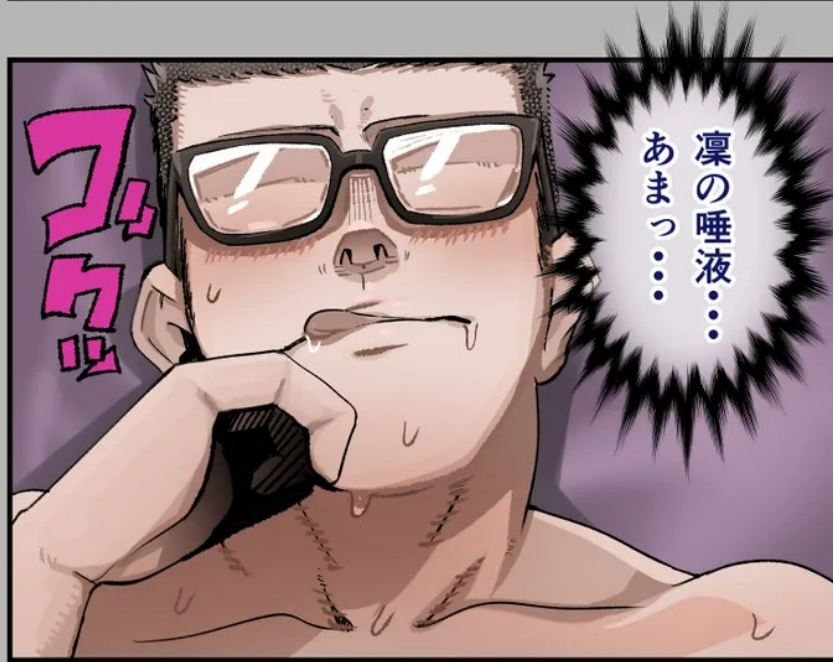


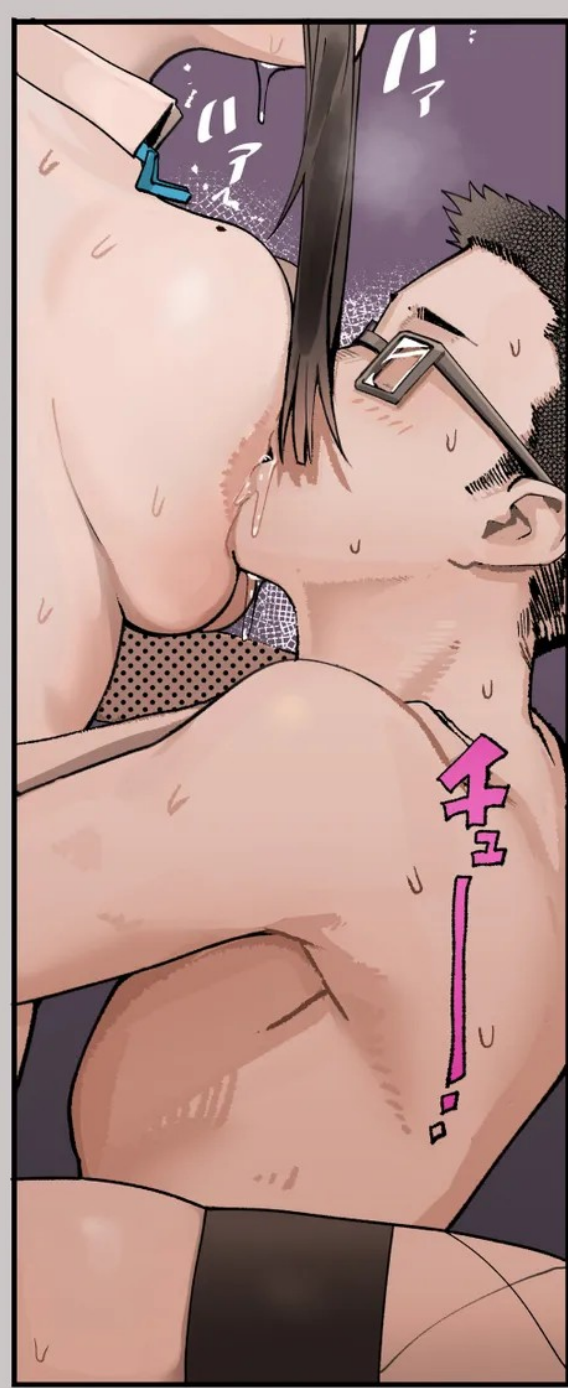
ほら
はよこっち
来い!

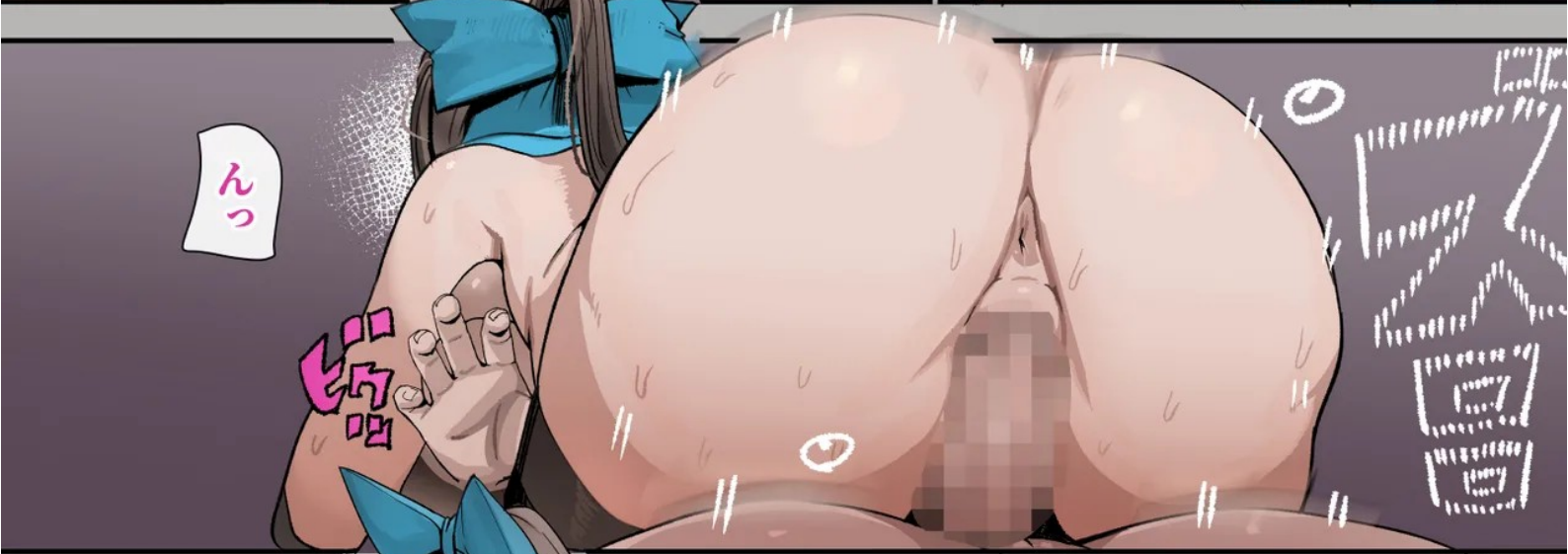


えっ













ばっ
馬鹿ッ

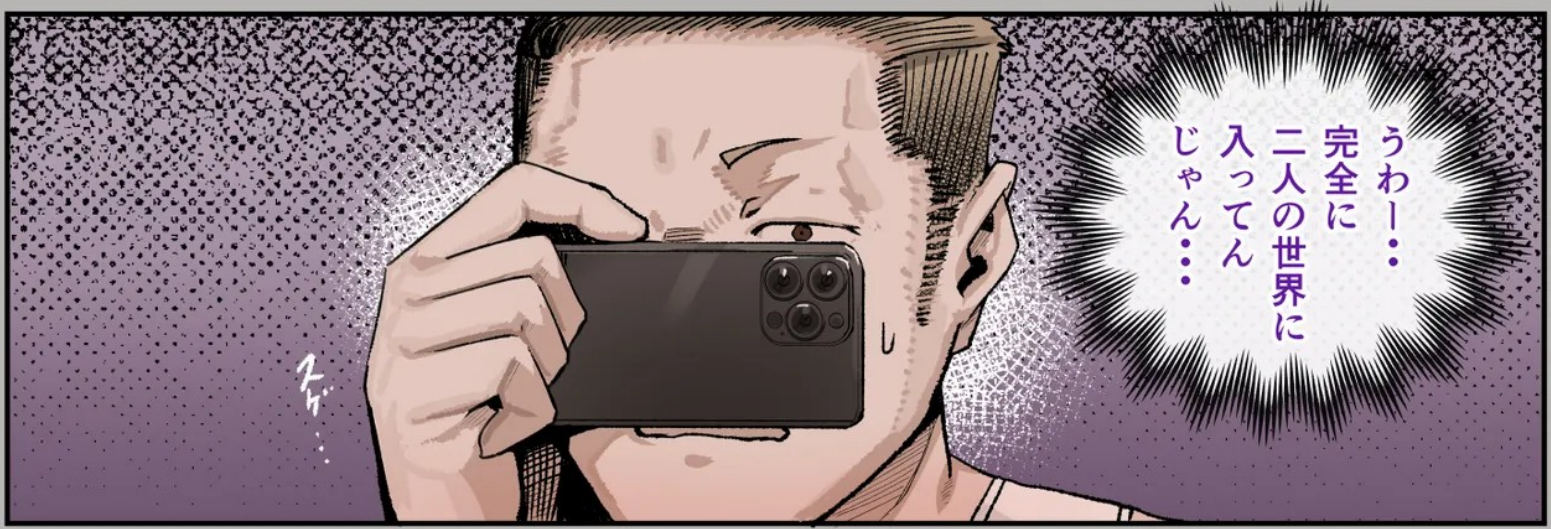
て...
照れて
ねーよ



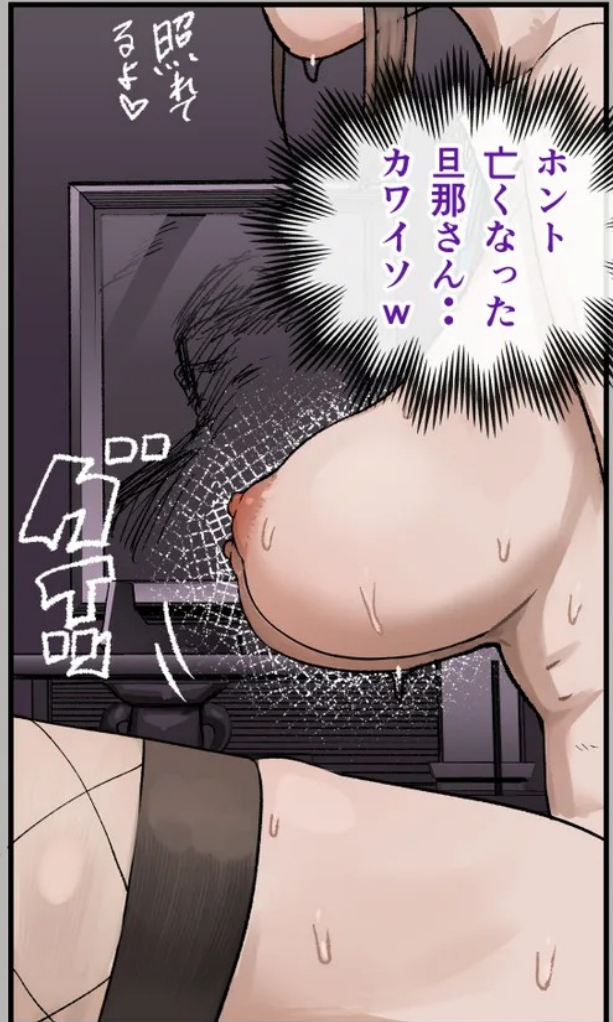
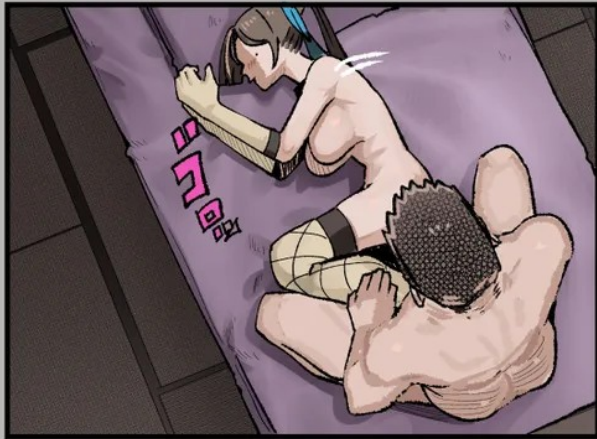
フフ:
照れてる?

フッ

フッ



うわー!
完全に
二人の世界に
入ってん
じゃん...



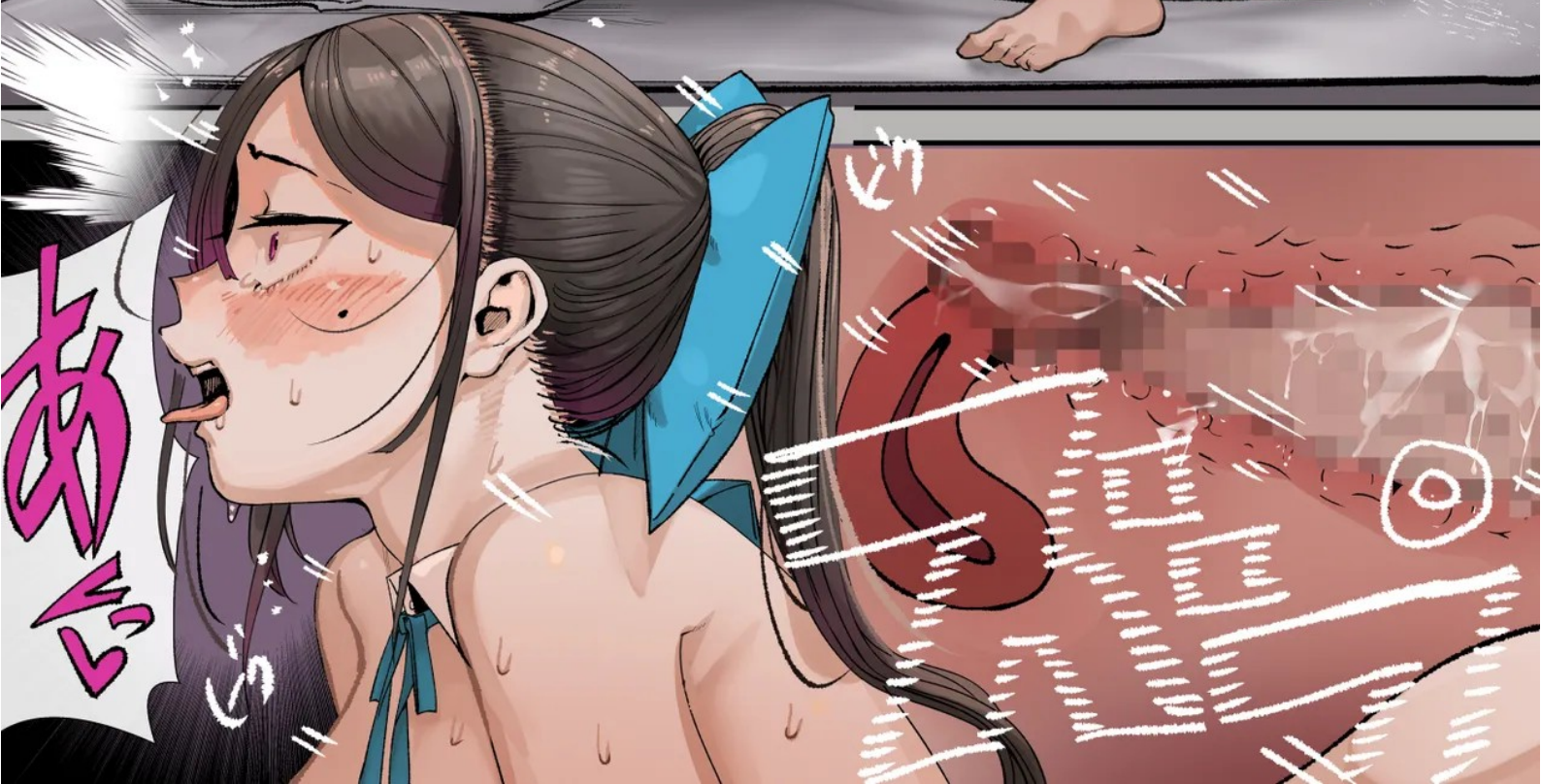
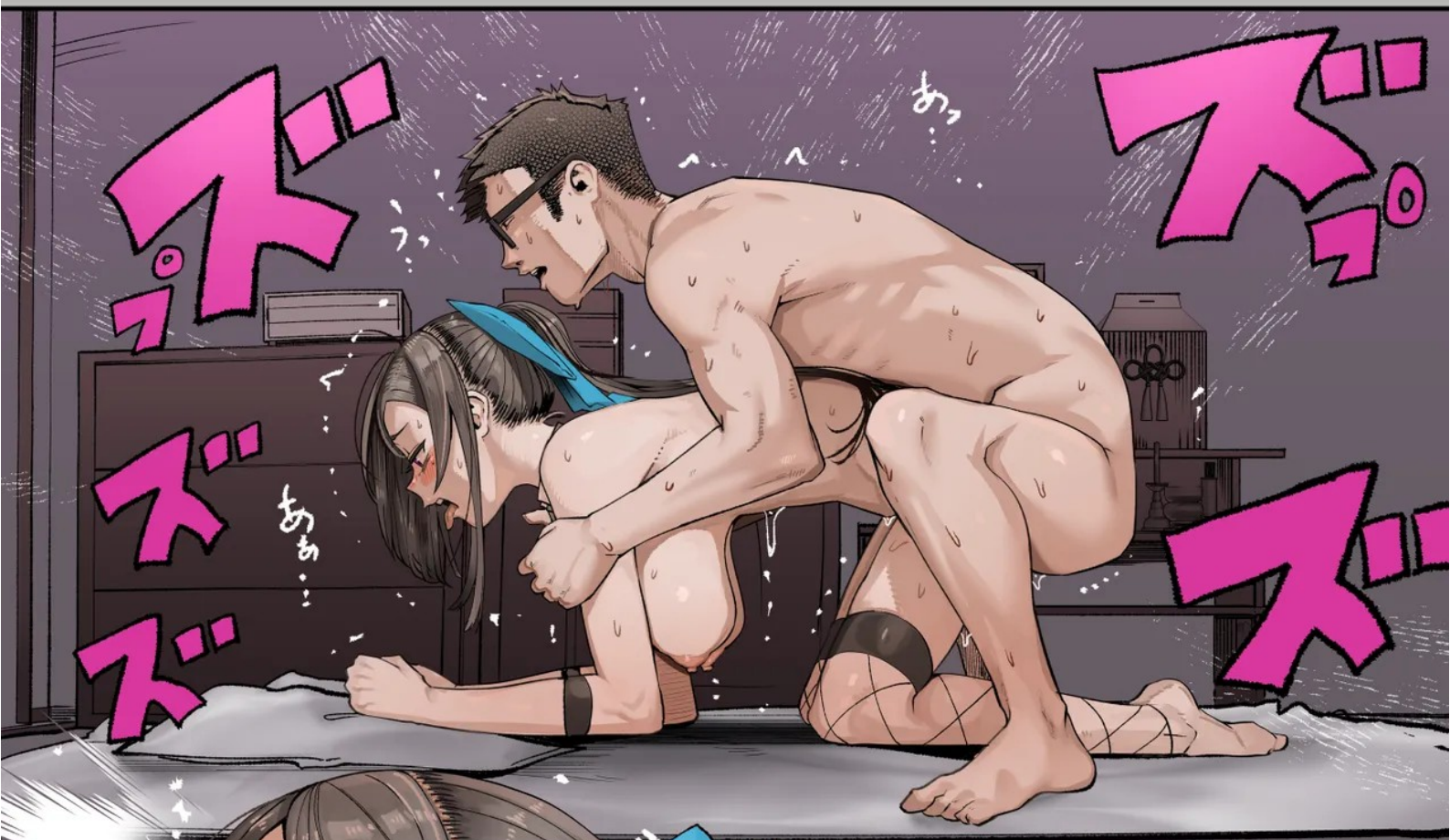
照れてるよ♡

ホント
亡くなった
旦那さん:
カワイソw

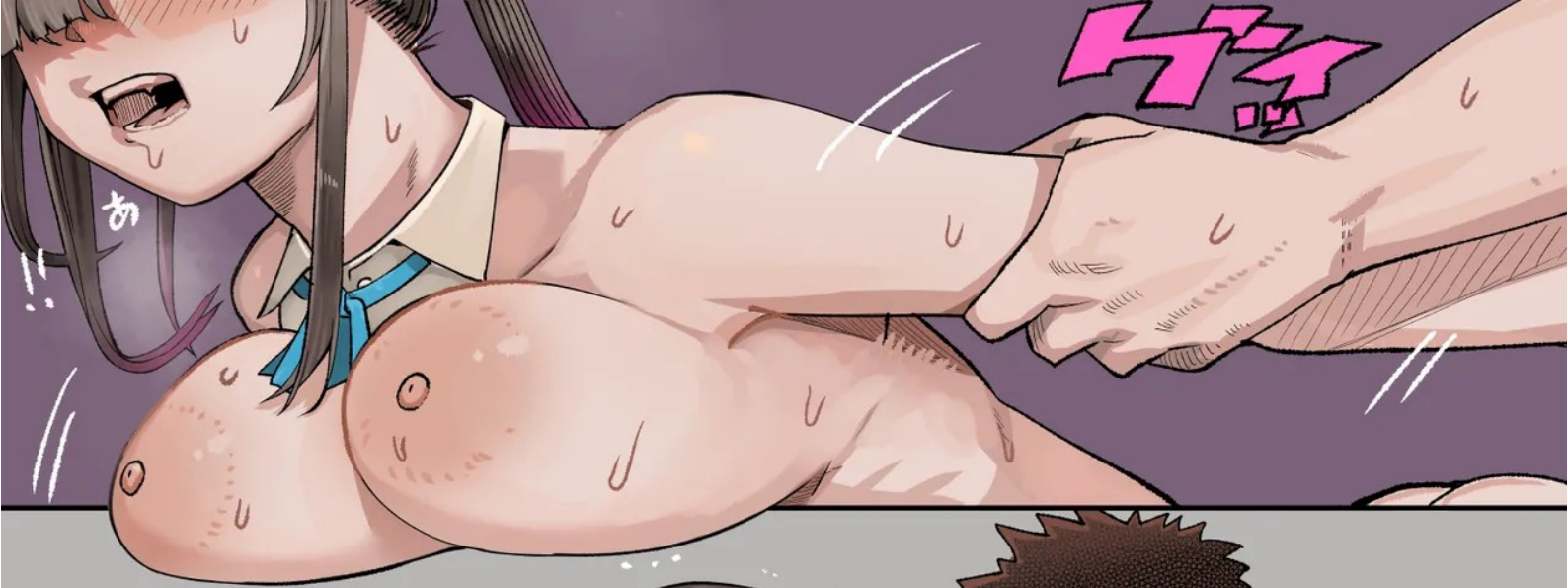
スッ



凍
ケツ:
こっちに
向けるっ







んぎゅんぎゅん

んぎゅん

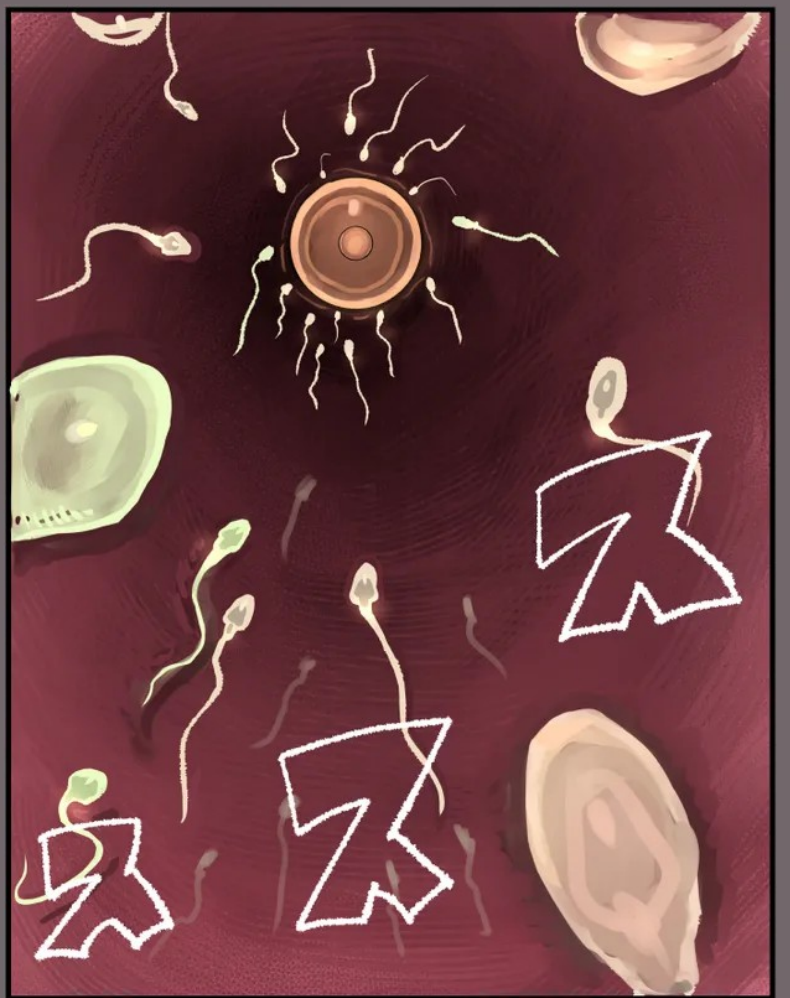
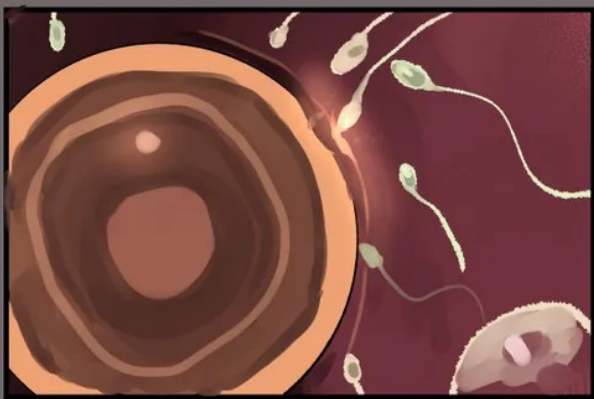
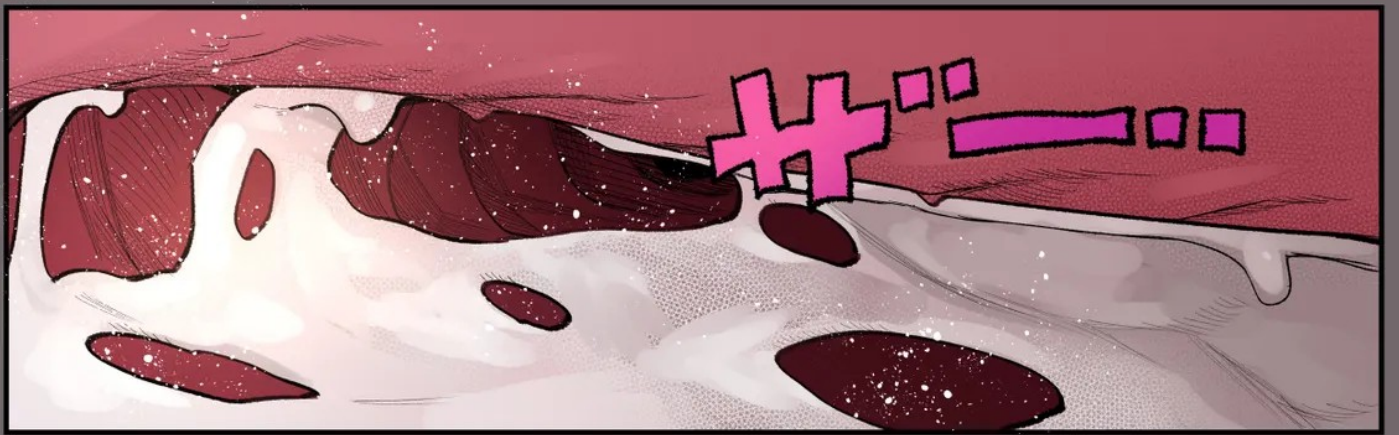
んぎゅん

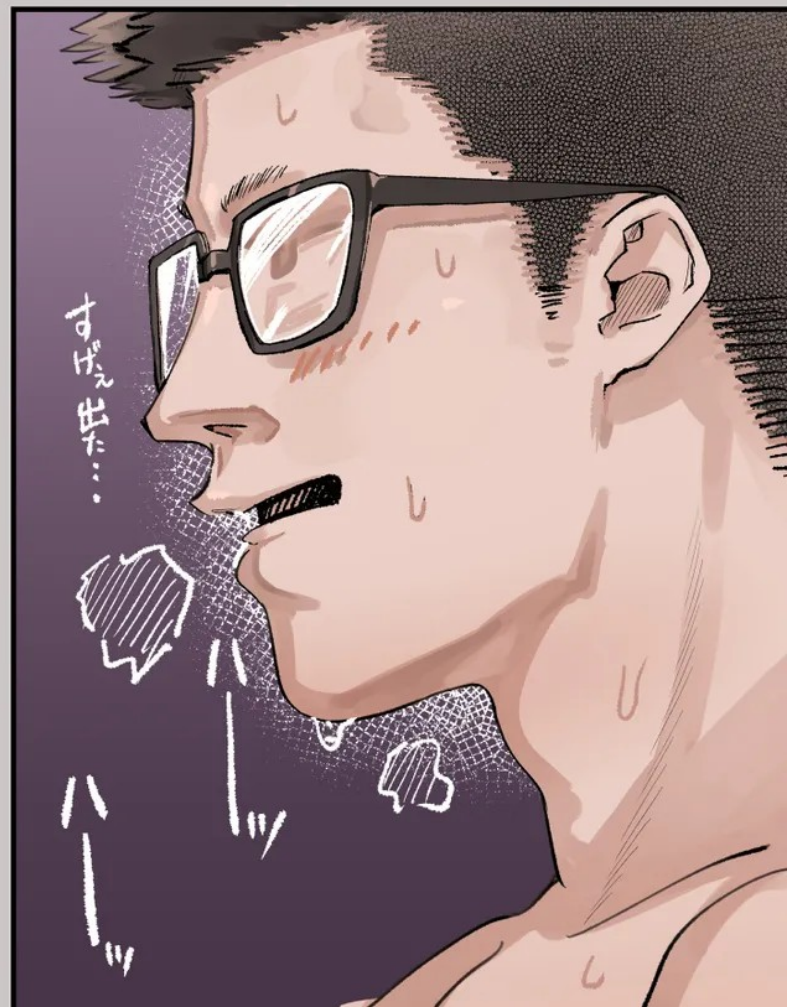
んぎゅん

んぎゅん

んぎゅん









あつ…

わたしね…

妊娠…
しちゃった



ハっ!?

判定



終了

NT
R
WARNING

君の膜を破るのは
ボクだと思ってた...

再生編



コミック
61
ページ
オールフルカラー

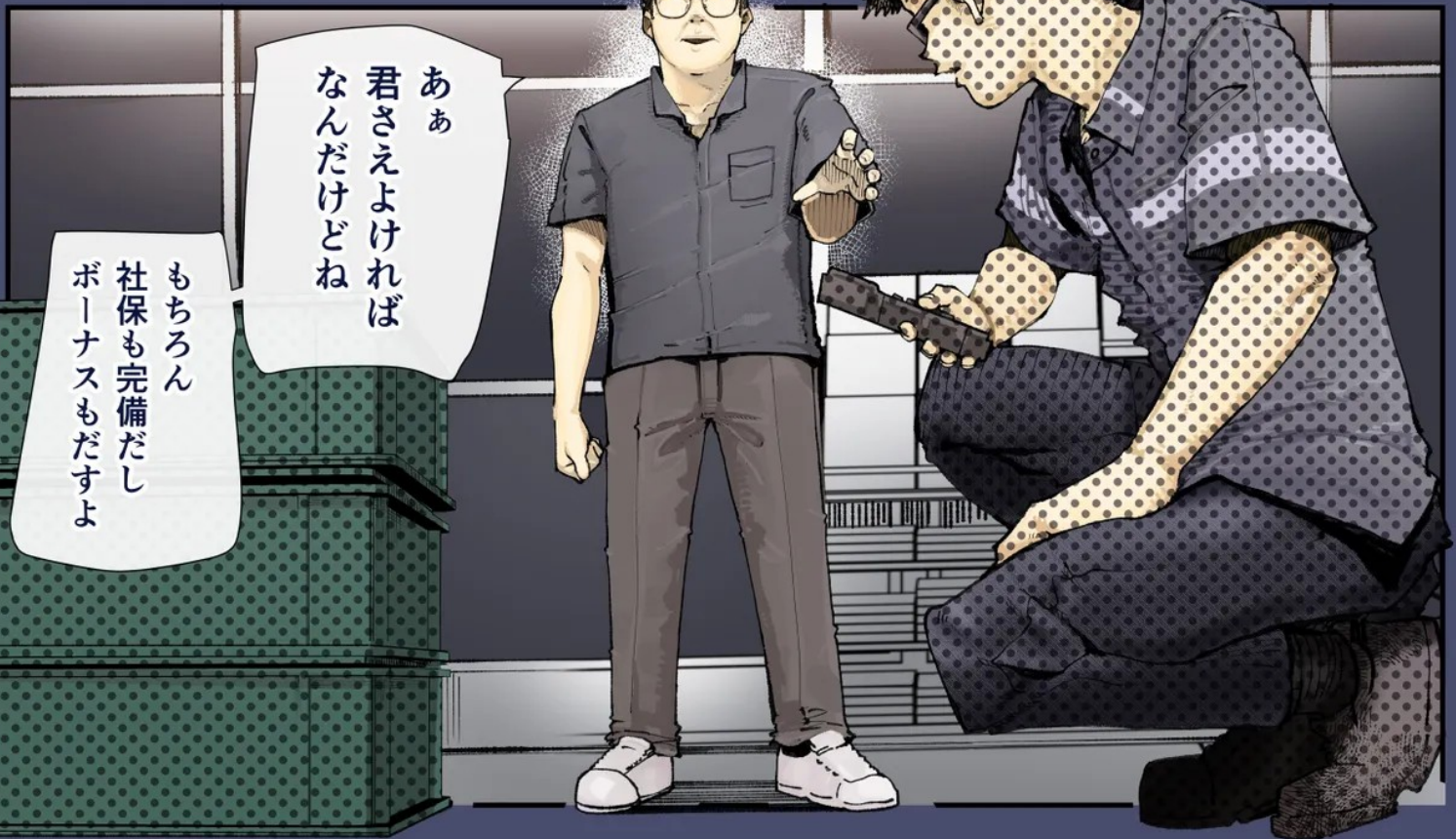


君の膜を破るのは
ボクだと思ってた。

3



えっ！
自分を正社員に
ですか？



ああ
君さえよければ
なんだけどね

もちろん
社保も完備だし
ボーナスもだすよ



あ：
ありがとうございます
ございます



僕はね
人間誰にでも
やり直せる
チャンスが
与えられるべき
だと思っんだ



キヨロ

凜!?

見てください
店長っ!

キヨロ

あの落ち着き
のない挙動
それに持ち込みの
ビニール袋

あの袋に
おにぎり
入れて
ましたよ

確実に
万引き
してます

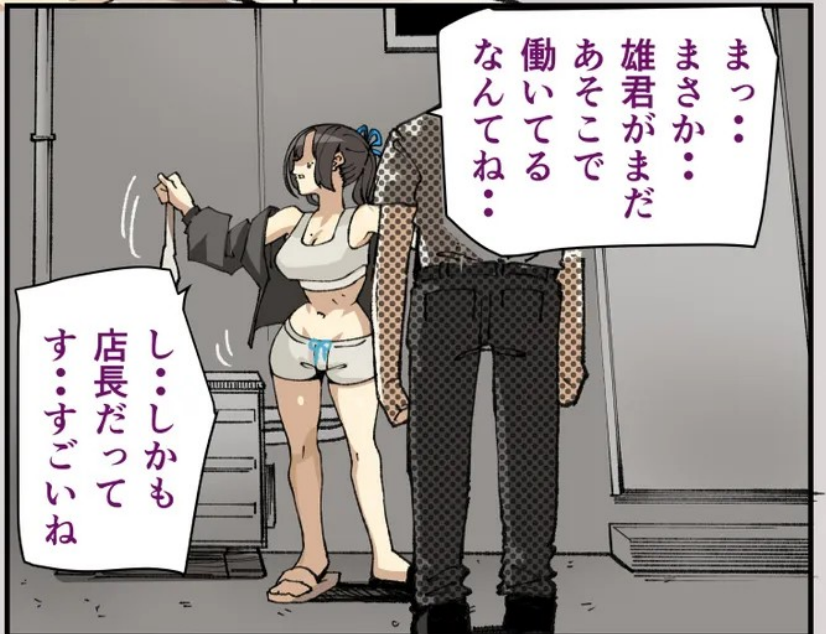
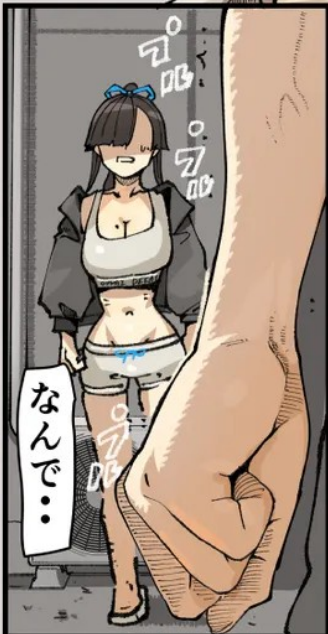
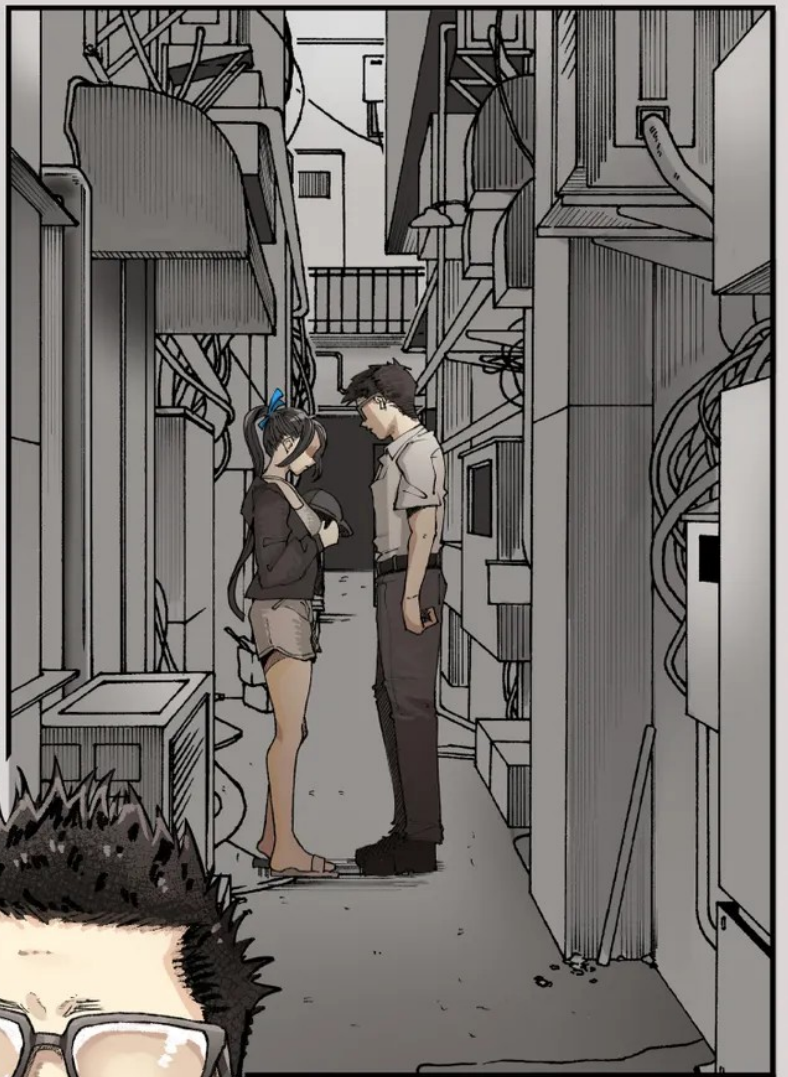
あの人が
店を出たら
俺が捕まえて
きます

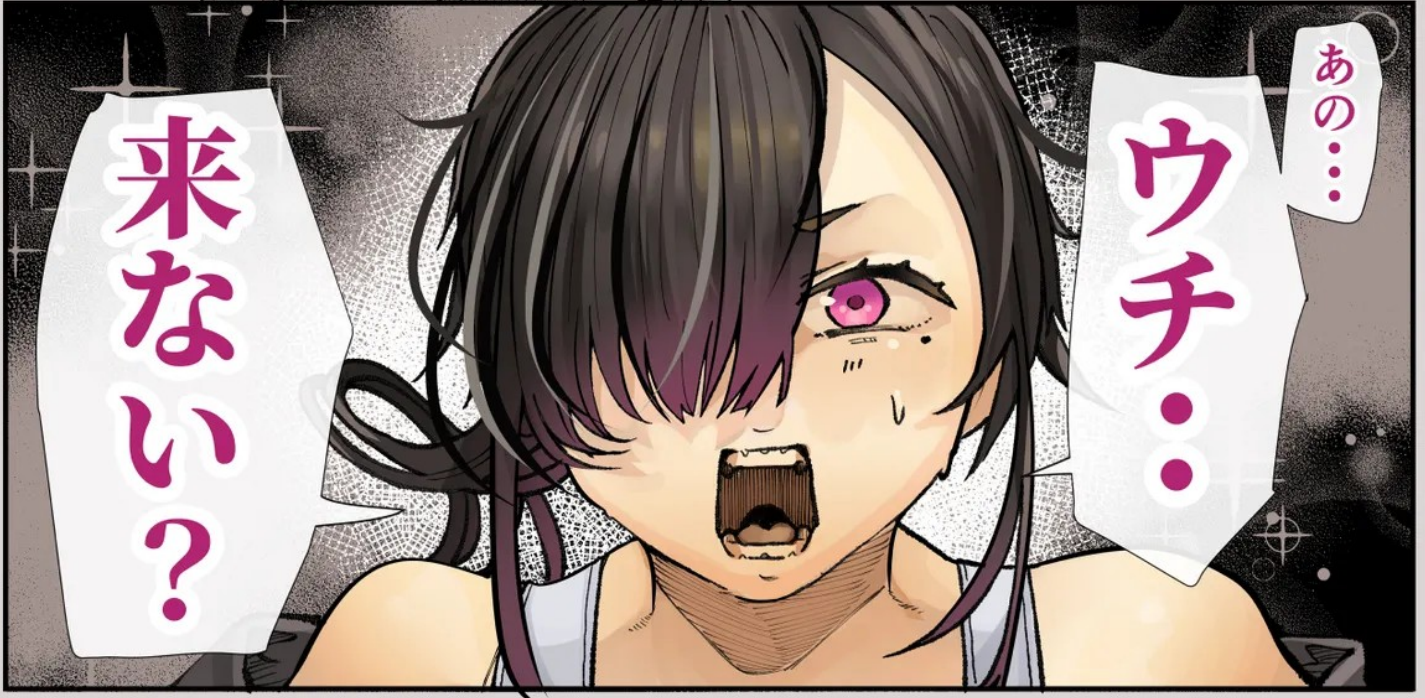
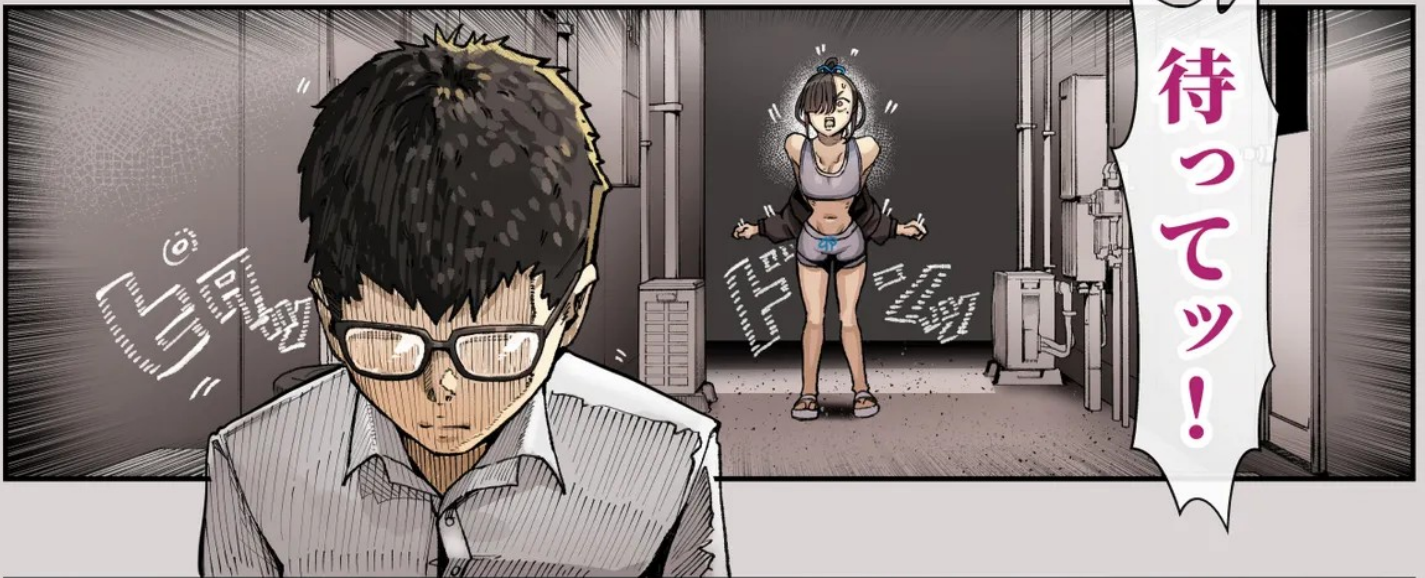
君は
レジを
頼む!

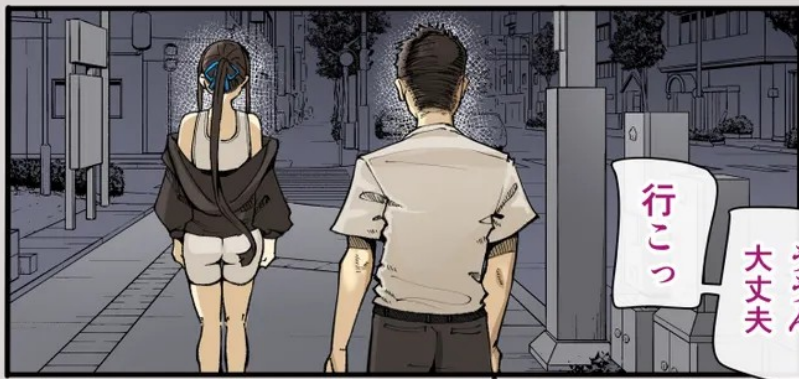
あの人は
俺が捕ま
えるから

あっ
ちよ・待って

キヨロ



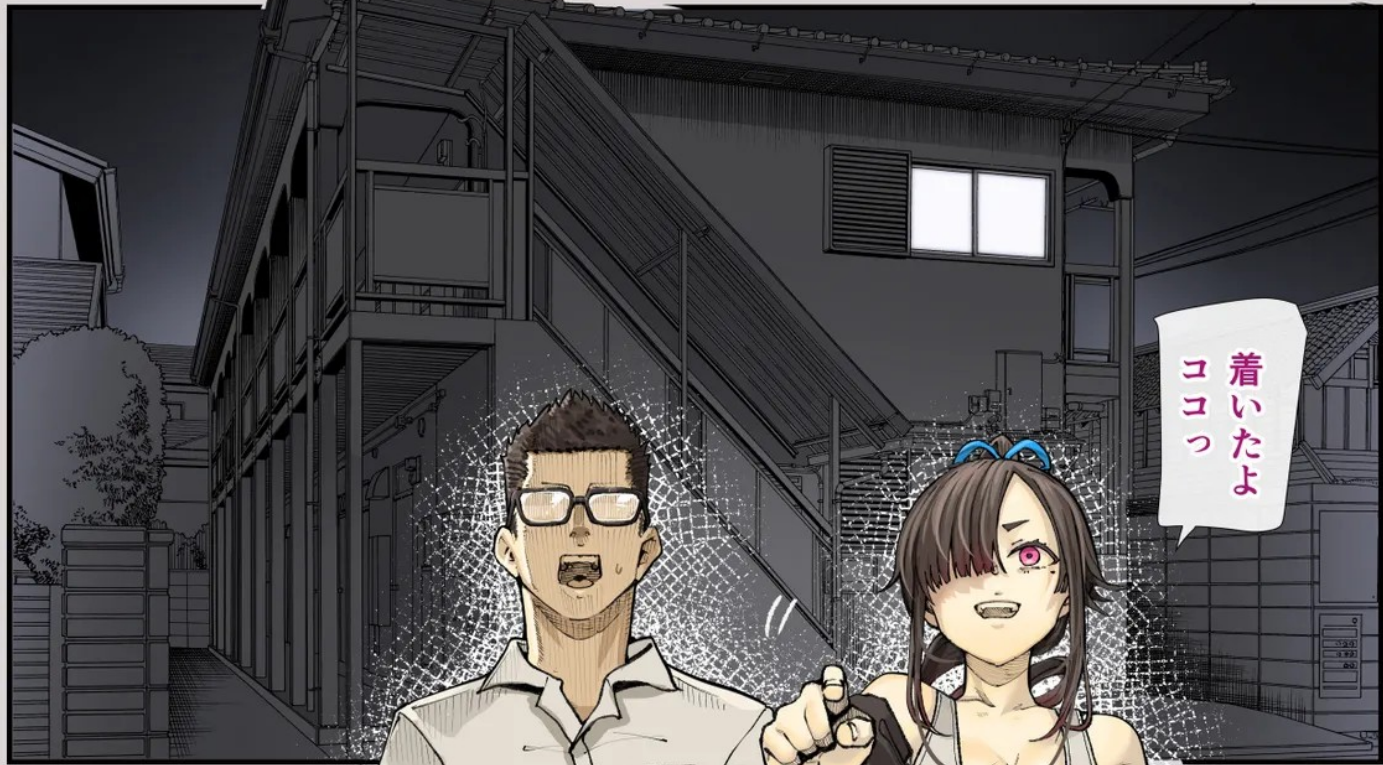




すまん
待ったか？



行こっ
ううん
大丈夫



着いたよ
ココっ



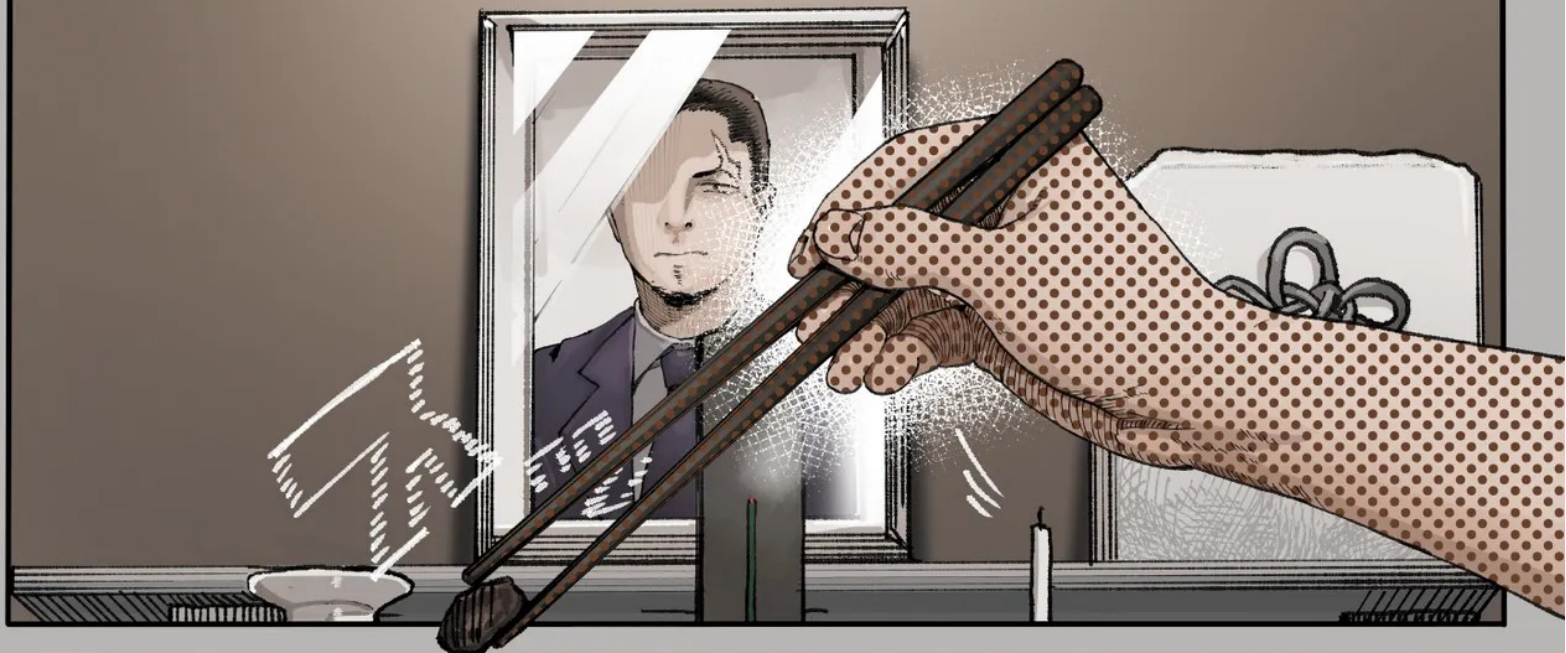
お：
お邪魔します

ただいまあ
帰ったよお



さあ
あがって…





そーだねえ
久しぶりに
からあげ
食べたね

ママー！
お肉
おいしいね

ギャ

ギャ

ウイ

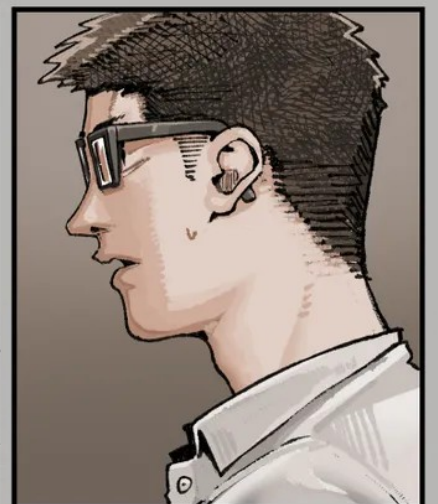


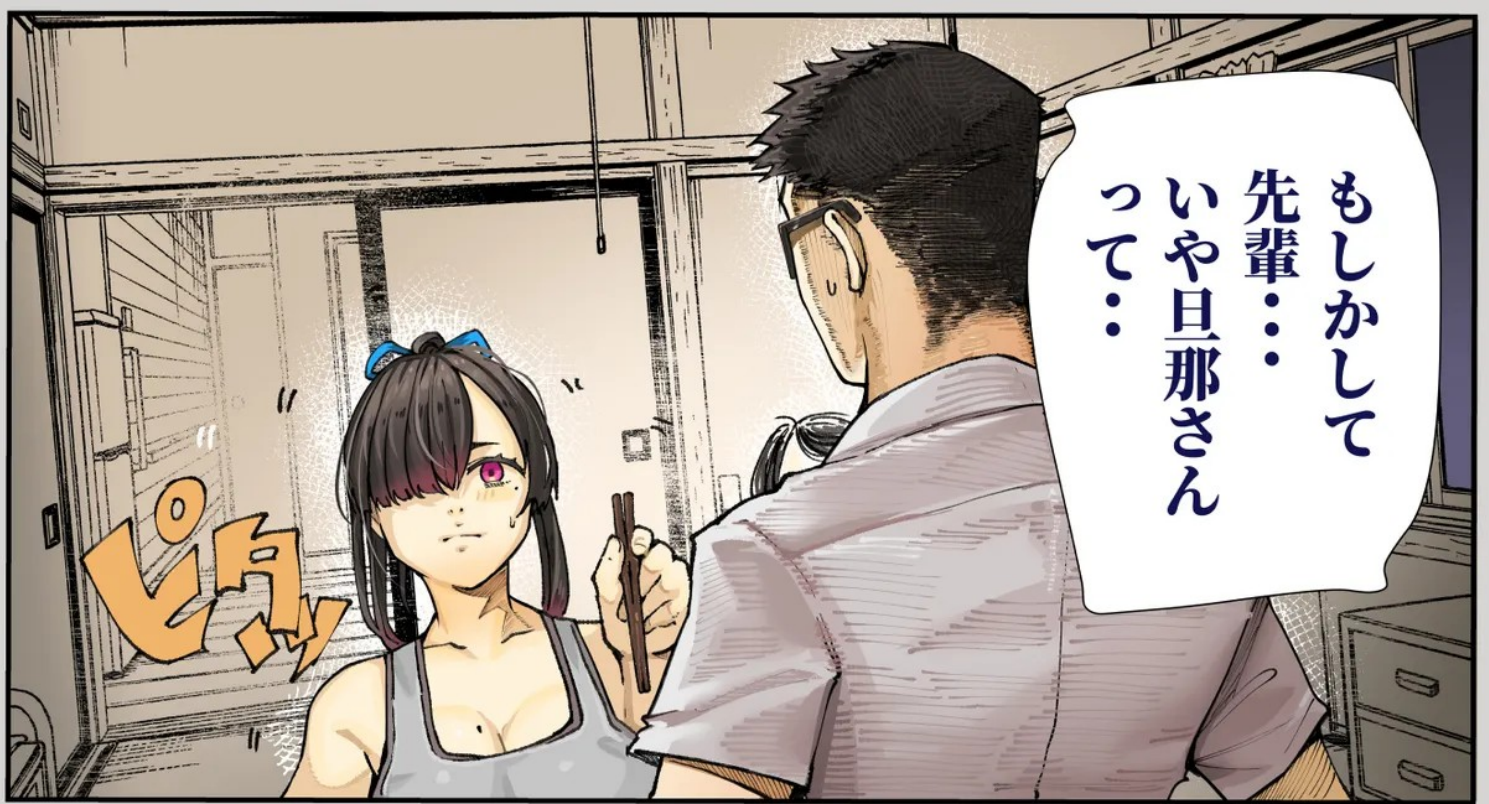
あの：
ひとつ
聞いて
もいい
か？



いいの：
これ以上
迷惑かけら
れないよ：

スマン
せっかくなら
もっといいもの
持ってくれば：

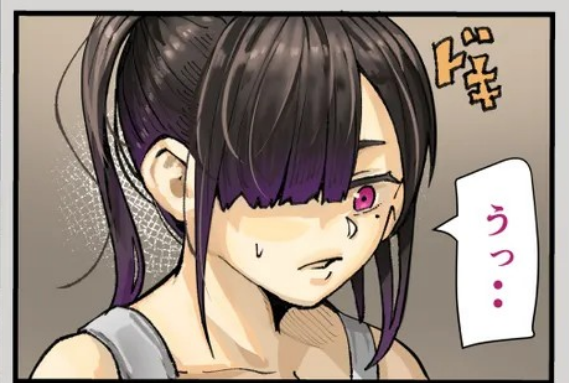
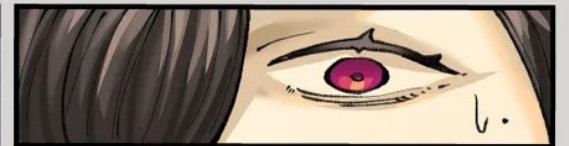




もしかして
先輩……
いや旦那さん
って……



うん……
急性硬膜化
血腫でね……
何でだったのかな……？
前日は元気だったのに



うっ……



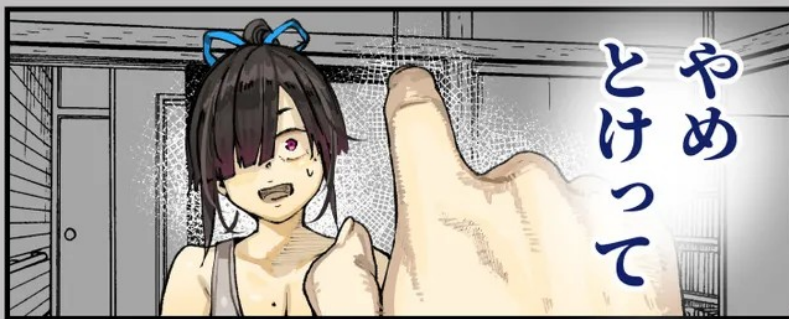
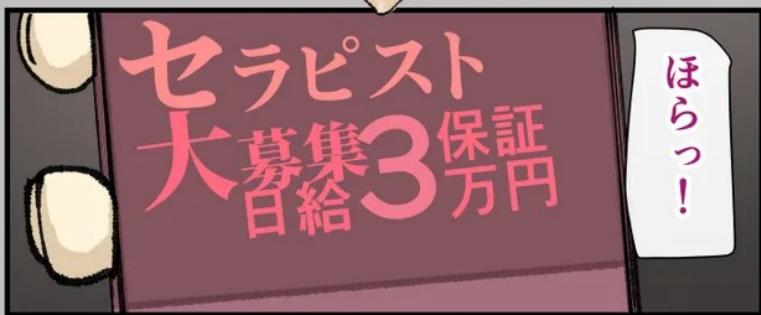
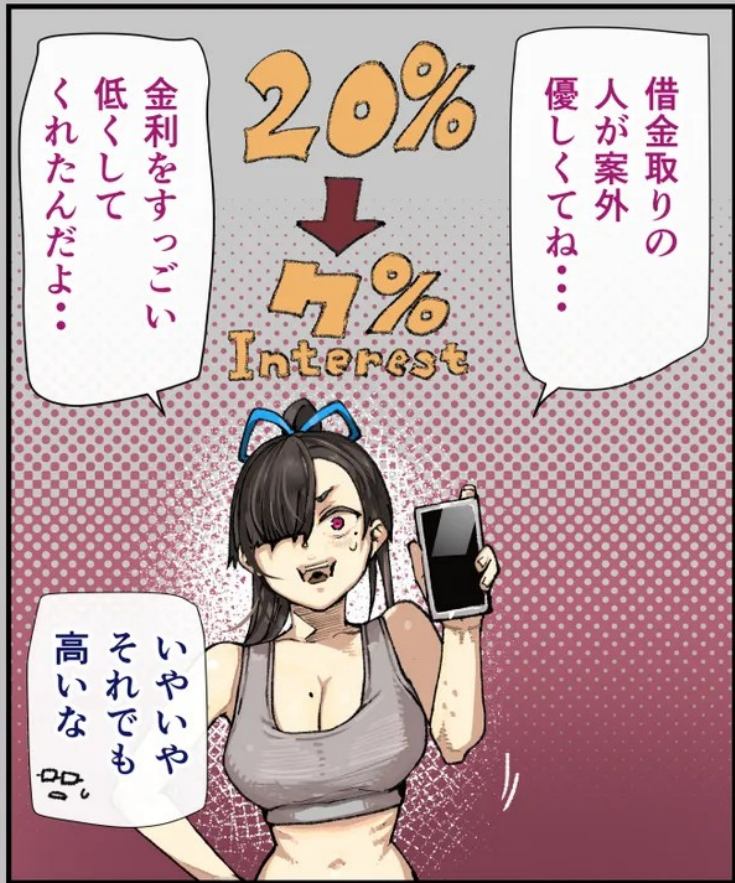
あっ……
でもね……



先輩……
会社経営してたん
だけど
借金が3億円ほど
あったらしく
てね……
亡くなって
からは私が
毎月
その返済
しなく
ちゃで……
情けないけど……まだ
納骨もできてないの



……





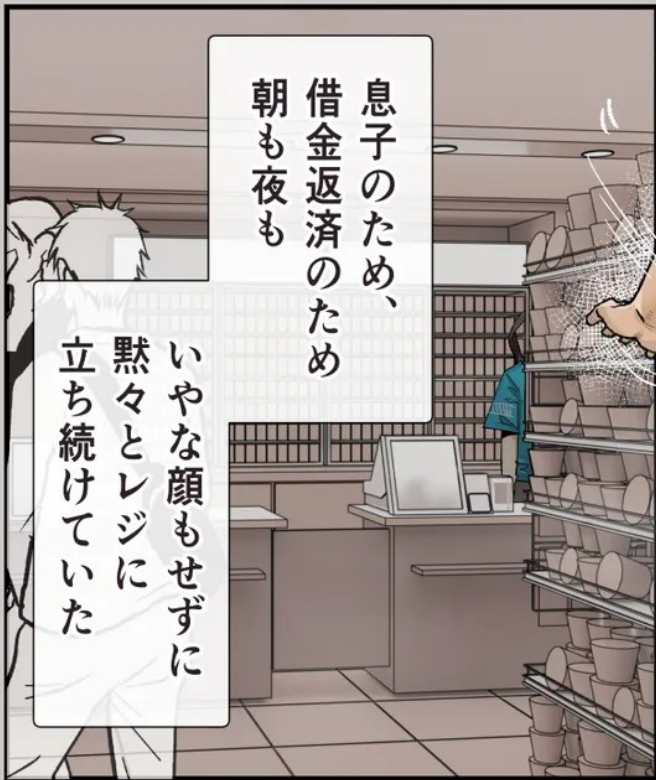


ありがとうございます
ございましたー

うちの店で
働くことになった
凜は……



いらっしやいませッ!!



息子のため、
借金返済のため
朝も夜も

いやな顔もせずに
黙々とレジに
立ち続けていた



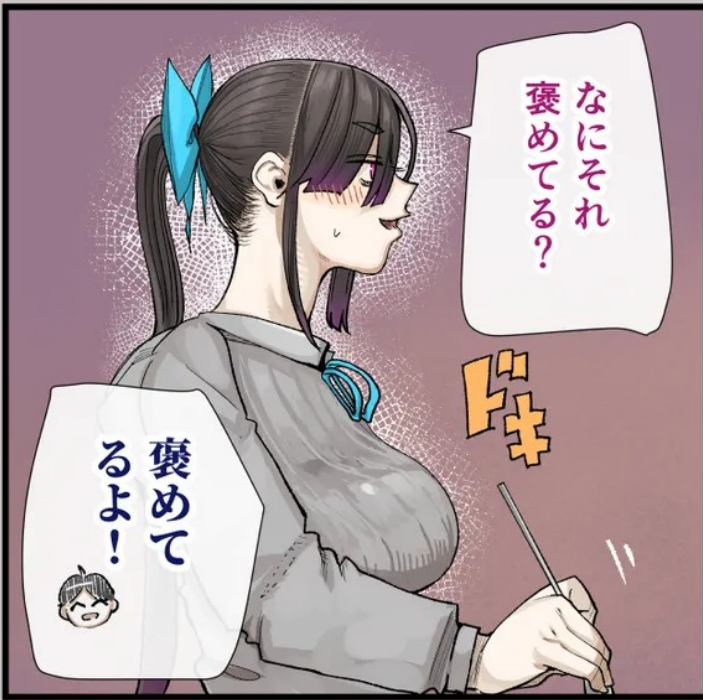
借金で首が
回らなくなった
昔の自分と重なる凜を――

おれはどうしても
放っておけなかった
やれることは全部やる

そう、
心の底から誓った

今日はもう
あがってもらって
いいよっ



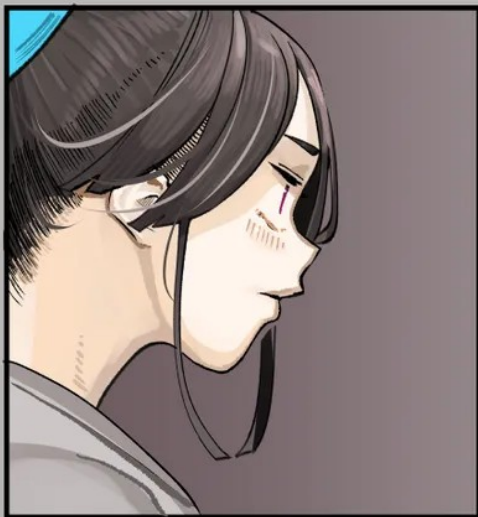




…うん！
ぼくね…
おにいちゃん
のことすき！

だってね
だってね

お兄ちゃん
のこと…
好き…？



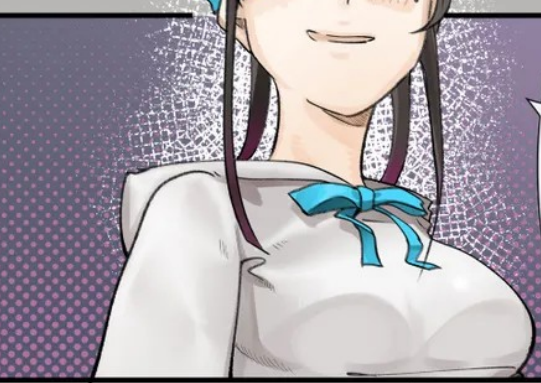
おかあさん
のことも…
いじめ
ないから

ぼくに
やさしいし
ぶったり
しないし…

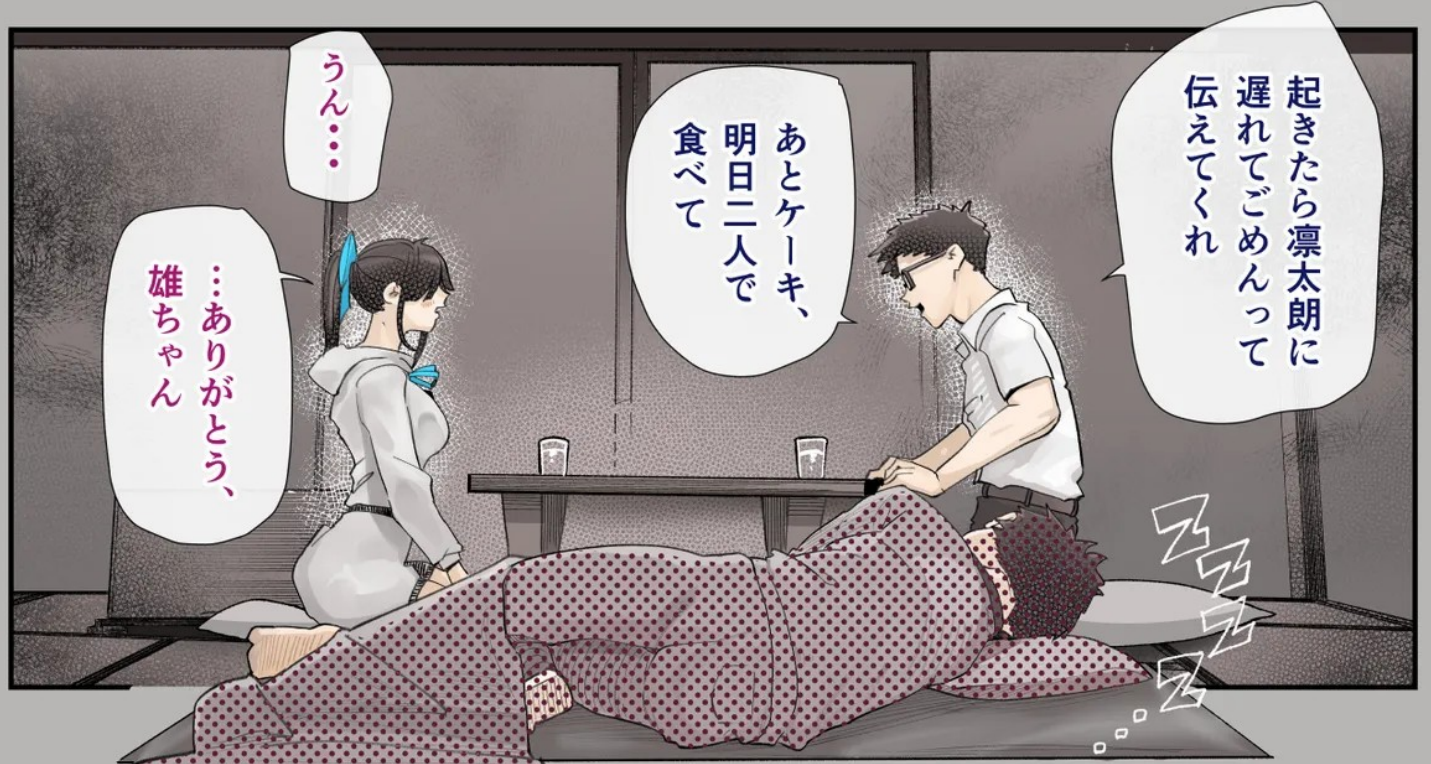




かわいい寝顔だな...



うん...



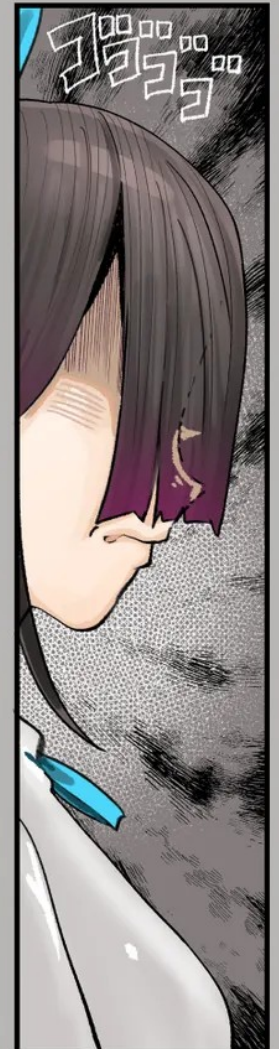
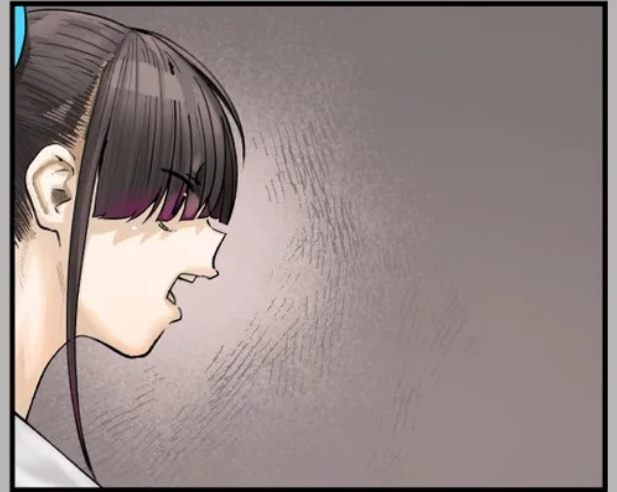
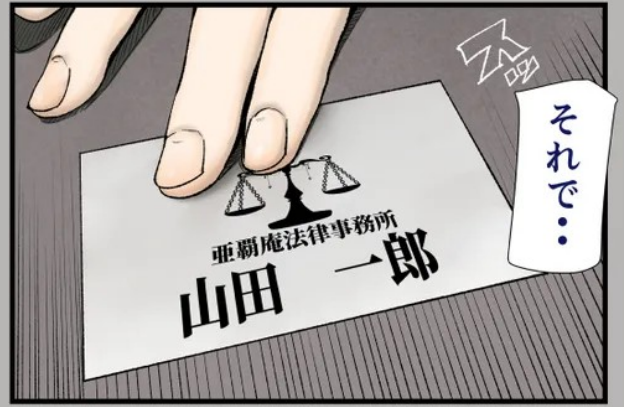
起きたら凜太郎に遅れてごめんって伝えてくれ

あとケーキ、明日二人で食べて

うん...

...ありがとう、雄ちゃん







馬鹿だよな・私
借金返すことに
意地になってさ・

でもさ・
お金を返さないと
貸してくれた人も
困っちゃうと
思うんだよね・



それ考え
ちゃうと
なんか・



それに貸金のヤツ
堅気に見えないし、
関わらない
ほうがいいと思う



凜はさ・
昔から人が
良すぎるよな・

現実問題
金利分すら
返せてない
だろ？



ありがとう・
心配してくれて
でも……

もう少しだけ……
頑張らせて・

「返すあて」
ないことも
ないから

本当に
帰るの？



ああ：明日
早朝勤務
なんだ：
すまん：



そっか……

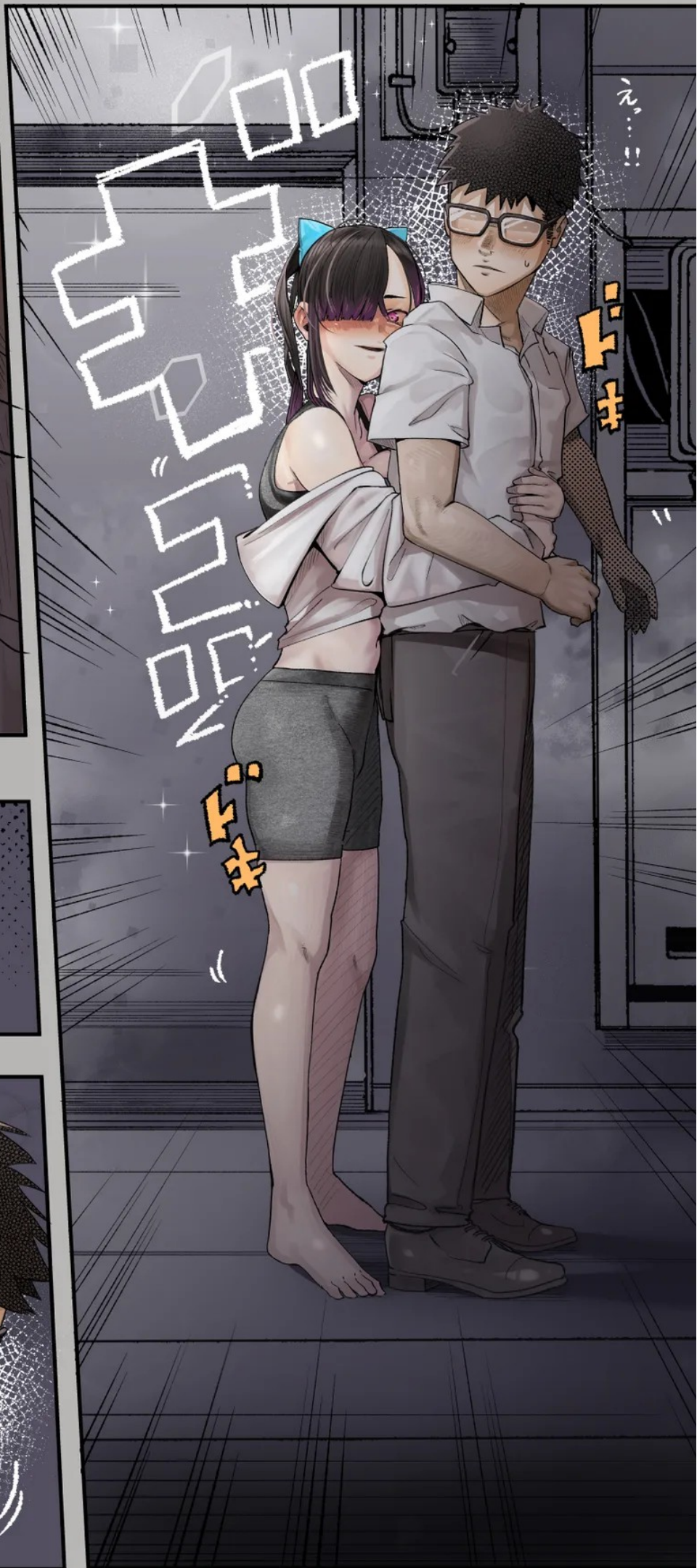
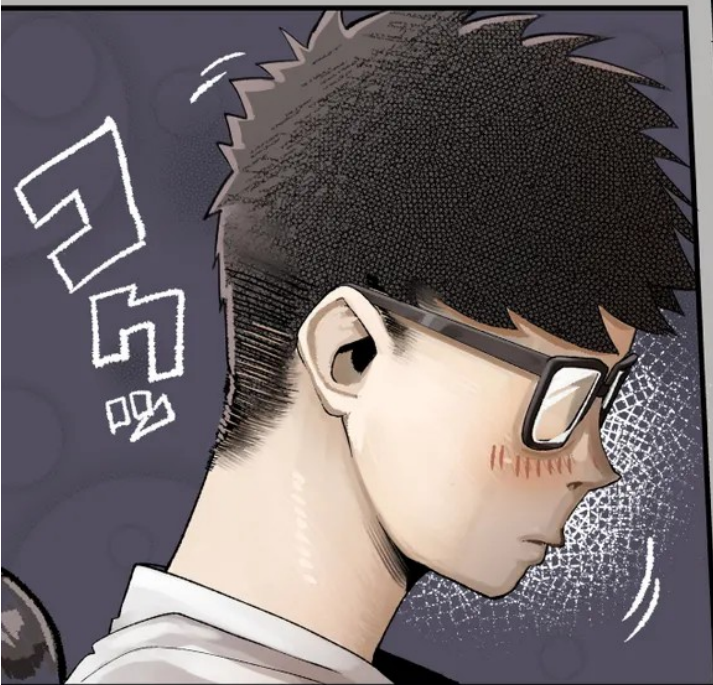


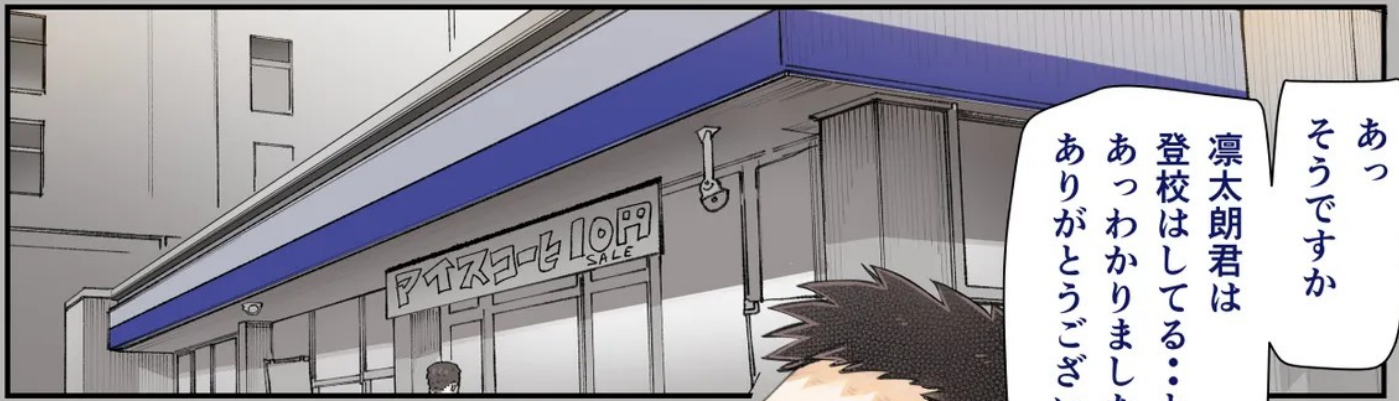
それじゃあ
凜太郎に
よろしくな



おやすみ





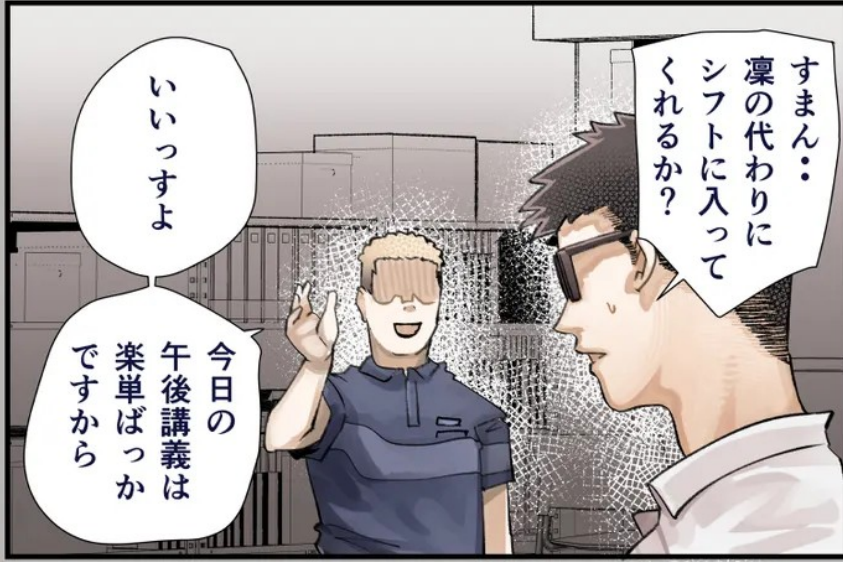


あっ
そうですか

凜太郎君は
登校はしてる…と
あっわかりました
ありがとうございます



新人さん
遅いっすね



すまん：
凜の代わりに
シフトに入って
くれるか？

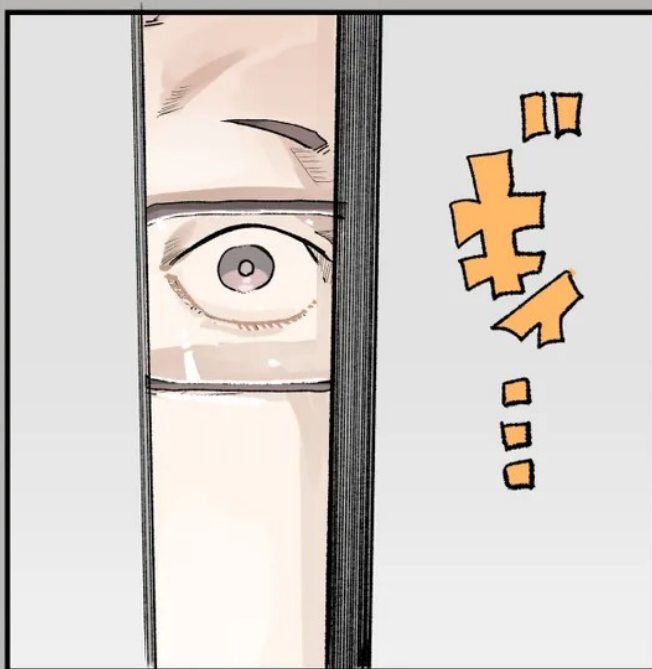
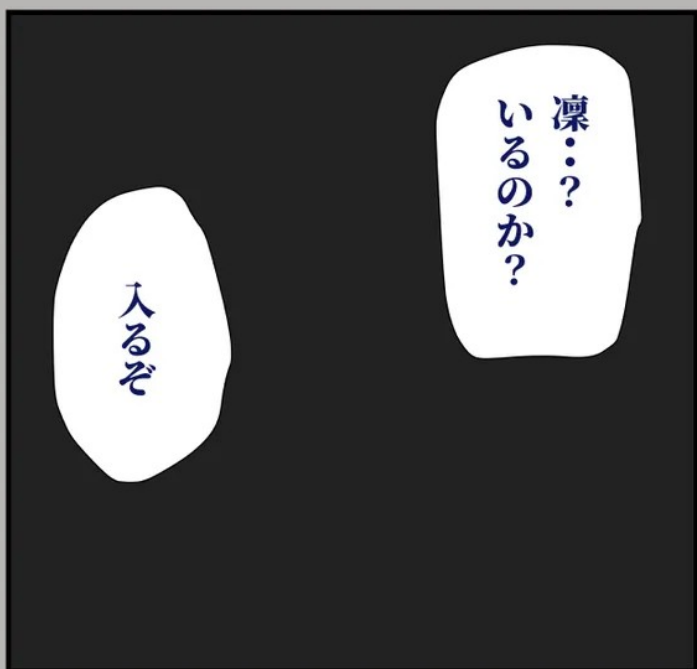
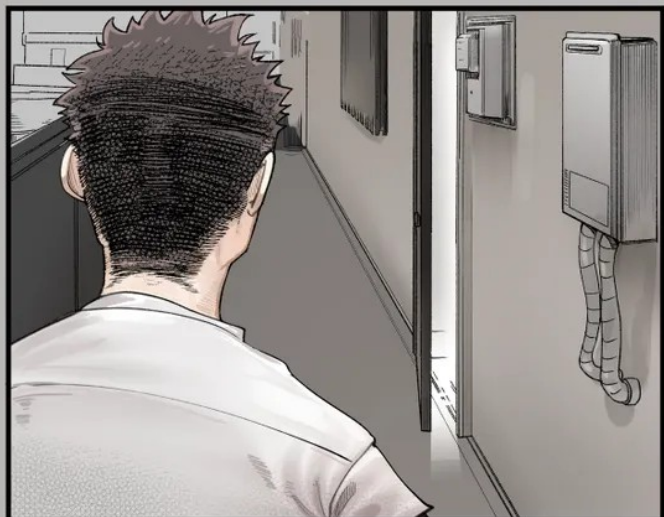
いいっすよ

今日の
午後講義は
楽単ばっか
ですから



ああ…
電話にもでないし
もしかして
なんかあったか？





はいっ
ポーズして

いいよ
次は膝立ち
してみてください

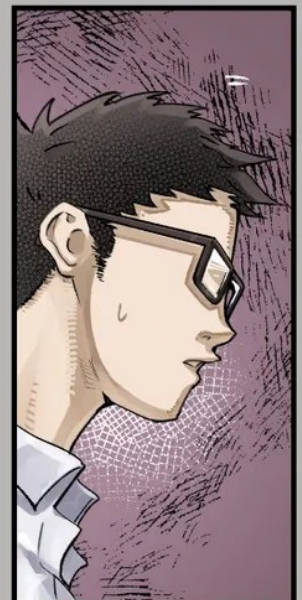
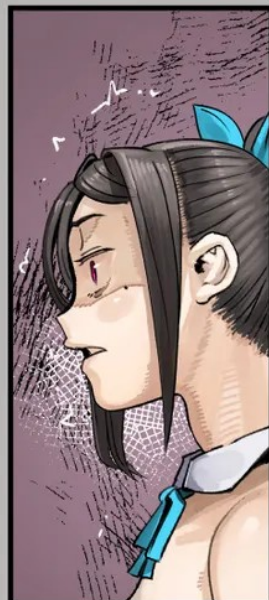
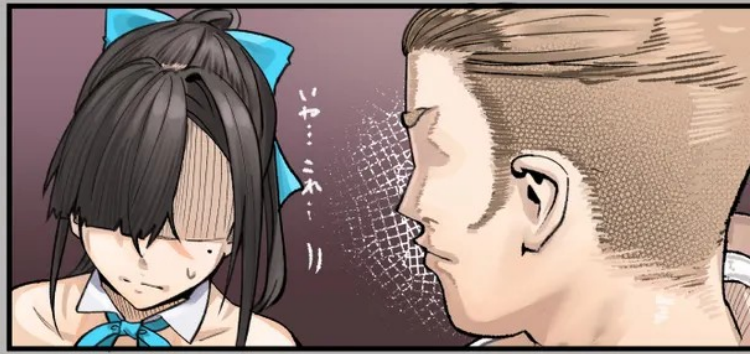
こ...
こうですか？

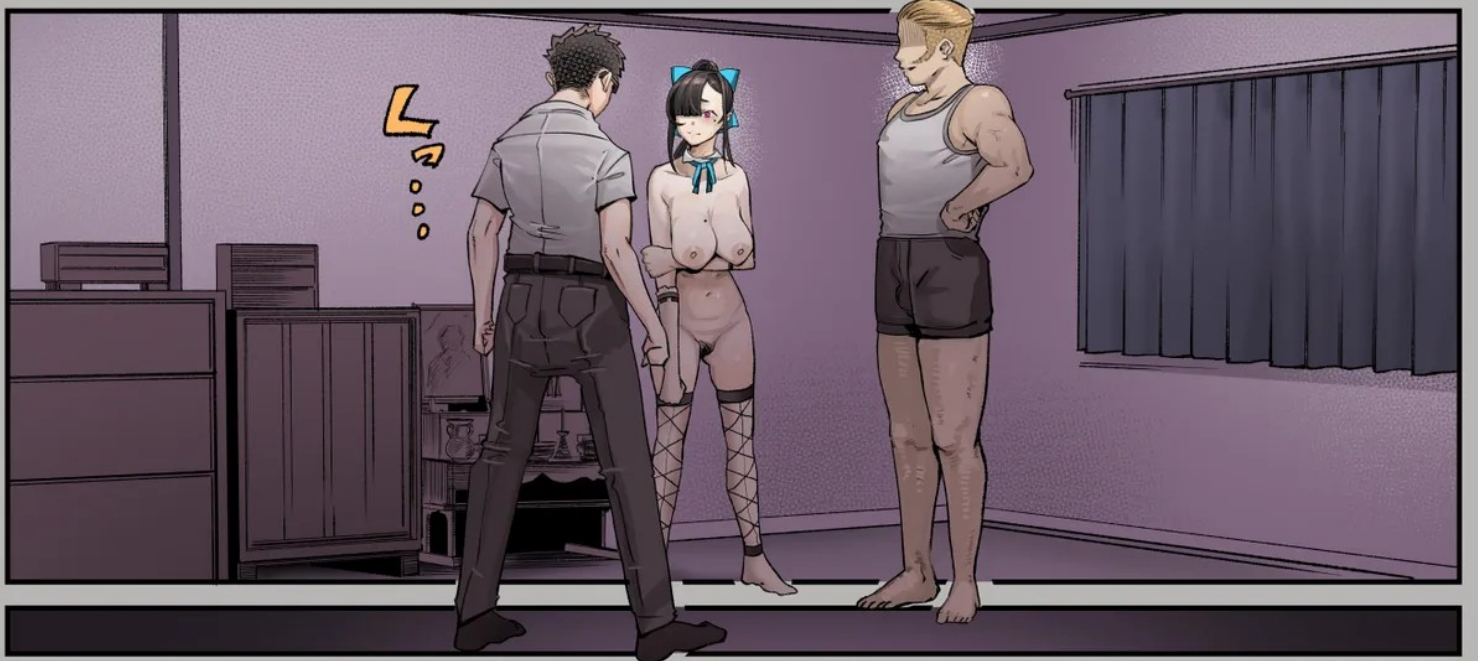
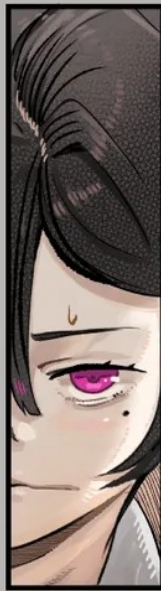
凜ッ

おま...

な：
何してんの？



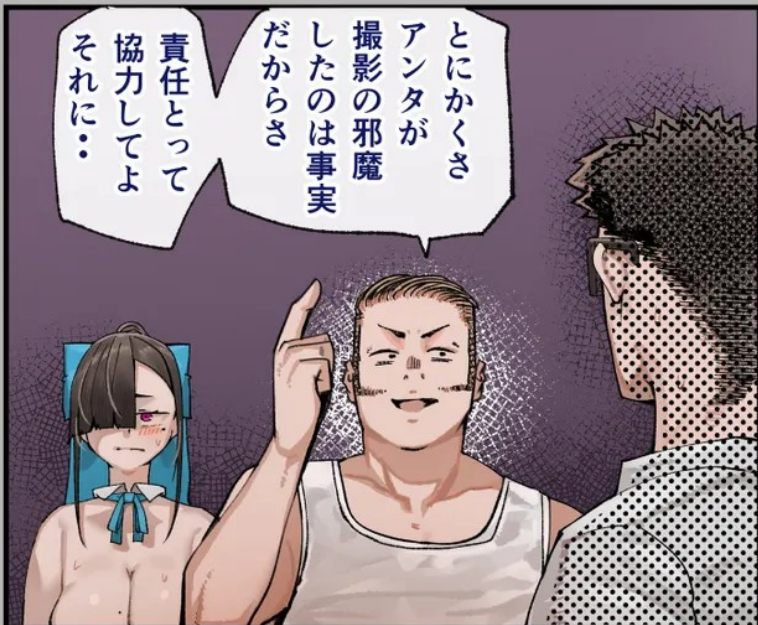






な…
なんだよ
その言い方
俺はお前
のこと：

まあ
まあ



とにかくさ
アンタが
撮影の邪魔
したのは事実
だからさ

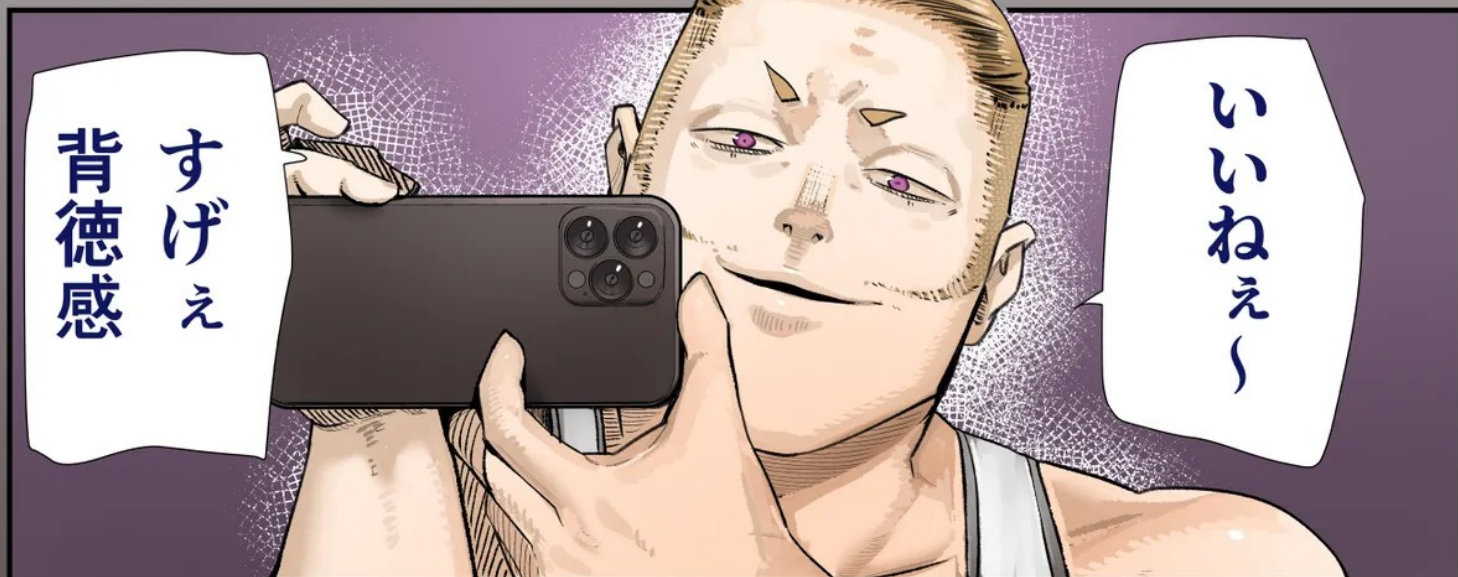
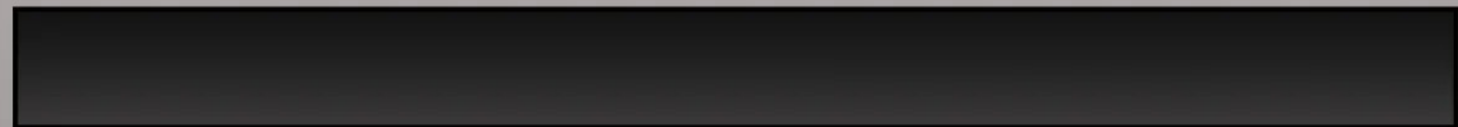
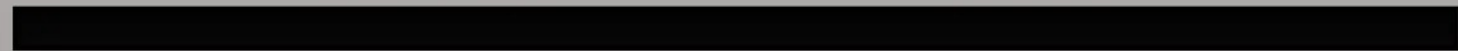
責任とって
協力してよ
それに：



やらなきや
困るのは
凜ちゃんだよ

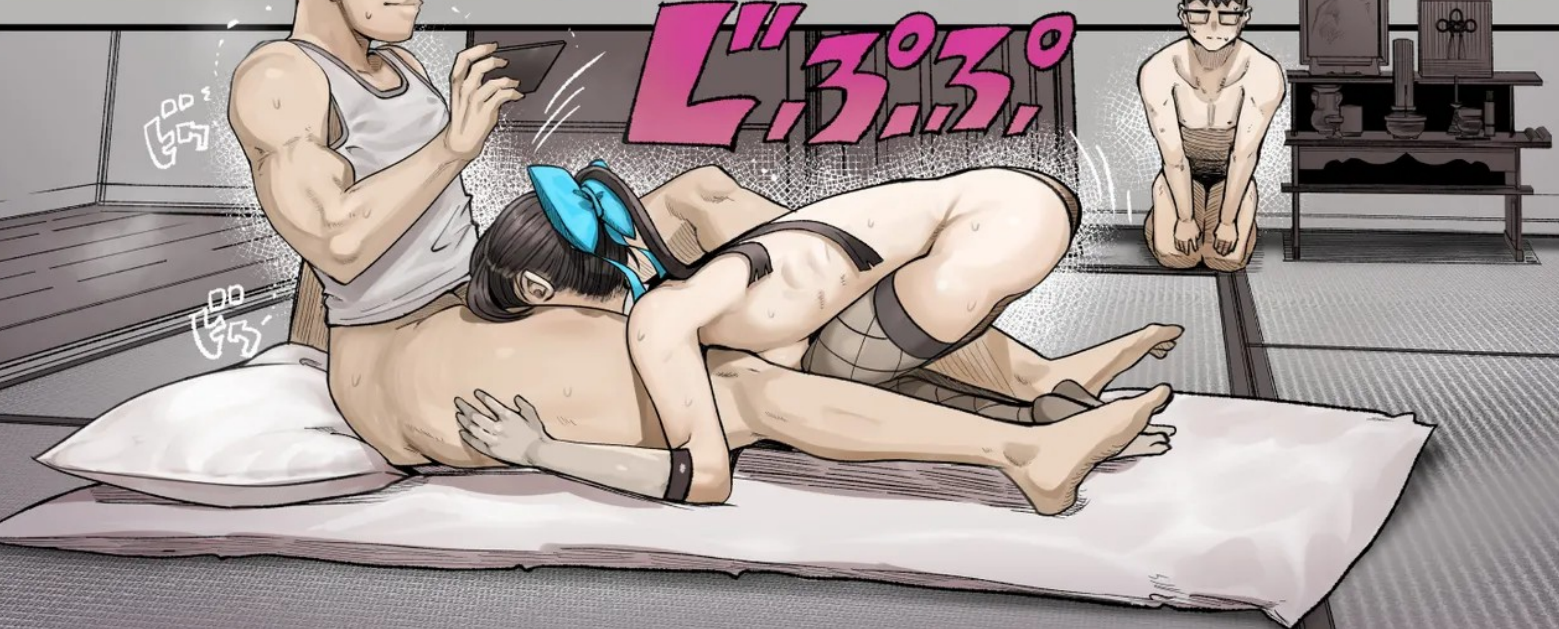
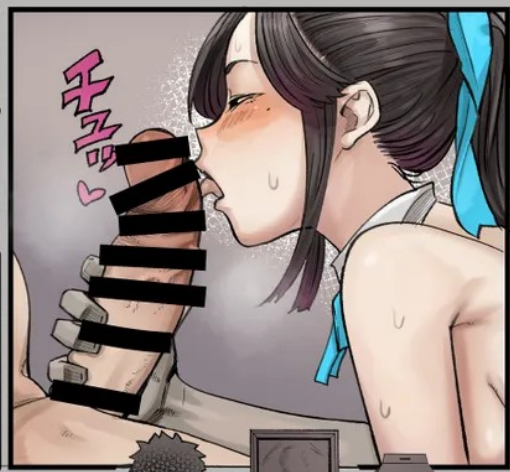
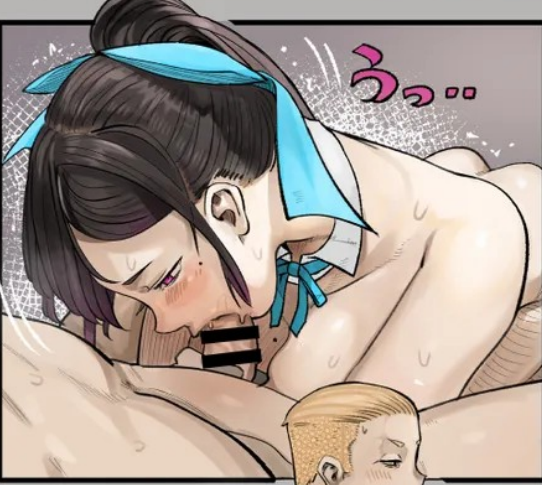


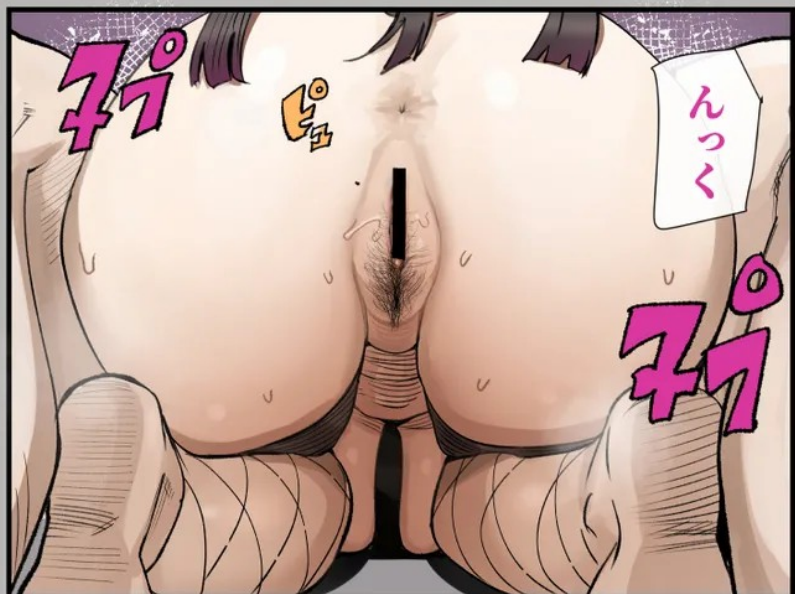
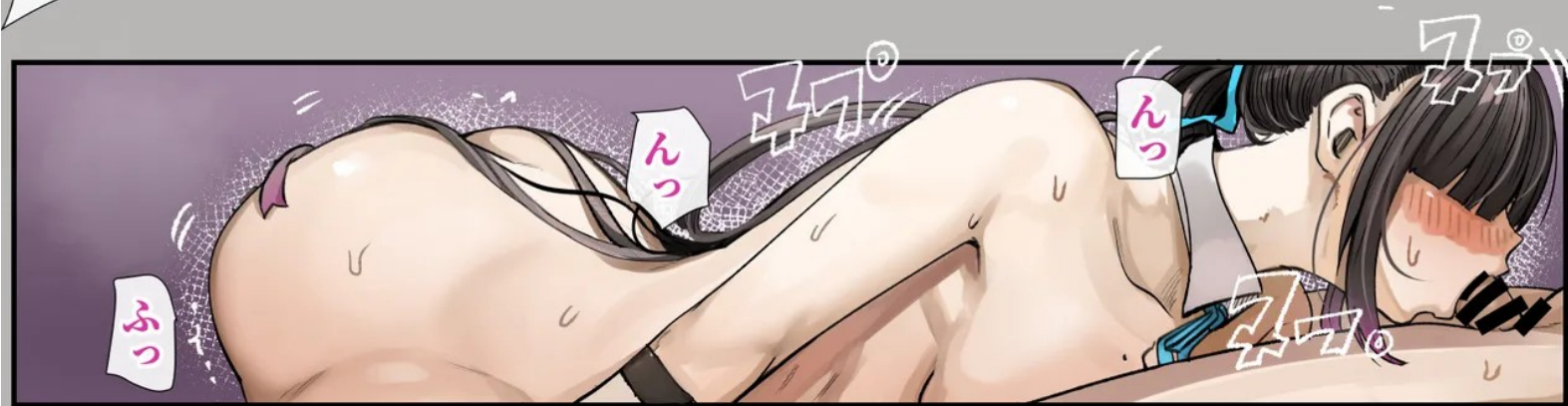
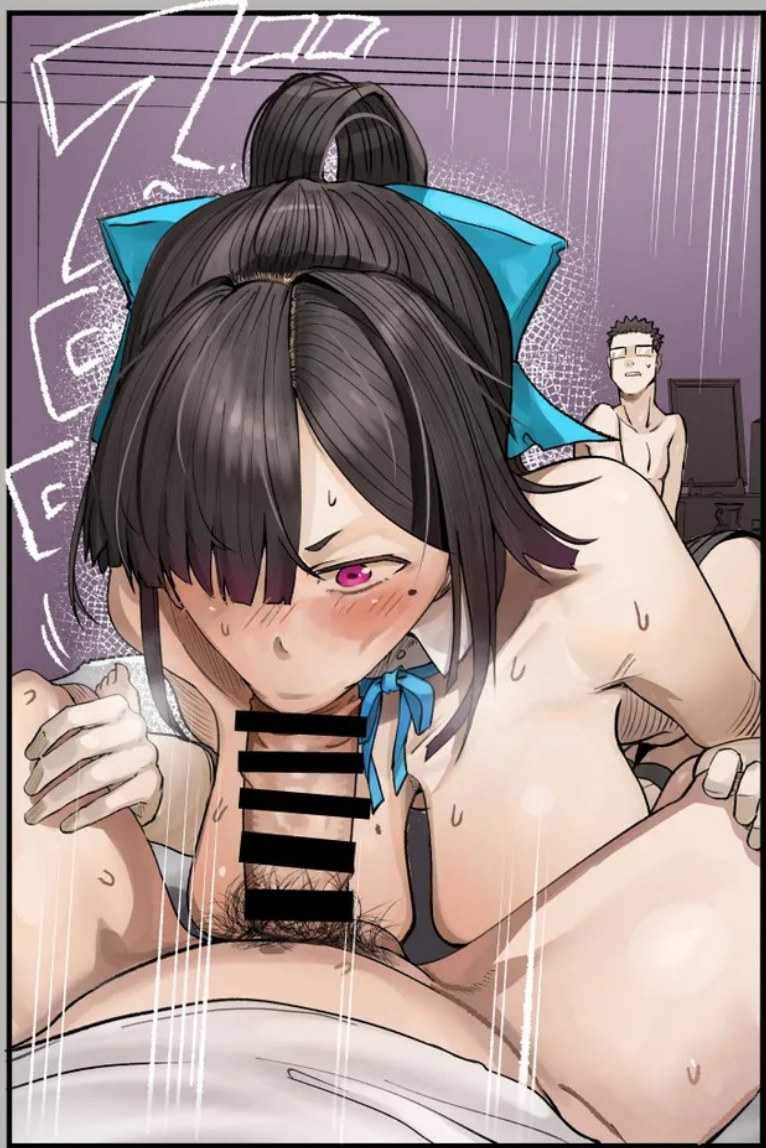
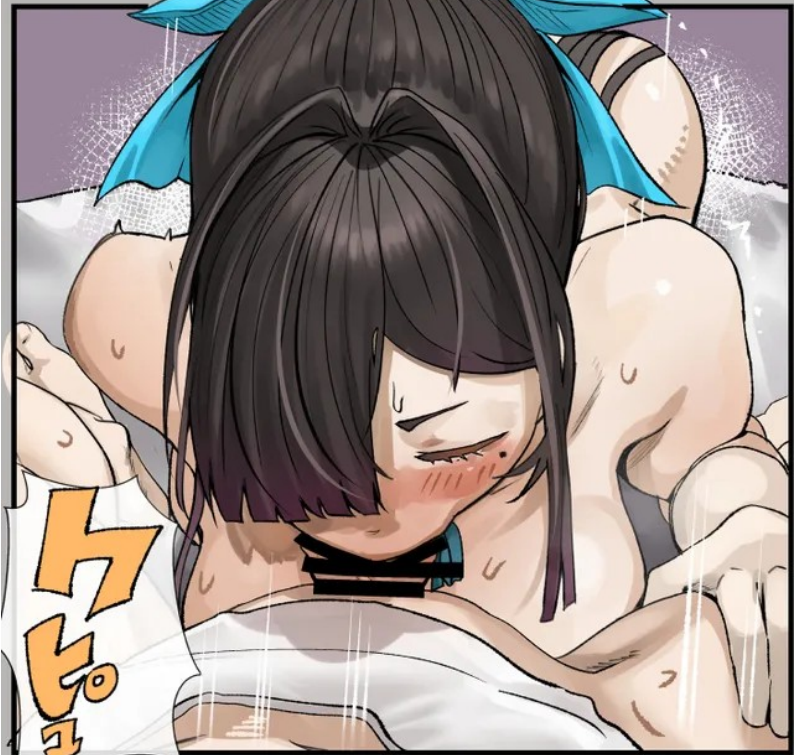
うっ…

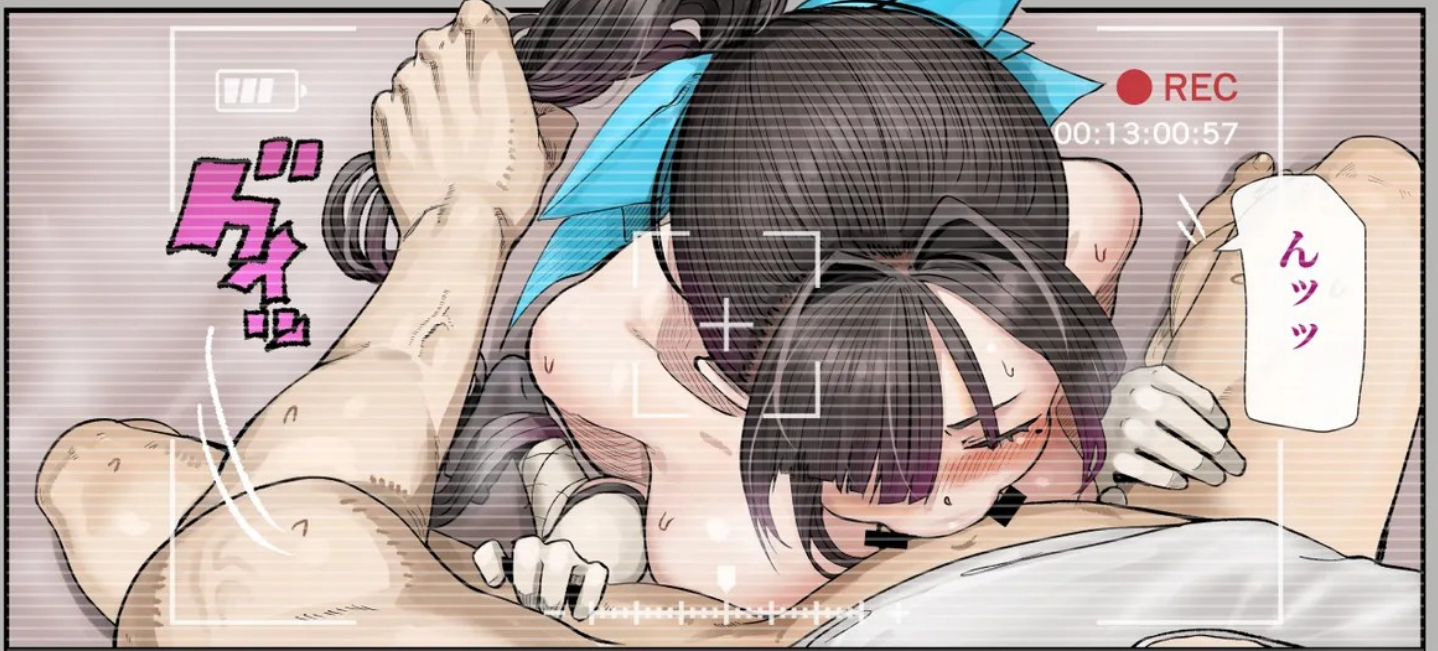
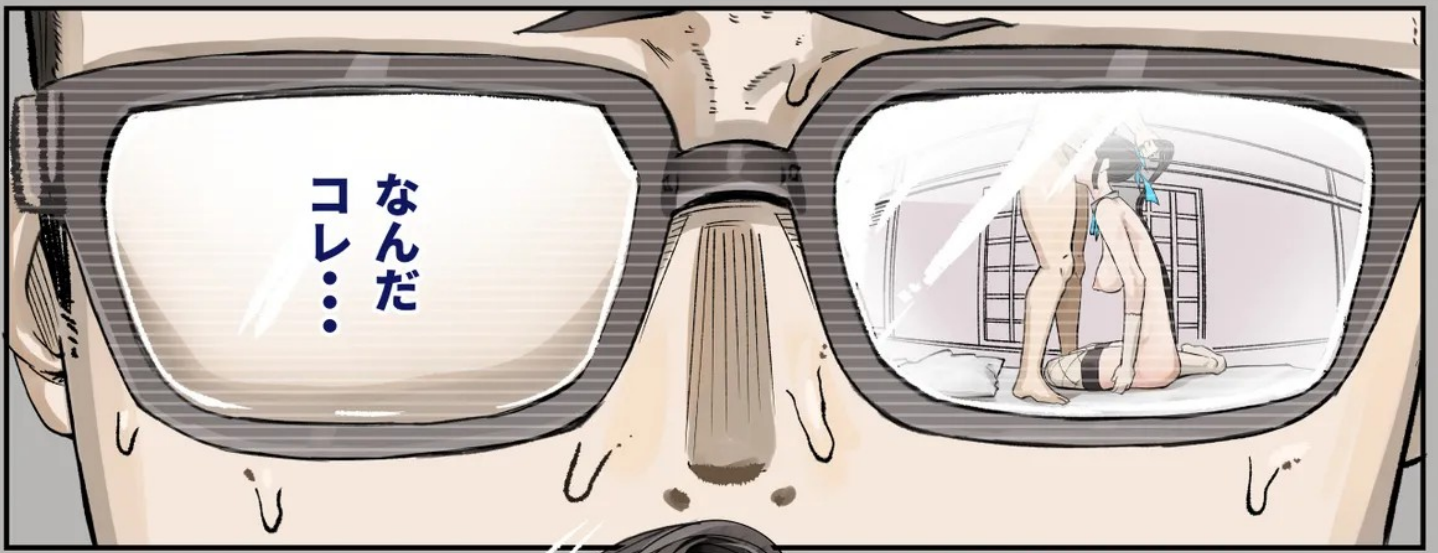


いいねえ〜

すげえ
背徳感







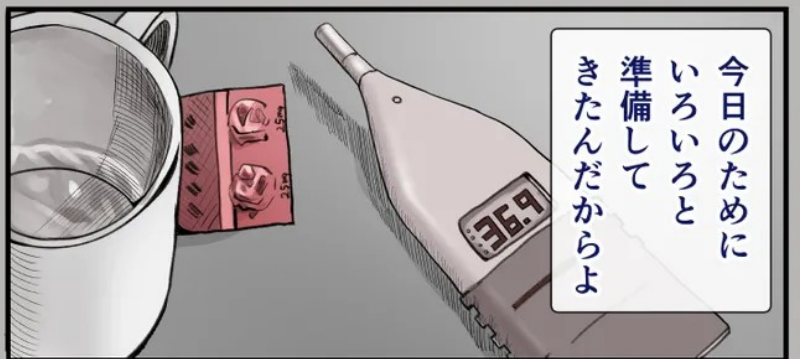
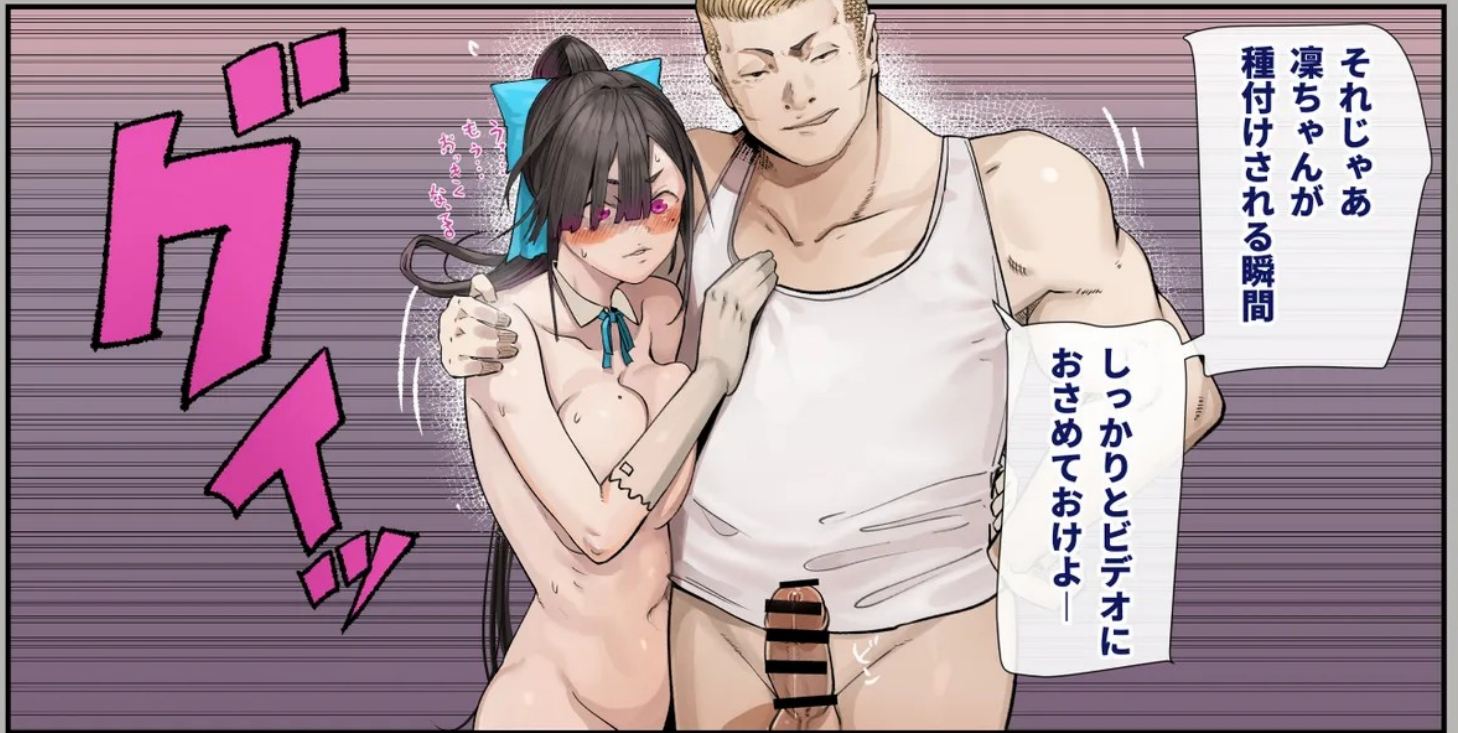


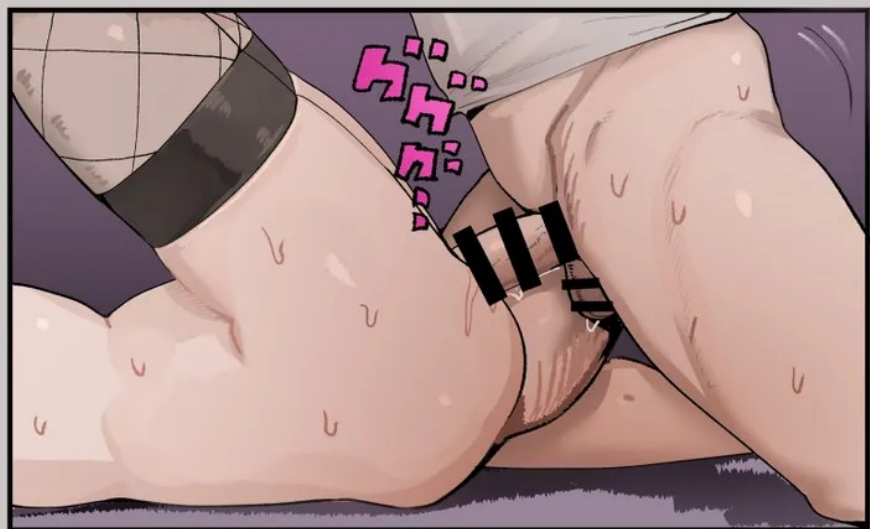
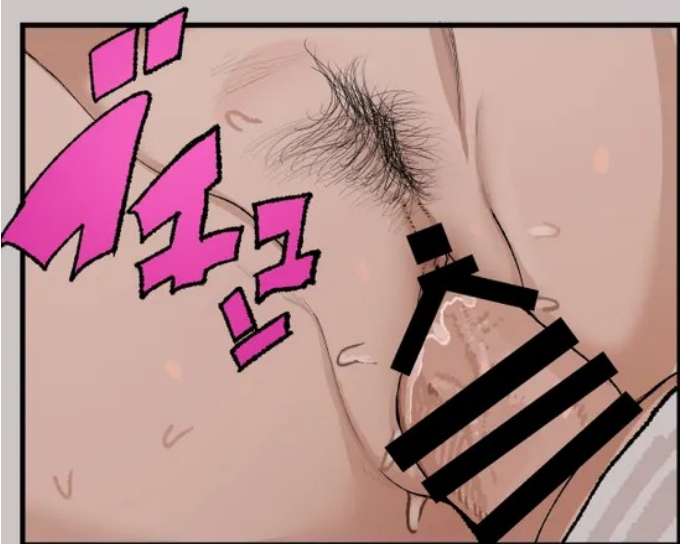
んっ

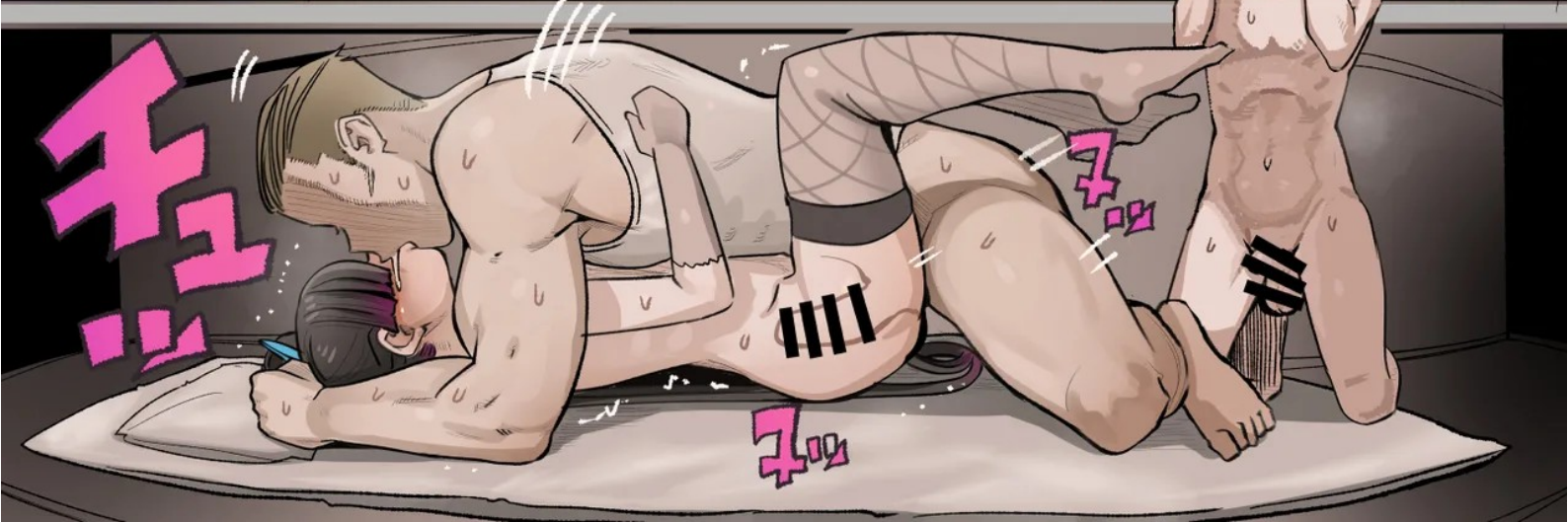
んっ

んっ

んっ









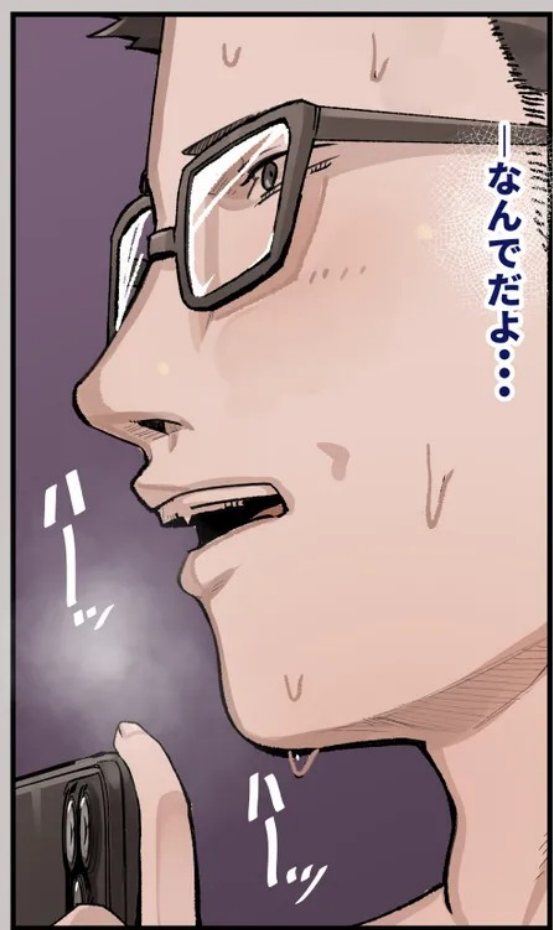
なんでそんなに
気持ちよさそうな
顔をしてんだよ...

00:10:06

ニエル

ブル

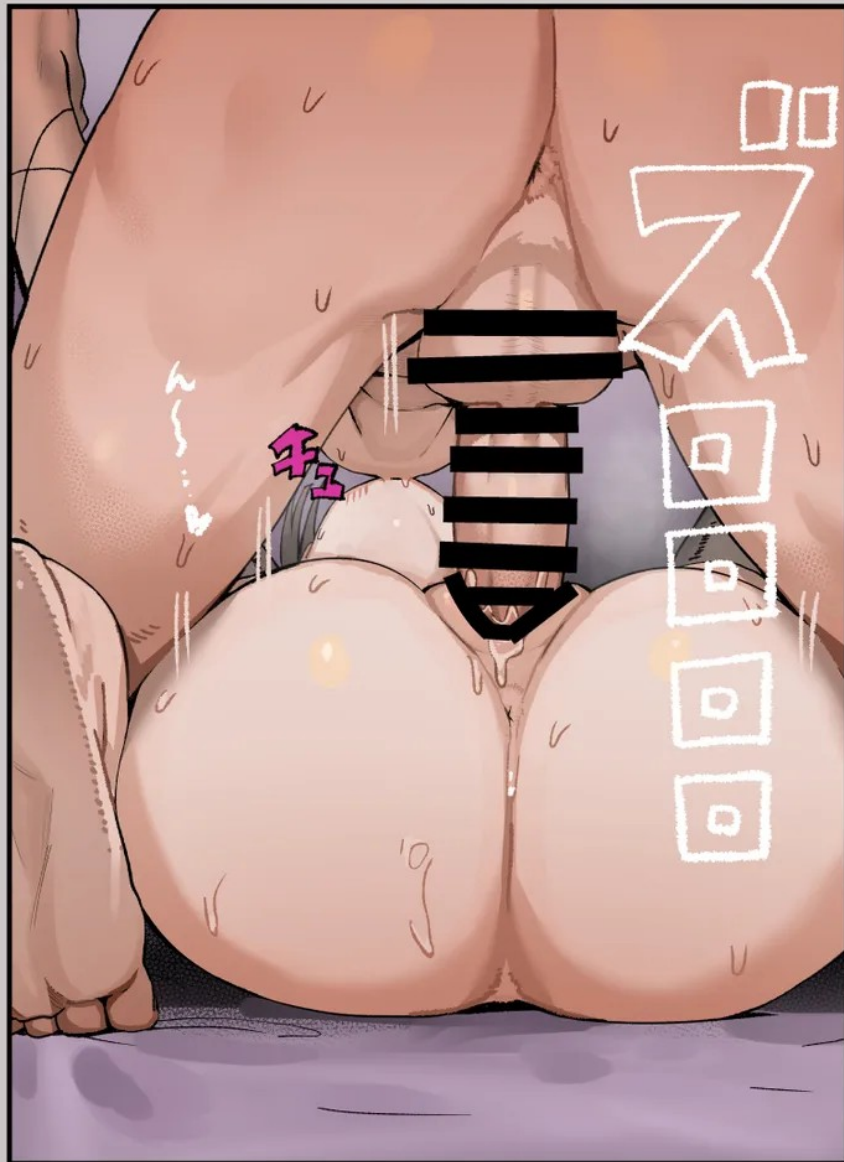
俺や...
旦那の遺影の
前だぞ...



なんでだよ...

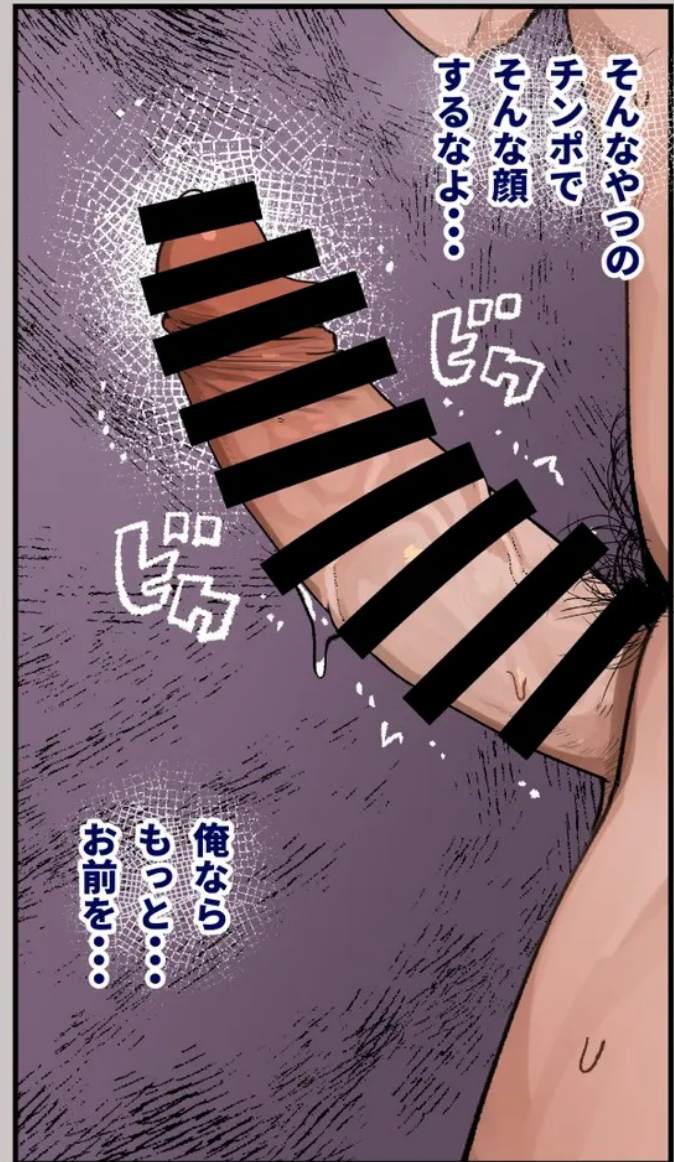
ハッ

ハッ



ズ
□
□
□
□
□

キュ

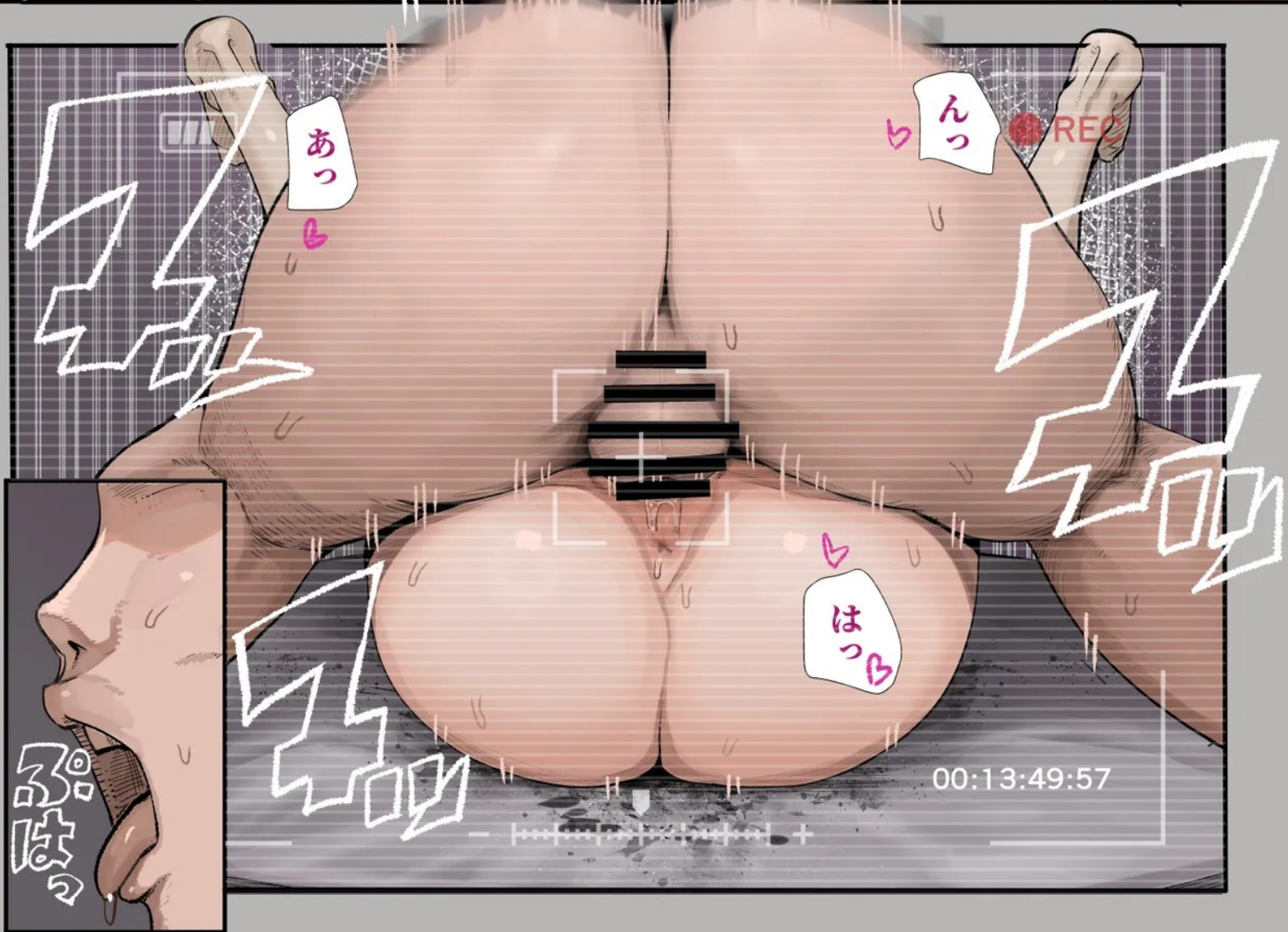


そんなやつ
チンポで
そんな顔
するなよ...

どっ

どっ

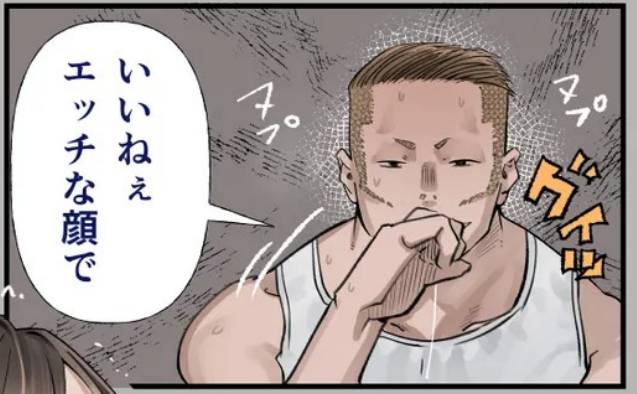
俺なら
もっと...
お前を...



どう..
気持ちいい?



そうだ..
カメラと遺影に
向かって
ダブルピース
してよ



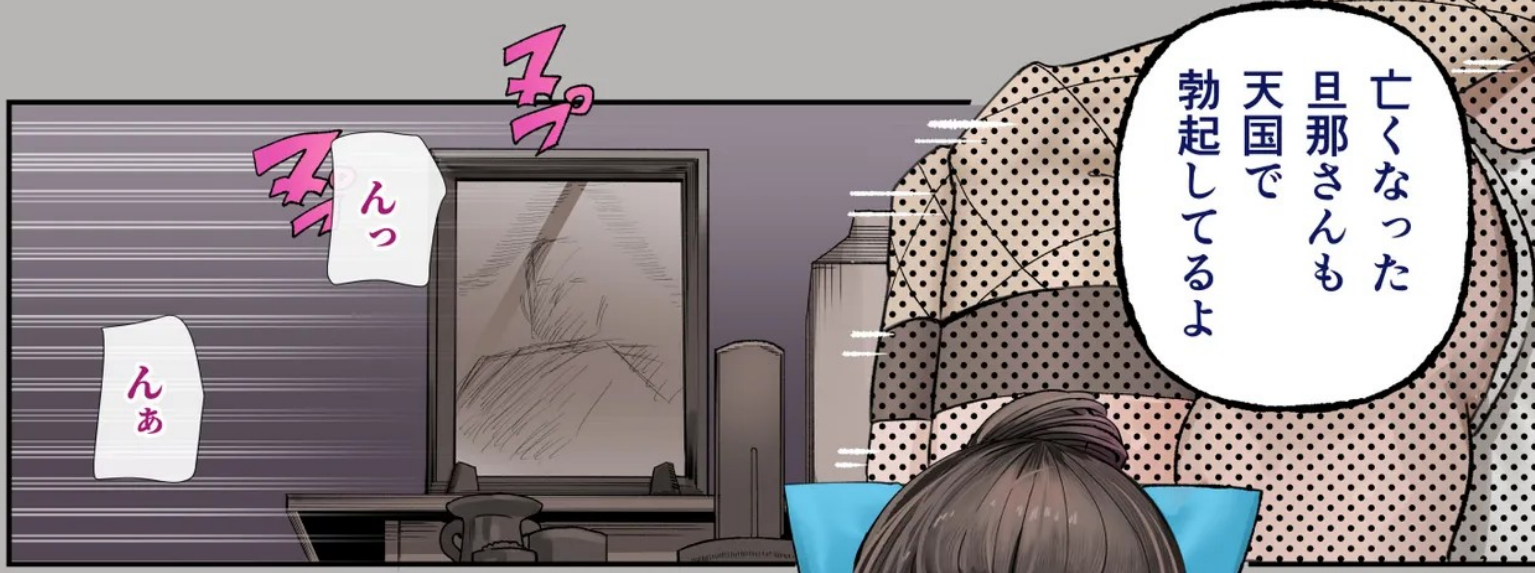
ほら..
早くッ

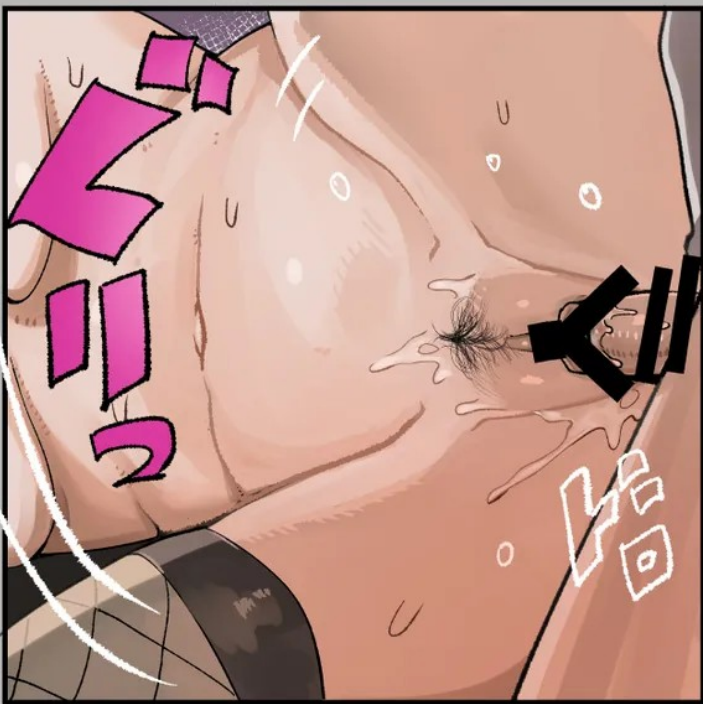
いいねえ
エッチな顔で

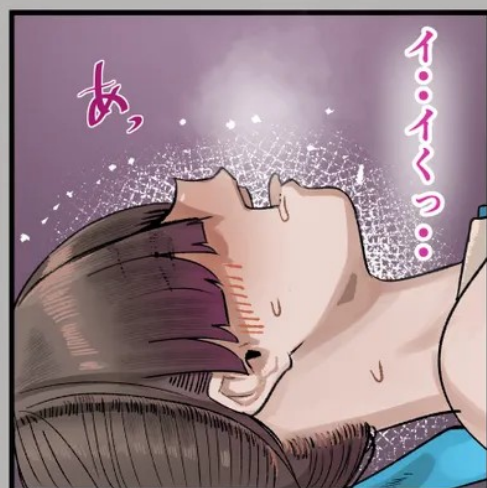
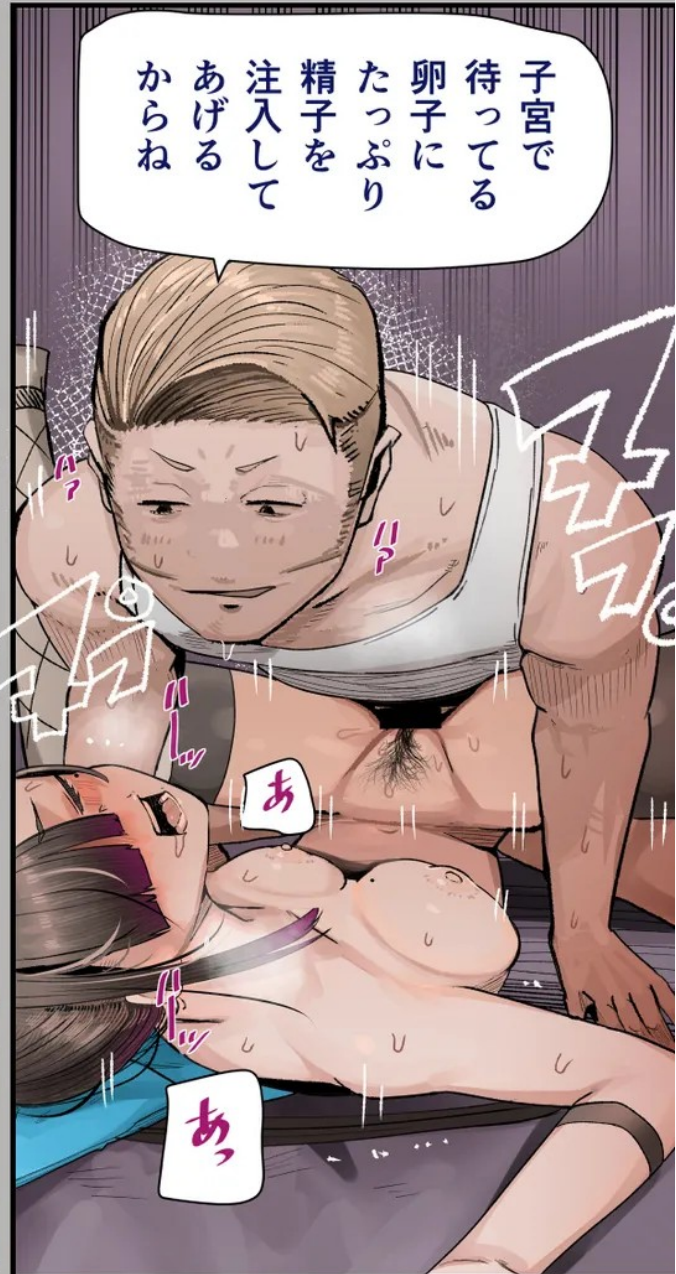
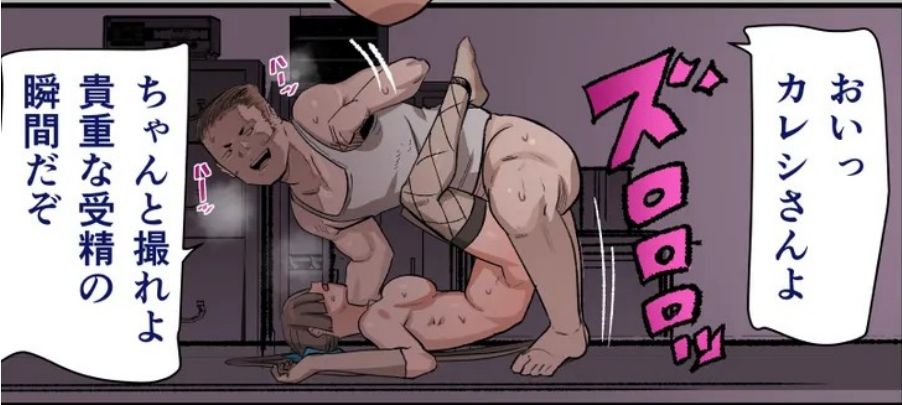
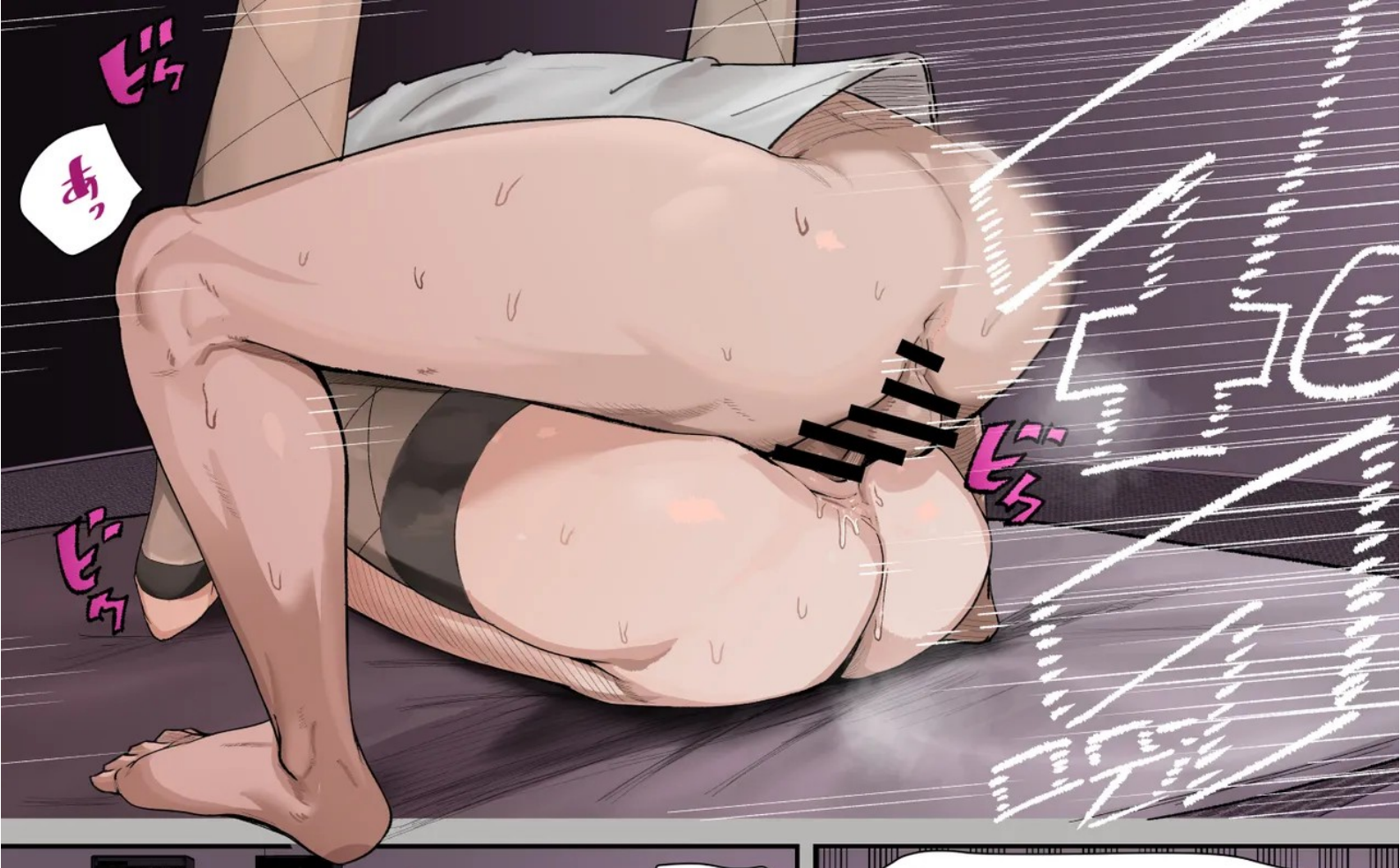
REC

00:13:58:57

おっらねえ









んっ

あっ

んっ

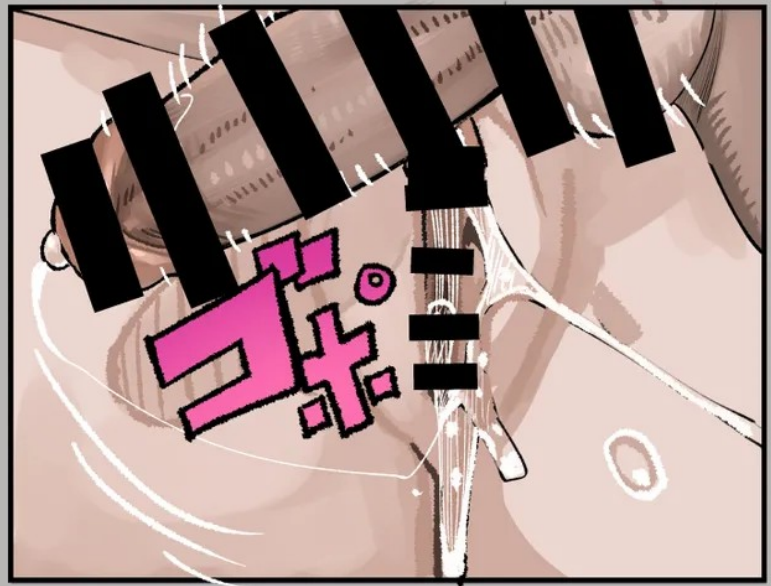
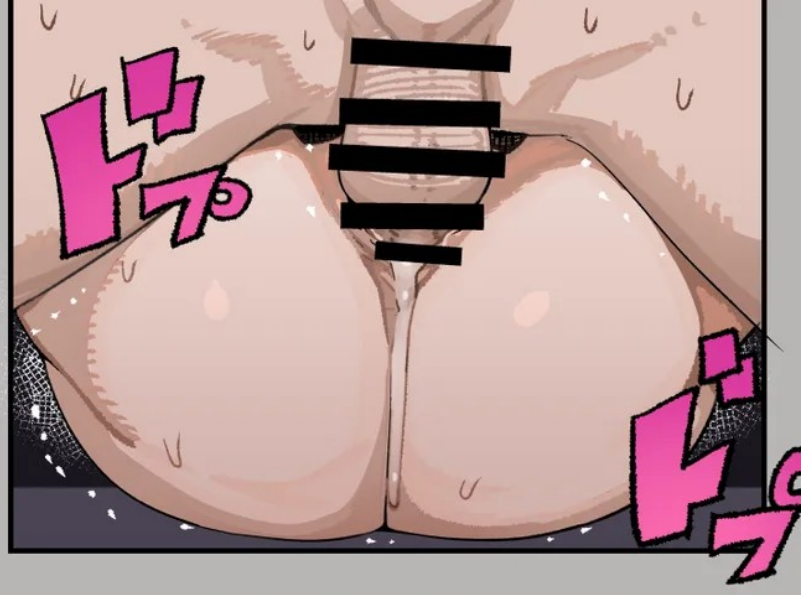
んっ

んっ

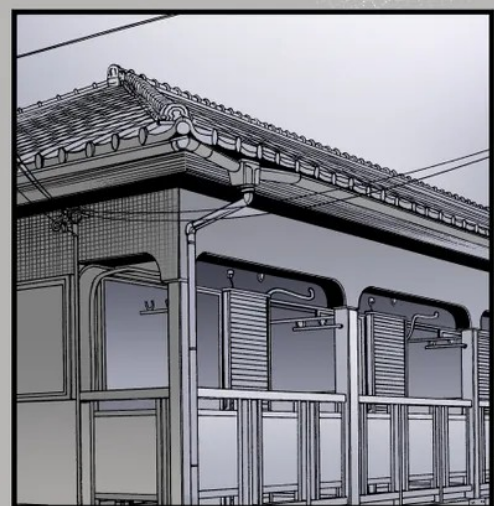
んっ

んっ

はあー
めっちゃ出たわ
こりゃあ
絶対に
孕んだな



つきは
アンタの番や
カレシさん



ほら
はよこっち
来い!



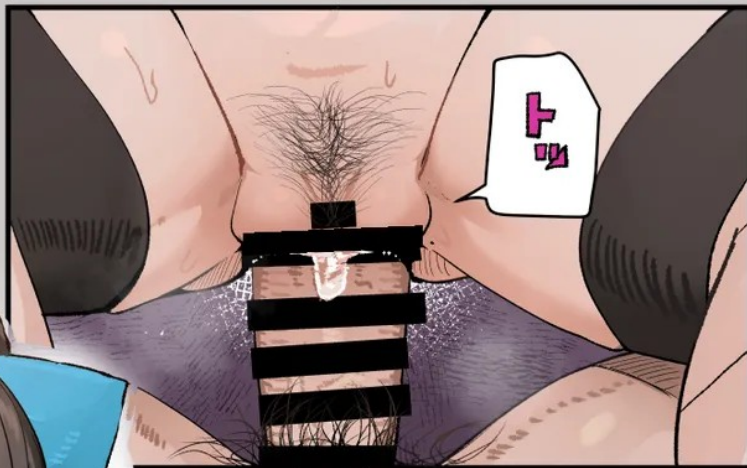
えっ



アノ男の精液が
垂れて
きてんじゃん

ドロ!

うわっ



トッ



ああ
ああ

大丈夫

どーしたの
雄ちゃん
大丈夫...?

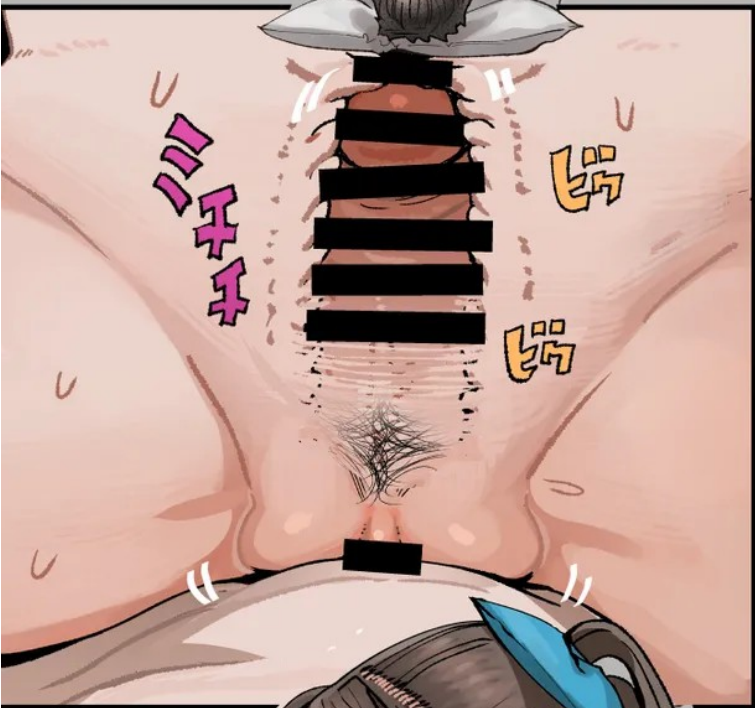
ズ

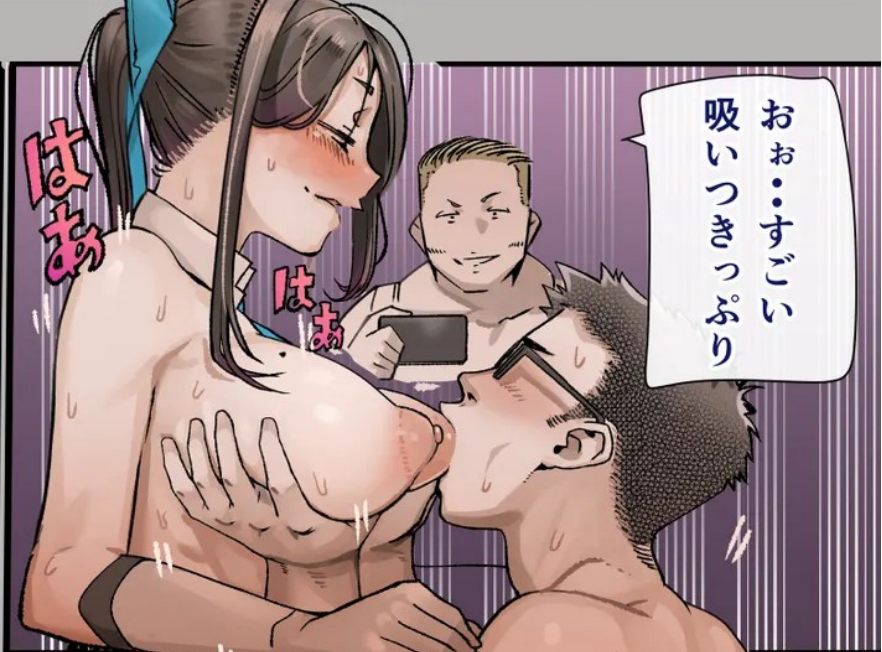
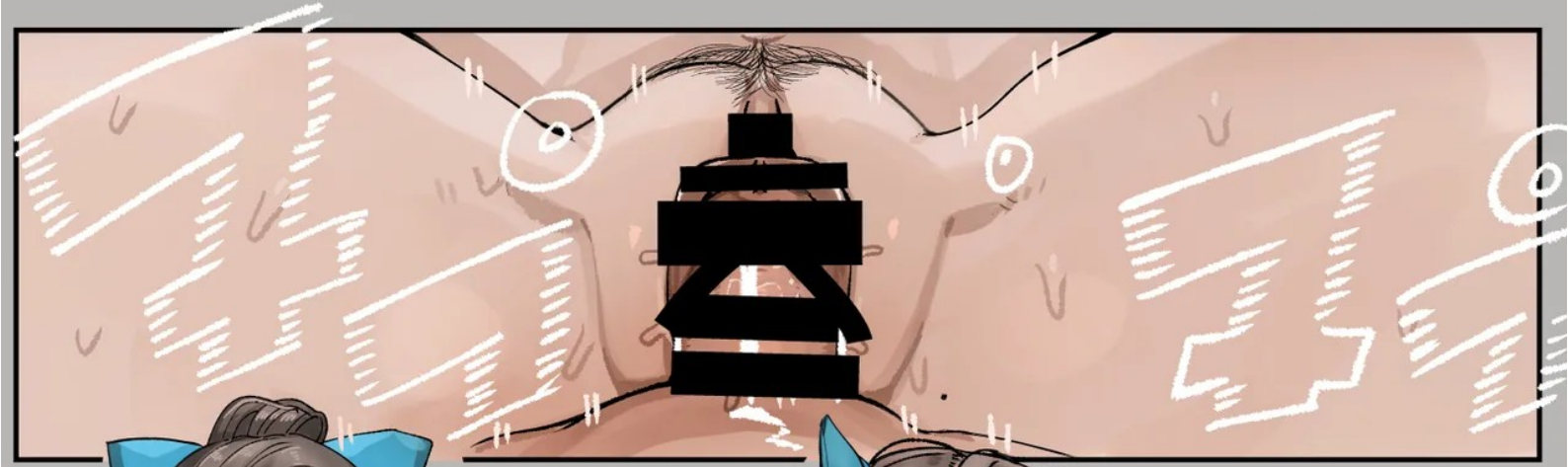
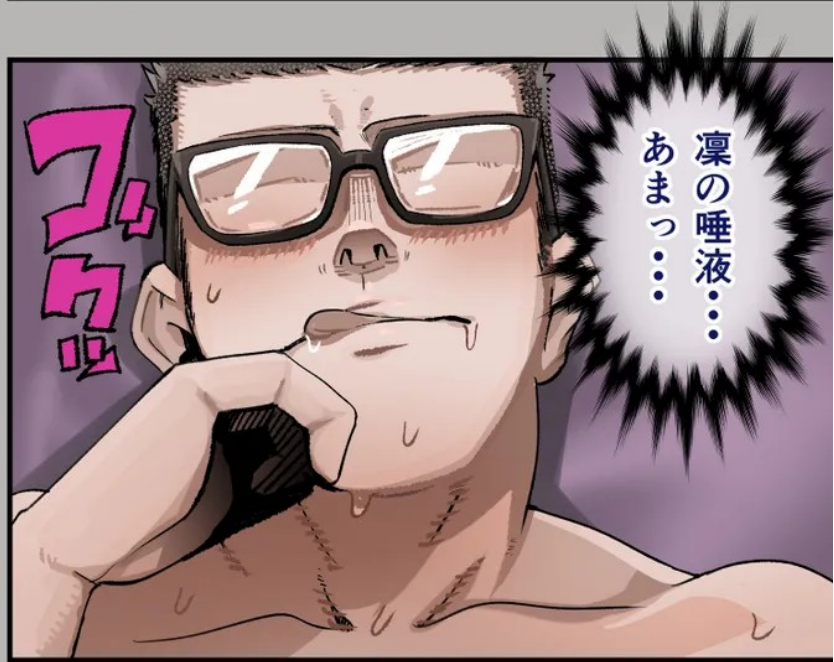


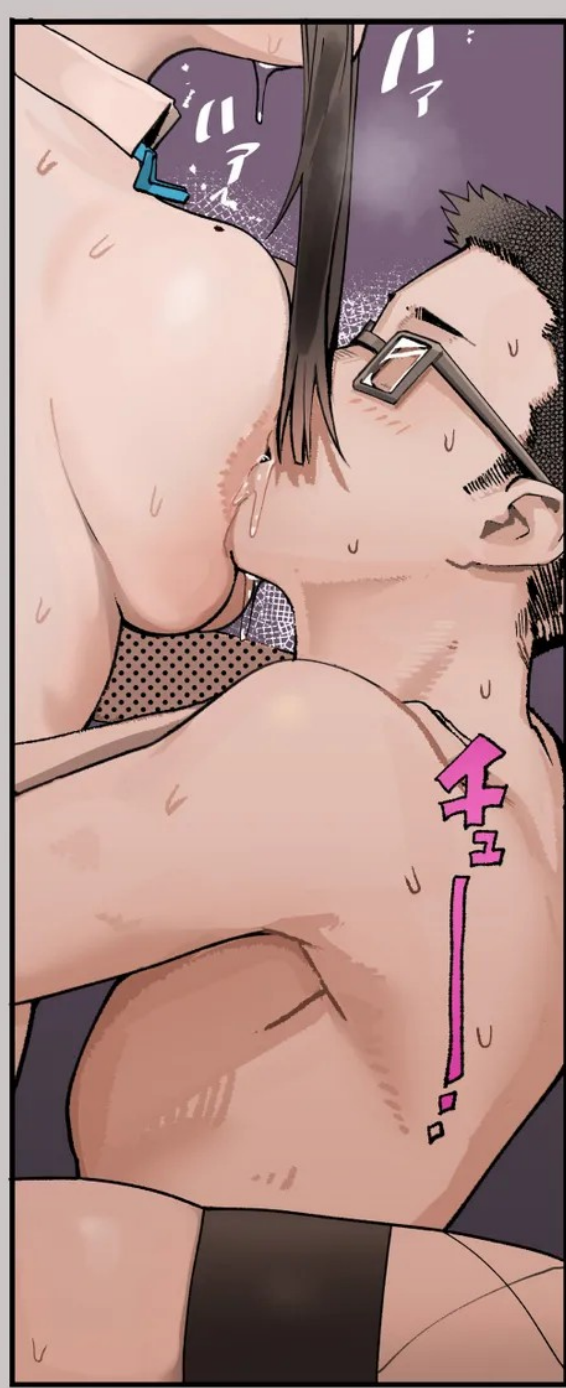
ワッ
ズ

それじゃあ
挿入れるよ

ホント?







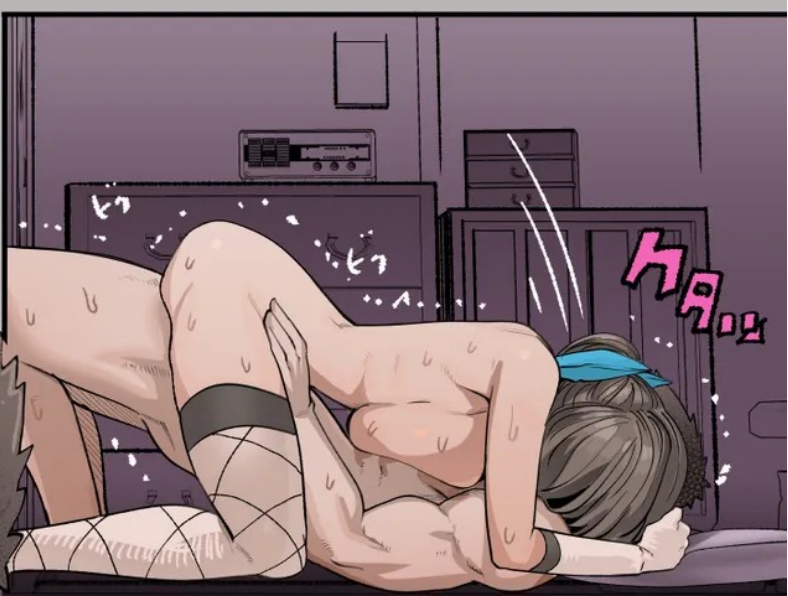


キュッ

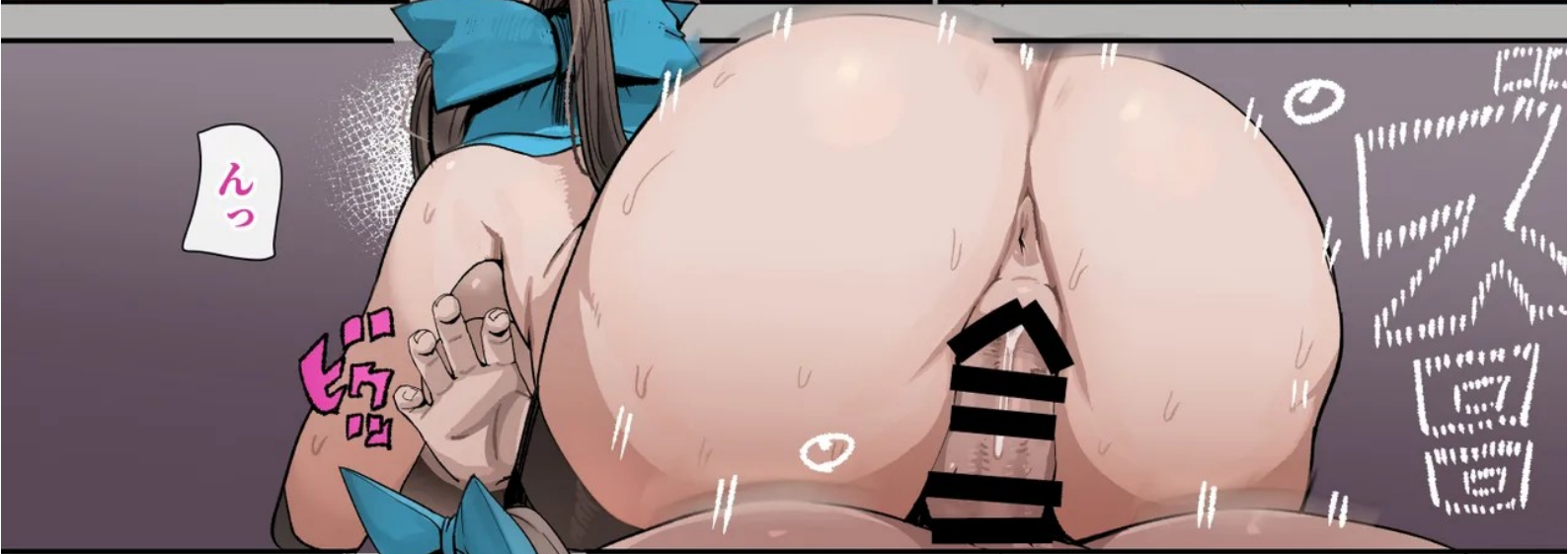


あつ

クッ
クッ
クッ



クッ





雄ちゃんの
感じてる顔：
カワイイ：

なっ：
何言っ
んだよ！



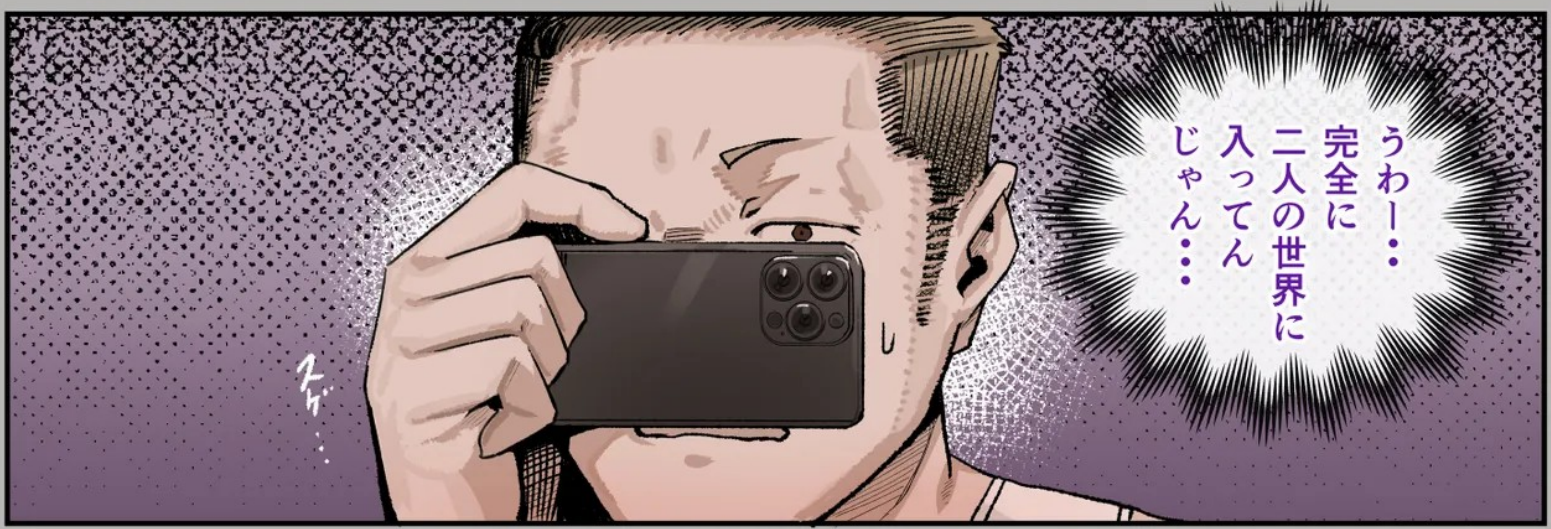


ばっ
馬鹿ッ

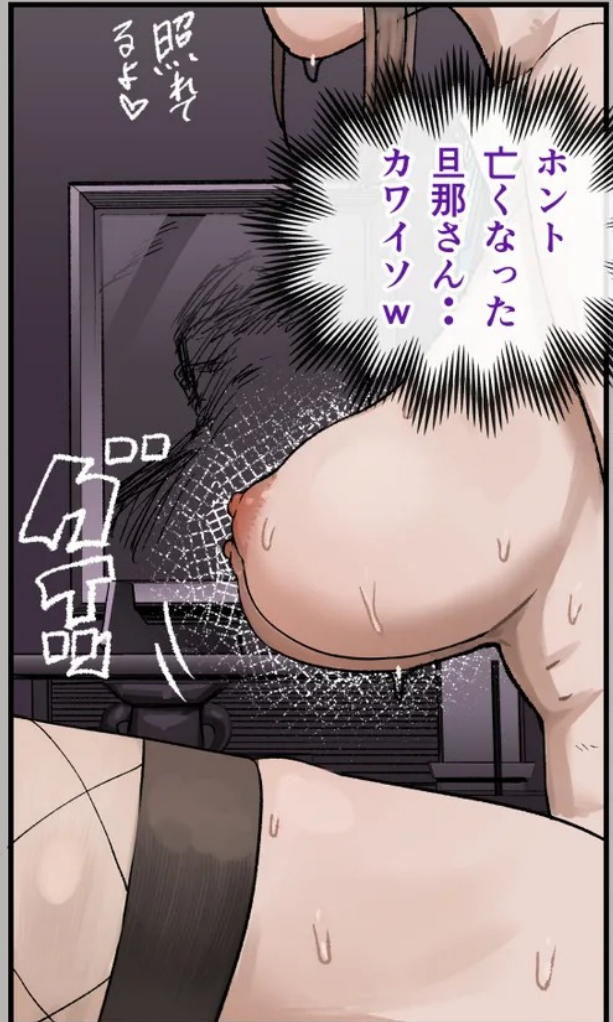
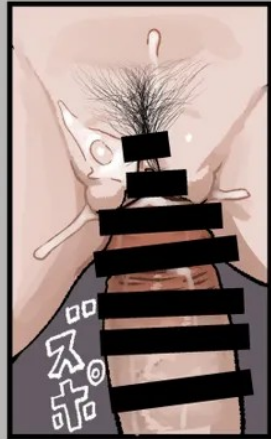
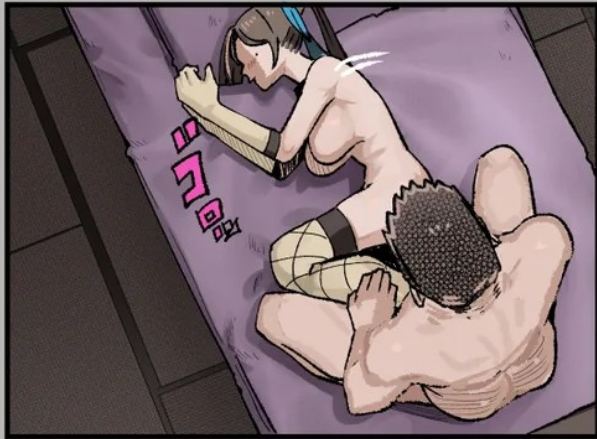
て...
照れて
ねーよ



フフ:
照れてる?



うわー!
完全に
二人の世界に
入ってん
じゃん...



ホント
亡くなった
旦那さん:
カワイソw



凍
ケツ:
こっちに
向けるっ

